

---

西東京市スポーツに関する市民意識調査  
報告書

---

平成 25 年 3 月  
西 東 京 市



# 目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の実施概要	1
(1) 調査手順	1
(2) 実施概要	4
(3) 調査対象の属性	5
(4) 調査名について	9
II 市民調査結果（一般市民・小学生・中学生・高校生）	11
1 健康状態などについて	11
(1) 健康状態	11
(2) 健康のために気をつけていること	12
(3) 運動やスポーツの必要性	14
2 運動やスポーツとの関わり	16
(1) 現在の運動の好き嫌い	16
(2) 子どもの頃の運動経験	20
(3) 小中高校生の運動やスポーツとの関わり	25
(4) 「みる」「する」「ささえる」スポーツ	27
(5) イベントへの参加意向	30
(6) 現在の運動、スポーツ実施状況への満足度	31
3 スポーツの実施状況	33
(1) 普段している運動・スポーツ	33
(2) スポーツの実施頻度	40
(3) 市民のスポーツ実施率	42
(4) スポーツの目的	46
4 スポーツの実施場所	48
(1) スポーツを行う場所	48
(2) スポーツ施設の利用	51
5 スポーツをする仲間・指導者について	57
(1) スポーツをする仲間	57
(2) 指導者について	60
6 (スポーツ非実施者) スポーツに取り組むための条件	64
7 総合型地域スポーツクラブについて	68
(1) 総合型地域スポーツクラブの認知度	68
(2) 総合型地域スポーツクラブの方向性	71
8 市の取組みについて	72
(1) 望ましい情報提供	72
(2) 重点的な取組み	73
(3) 地域でのスポーツ振興	74

III 団体調査結果 .....	75
(1) 団体の属性 .....	75
(2) 団体の活動状況 .....	76
(3) スポーツ施設の利用状況 .....	85
(4) 総合型地域スポーツクラブについて .....	93
(5) 団体間の連携などについて .....	95
(6) 市の取組みについて .....	97
IV 調査結果のまとめ .....	101
1 市民のスポーツ実施状況 .....	101
(1) 子どものスポーツ活動 .....	101
(2) 一般市民のスポーツ活動 .....	101
(3) 高齢者のスポーツ活動 .....	102
2 市のスポーツ環境 .....	103
(1) スポーツ団体・クラブ .....	103
(2) スポーツ人材の育成・支援 .....	104
(3) スポーツの活動場所の充実 .....	104
(4) スポーツに関する情報の提供 .....	105
3 調査により得られたスポーツ推進への手がかかり .....	106
4 数値目標の達成状況 .....	107
5 西東京市スポーツ推進計画策定に向けて .....	108
(1) 社会背景の変化と新たな視点 .....	108
(2) 計画の構成案 .....	110
V 調査票	
1 西東京市 運動・スポーツに関する市民意識調査	
2 西東京市 運動・スポーツに関する小生意識調査	
3 西東京市 運動・スポーツに関する中学・高校生意識調査	
4 西東京市 運動・スポーツに関する団体調査	
VI 集計表 (単純集計・クロス集計)	
1 市民調査結果 (一般市民)	
2 市民調査結果 (小学生)	
3 市民調査結果 (中学生・高校生)	
4 団体調査結果	

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

平成17年度に策定した現「西東京市スポーツ振興計画」は、平成25年度に計画期間を終えるため、25年度には、スポーツ基本法に基づき、国（文部科学省）の策定したスポーツ基本計画等を考慮しつつ、市の実情に即した「(仮称)西東京市スポーツ推進計画」を策定する予定となっている。

西東京市のスポーツ施策を統合的かつ計画的に推進していくとともに、市民の誰もが身近な場所で、生涯を通じて、スポーツに親しみ、楽しむことのできる地域づくりを目指した「(仮称)西東京市スポーツ推進計画」を策定するために、今年度は市民のスポーツに関する現状やニーズを把握し課題を調査、分析する「市民意識調査」、「児童生徒意識調査」及び「団体意識調査」を実施した。

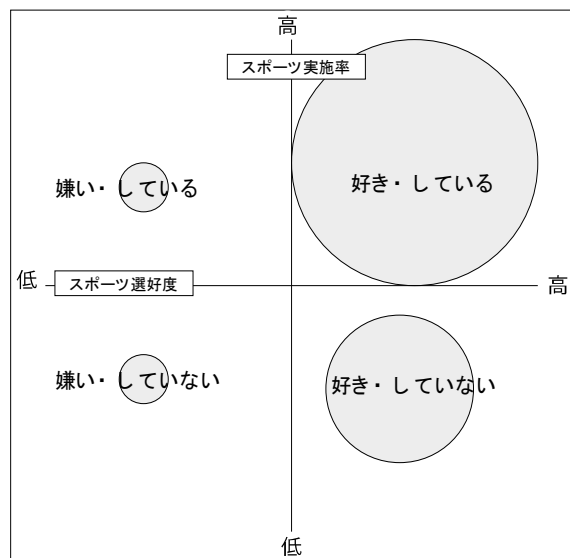
## 2 調査の実施概要

### (1) 調査手順

#### ①調査項目について

調査項目の検討においては、対象者を「スポーツが好き・嫌い」(スポーツ選好度)、「スポーツをしている・していない」(スポーツ実施率)の2つの軸で区分し、4つのグループに分けた。

それぞれに対するスポーツ推進策は次のようになると考えられる。



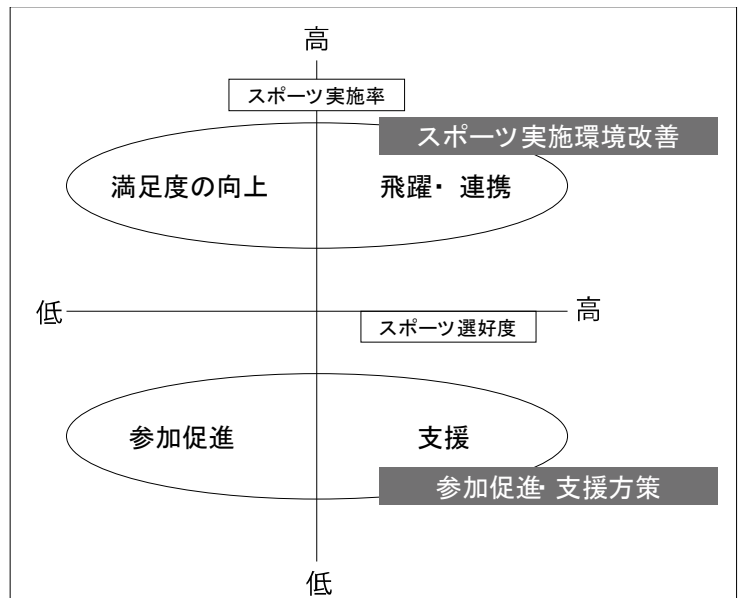
(円の大きさはそれぞれの象限に属する回答者の割合を円の大きさで表示したもの)

類型	スポーツ推進のための施策
嫌い・していない	スポーツが嫌いであり現在もしていない。 スポーツにふれる、参加する、経験してみるといった機会をとにかく提供していくことが重要な対象者である。(参加促進)
嫌い・している	スポーツは好きではないが現在はしている。 現在実施しているスポーツから得られる満足度を高め、スポーツの継続や深まりを促進していくべき対象者である。(満足度の向上)
好き・していない	スポーツは好きだが何らかの理由があり現在はしていない。 現在スポーツをしていない(できていない)背景にある障害を克服するための支援を行っていくべき対象者である。(支援)
好き・している	スポーツは好きであり現在もしている。 より高い次元でのスポーツとの関わりを促進していくべき対象者である。(飛躍・連携)

## I 調査の概要

以上から、スポーツ推進のための施策は大きく「参加促進・支援方策」と、「スポーツ実施環境の改善」の2つに分けて捉えることができる。

なお、現行計画では、スポーツを実施する市民だけではなく、「みる」、「ささえる」こともスポーツの一環として位置付けているため、今回の調査の狙いは、次の3つに集約することができ、これらを把握し、次期計画策定の基礎資料を得るために、調査項目を設定した。



### <調査のねらい>

#### ①運動実施者の増加のために求められている支援方策や機会提供の方策への手がかかり

運動を実施していない人に機会を提供する、実施したいのにできない人を支援するためにはどうしたらよいか。

#### ②スポーツ実施環境の向上への手がかかり

運動を実施している人がより高い満足を得るためにはどうしたらよいか。

#### ③総合的スポーツ環境の向上への手がかかり

スポーツをする機会、みる機会、ささえる機会を総合的に改善するためにはどうしたらよいか。

## ②児童生徒アンケート調査対象校の選定基準について

市内の小学校、中学校、高校を対象とした児童生徒アンケート調査の対象校は、以下の基準に基づき選定した。

- ・小学校、中学校は、実施時に混乱の少ないよう、実施する学校は全クラスを対象とする。
- ・施設分布図を参考とし、比較的施設密度が低い地域から小中学校各2校、高い地域から小中学校各2校を選定し、中心部の小学校1校を選定する。(高校は、全校を対象としており、施設密度を考慮していない。)
- ・一つのエリアから同一の校種を選ぶ場合には、できる限り離れた学校を選定、また、小・中学校のセットはできるだけ近い学校を選定する。

<調査対象校>

地域の区分	小学校 5 年	中学校 2 年
市北部 (比較的施設密度が低い。)	栄小学校	青嵐中学校
市南東部 (比較的施設密度が低い。)	保谷第二小学校	柳沢中学校
保谷庁舎周辺部 (比較的施設密度が高い。)	碧山小小学校	明保中学校
市西部 (比較的施設密度が高い。)	けやき小学校	田無第三中学校
田無駅北部	田無小学校	

(参考：市内スポーツ施設の立地状況)



I 調査の概要

(2) 実施概要

①西東京市 スポーツに関する市民意識調査

対象者	市内に居住する満 18 歳以上の男女 2,000 人を住民基本台帳より無作為抽出	
実施方法	郵送配付、郵送回収	
実施期間	平成 24 年 11 月 6 日 ～19 日	※平成 24 年 12 月 31 日到着分までを有効回答とした。
配布数	2,000	うち、9 件が不達
回収数	833	うち、1 件が無効票
回収率	41.8%	$(833-1) \div (2,000-9)$

②西東京市 スポーツに関する小学生、中学生、高校生意識調査

対象者	小学 5 年生	中学 2 年生	高校 2 年生
実施方法	小中学校：各学校へ郵送、学級ごとに配布・回収して各学校から郵送 高校：各学校へ直接持参、学級ごとに配布・回収して各学校から郵送		
実施期間	平成 24 年 11 月上旬配付～下旬回収		
配布数	473	493	515
回収数	473	493	515
回収率	100.0%	100.0%	100.0%

③西東京市 スポーツに関するスポーツ施設登録団体調査

対象者	登録を行っている団体の代表者	
実施方法	郵送配付、郵送回収	
実施期間	平成 24 年 11 月 6 日～19 日	※平成 24 年 12 月 31 日到着分までを有効回答とした。
配布数	773	うち、46 件が不達
回収数	424	
回収率	58.3%	$424 \div (773-46)$



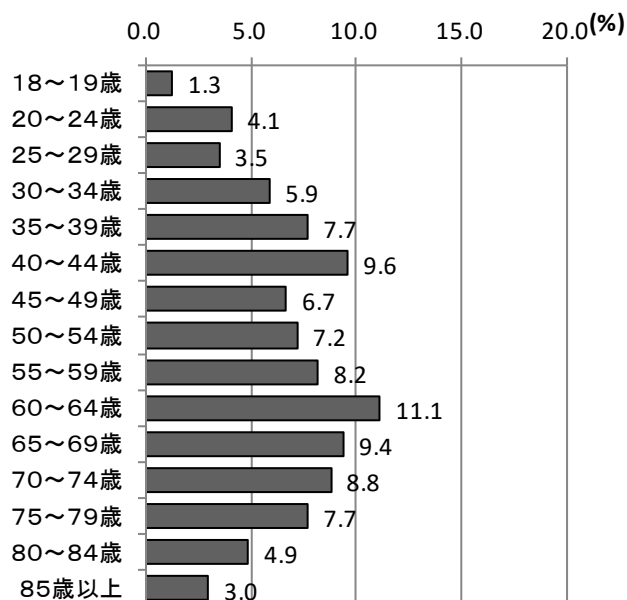
### (3) 調査対象の属性

#### ①一般市民属性

##### <年齢>

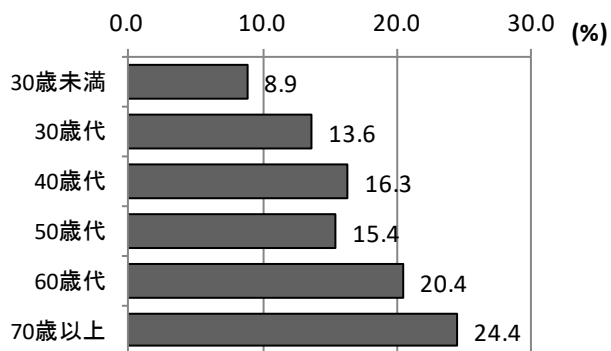
回答者の年齢分布は60～64歳が11.1%と最も多くなっている。

No.		件数	割合(%)
1	18～19歳	11	1.3
2	20～24歳	34	4.1
3	25～29歳	29	3.5
4	30～34歳	49	5.9
5	35～39歳	64	7.7
6	40～44歳	80	9.6
7	45～49歳	56	6.7
8	50～54歳	60	7.2
9	55～59歳	68	8.2
10	60～64歳	92	11.1
11	65～69歳	78	9.4
12	70～74歳	73	8.8
13	75～79歳	64	7.7
14	80～84歳	41	4.9
15	85歳以上	25	3.0
	無回答	8	1.0
	合計	832	100



なお、上記の区分ではカテゴリが多く、また、各カテゴリの回答者数も少ないので、クロス集計等においては、以下の年齢区分でも集計を行っている。

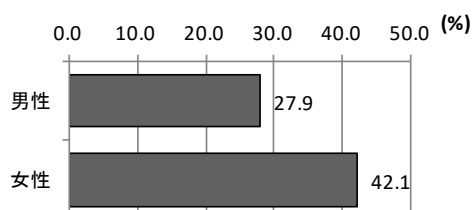
No.		件数	割合(%)
1	30歳未満	74	8.9
2	30歳代	113	13.6
3	40歳代	136	16.3
4	50歳代	128	15.4
5	60歳代	170	20.4
6	70歳以上	203	24.4
7	無回答	8	1.0
	合計	832	100



##### <性別>

性別では、女性の割合が約1割多くなっている。

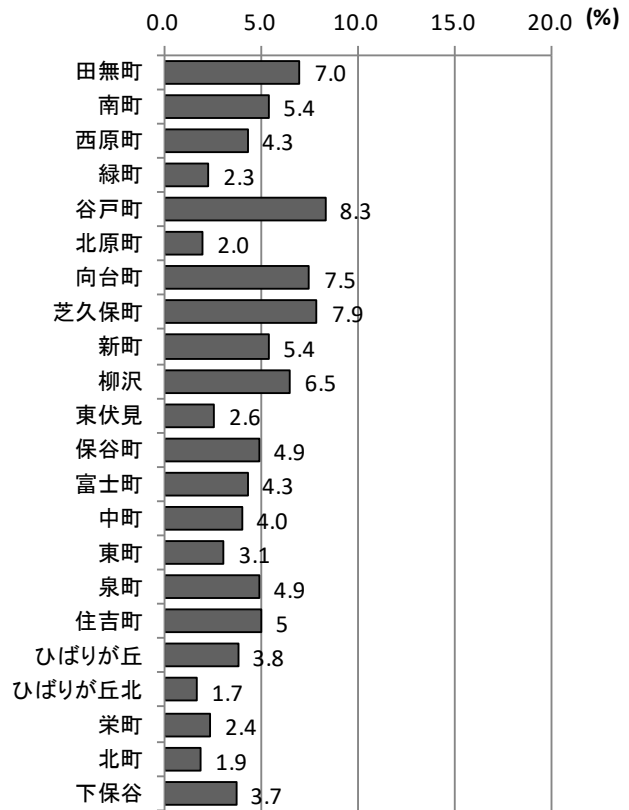
No.		件数	割合(%)
1	男性	232	27.9
2	女性	350	42.1
	無回答	250	30.0
	合計	832	100



I 調査の概要

<居住地>

No.		件数	割合(%)
1	田無町	58	7.0
2	南町	45	5.4
3	西原町	36	4.3
4	緑町	19	2.3
5	谷戸町	69	8.3
6	北原町	17	2.0
7	向台町	62	7.5
8	芝久保町	66	7.9
9	新町	45	5.4
10	柳沢	54	6.5
11	東伏見	22	2.6
12	保谷町	41	4.9
13	富士町	36	4.3
14	中町	33	4.0
15	東町	26	3.1
16	泉町	41	4.9
17	住吉町	42	5
18	ひばりが丘	32	3.8
19	ひばりが丘北	14	1.7
20	栄町	20	2.4
21	北町	16	1.9
22	下保谷	31	3.7
	無回答	7	0.8
	合計	832	100

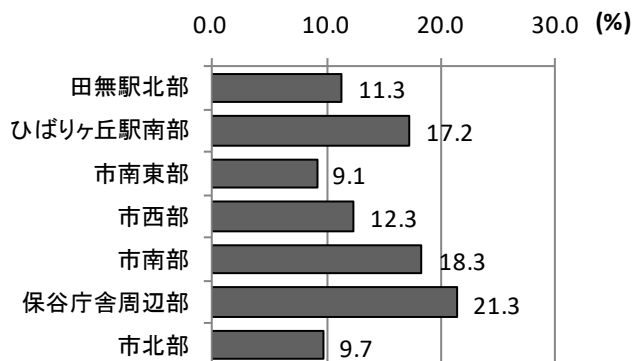


居住地については、現行計画策定時に行った調査同様、次のように区分してクロス集計等を行っている。

新区分	調査票での区分
田無駅北部	(1)田無町、(4)緑町、(6)北原町
ひばりが丘駅南部	(18)ひばりが丘、(5)谷戸町、(17)住吉町
市南東部	(10)柳沢、(11)東伏見
市西部	(8)芝久保町、(3)西原町
市南部	(2)南町、(7)向台町、(9)新町
保谷庁舎周辺部	(15)東町、(14)中町、(12)保谷町、(16)泉町、(13)富士町
市北部	(19)ひばりが丘北、(20)栄町、(21)北町、(22)下保谷

新区分による集計結果は以下のとおり。

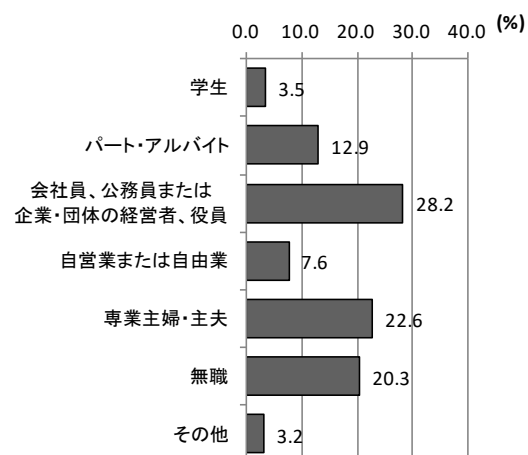
No.		件数	割合(%)
1	田無駅北部	94	11.3
2	ひばりヶ丘駅南部	143	17.2
3	市南東部	76	9.1
4	市西部	102	12.3
5	市南部	152	18.3
6	保谷庁舎周辺部	177	21.3
7	市北部	81	9.7
	無回答	7	0.8
	合計	832	100



### <職業>

<職業>については、「会社員、公務員または企業・団体の経営者、役員」が最も多く 28.2%、次いで「専業主婦・主夫」が 22.6%、「無職」 20.3%の順である。

No.		件数	割合(%)
1	学生	29	3.5
2	パート・アルバイト	107	12.9
3	会社員、公務員または 企業・団体の経営者、役員	235	28.2
4	自営業または自由業	63	7.6
5	専業主婦・主夫	188	22.6
6	無職	169	20.3
7	その他	27	3.2
	無回答	14	1.7
	合計	832	100



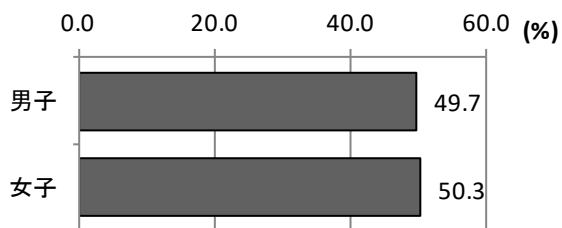
I 調査の概要

② 小学生属性

<性別>

性別では、男女約5割ずつとなっている。

No.		件数	割合(%)
1	男子	235	49.7
2	女子	238	50.3
	無回答	0	0.0
	合計	473	100

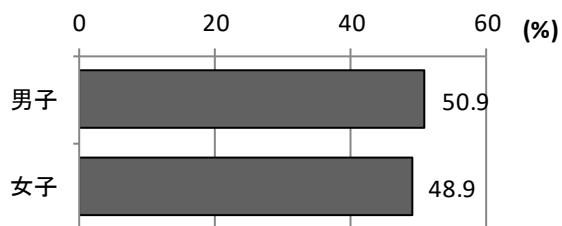


③ 中学生属性

<性別>

性別では、男女約5割ずつとなっている。

No.		件数	割合(%)
1	男子	251	50.9
2	女子	241	48.9
	無回答	1	0.2
	合計	493	100

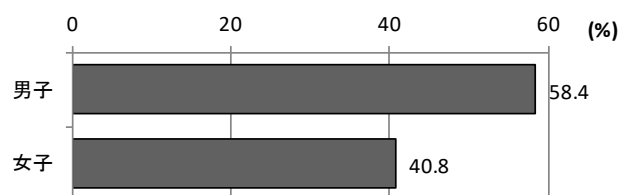


## ④ 高校生属性

## &lt;性別&gt;

性別では、男性が約6割と多くなっている。

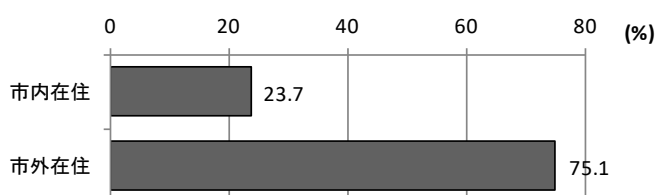
No.		件数	割合(%)
1	男子	301	58.4
2	女子	210	40.8
	無回答	4	0.8
	合計	515	100



## &lt;居住地&gt;

市内在住者は、2割強となっている。

No.		件数	割合(%)
1	市内在住	122	23.7
2	市外在住	387	75.1
	無回答	6	1.2
	合計	515	100



## (4) 調査名について

以下、本報告書においては、左の調査名を右のように略称で呼ぶこととする。

調査名	略称
西東京市 スポーツに関する市民意識調査	一般市民調査
西東京市 スポーツに関するスポーツ施設登録団体調査	団体調査
西東京市 スポーツに関する小学生意識調査	小学生調査
西東京市 スポーツに関する中学生意識調査	中学生調査
西東京市 スポーツに関する高校生意識調査	高校生調査
西東京市スポーツに関するアンケート調査（平成16年度）	前回調査

## I 調査の概要

## Ⅱ 市民調査結果（一般市民・小学生・中学生・高校生）

### 1 健康状態などについて

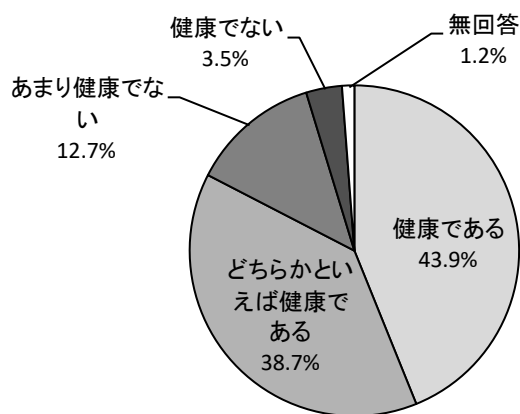
#### （1）健康状態

##### ■一般市民

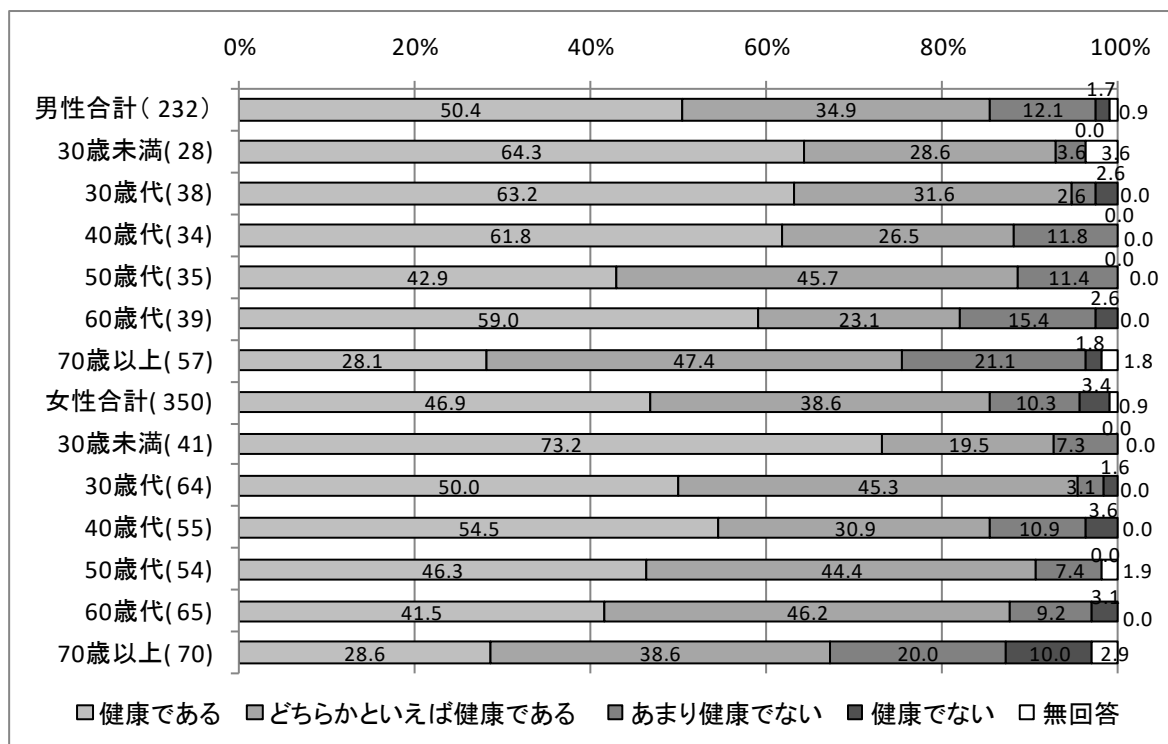
「健康である」、「どちらかといえば健康である」と答えた人の合計は、82.6%と、市民の多くが健康であるとの認識を持っている。

男女年齢別にみると、男女ともに年齢があがるにつれて「あまり健康でない」の割合が高くなる傾向が見られる。

図表 健康であると思うか（一般市民、問1、SA、n=832）



図表 健康であると思うか（男女年齢別、SA）

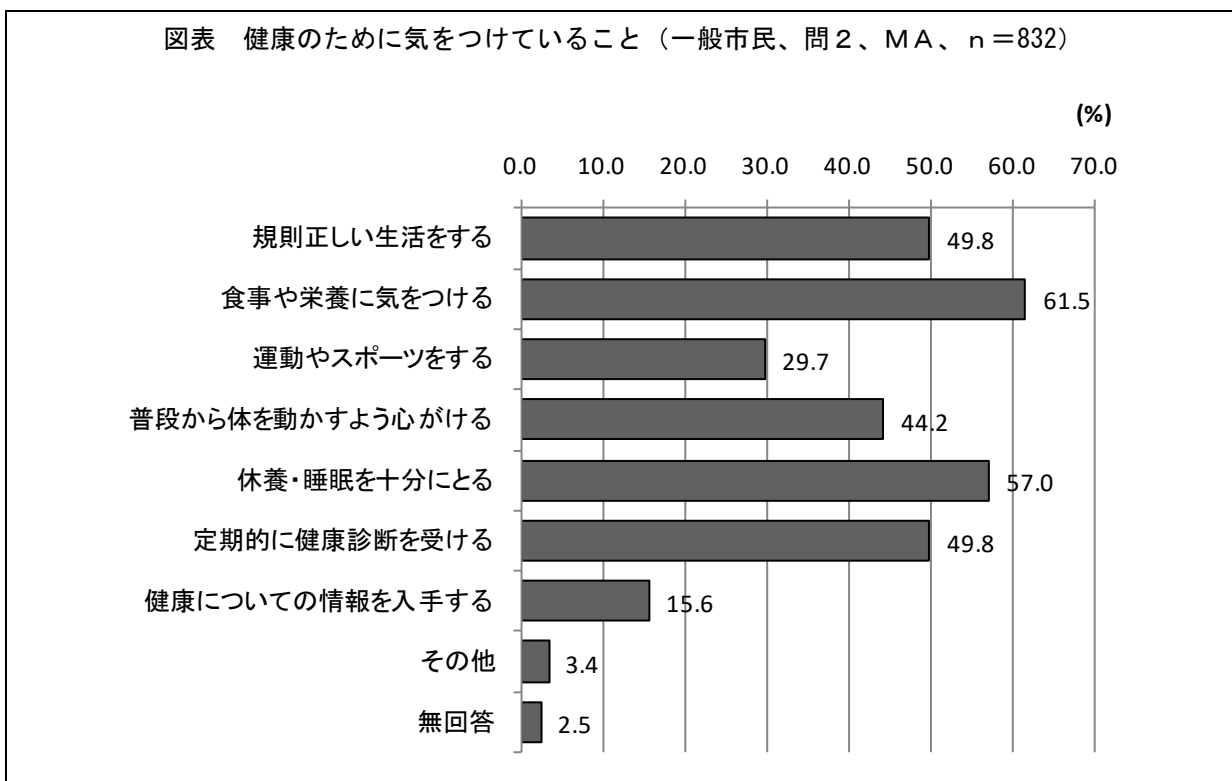


II 市民調査結果

(2) 健康のために気をつけていること

■一般市民

「食事や栄養に気をつける」との回答が 61.5%と最も多く、次いで、「休養・睡眠を十分にとる」と回答した人は 57.0%となっている。一方、「運動やスポーツをする」が 29.7%、「普段から身体を動かすように心がける」が 44.2%と、運動を意識的に行っている市民は、食生活や休養などと比較するとあまり多くない。



図表 健康のために気をつけていること（一般市民、男女別）

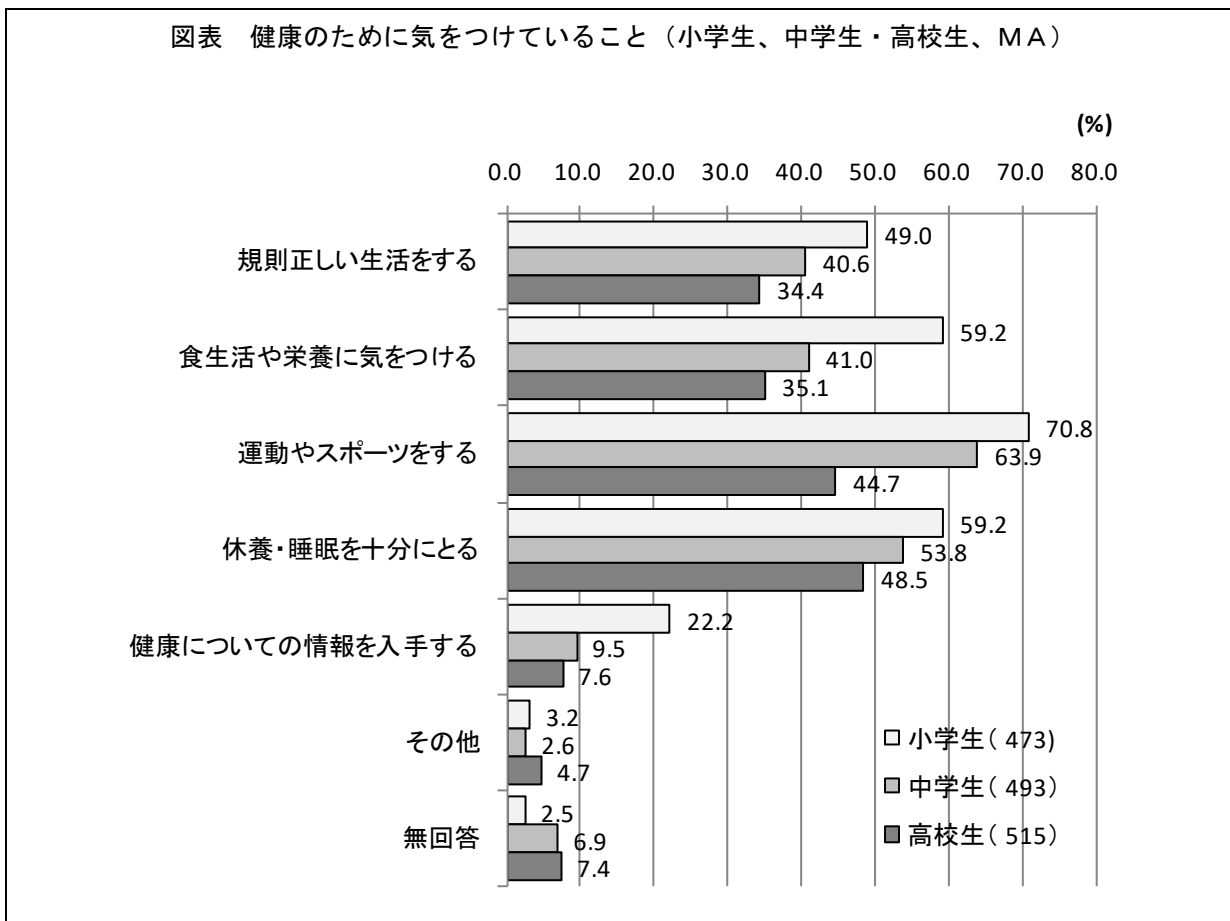
	n	規則正しい生活をする	食事や栄養に気をつける	運動やスポーツをする	普段から体を動かすよう心がける	休養・睡眠を十分にとる	定期的に健康診断を受ける	健康についての情報を入手する	その他	無回答
男性 合計	232	40.9	54.7	35.3	41.8	54.3	44.4	11.2	4.3	2.2
30歳未満	28	32.1	39.3	39.3	39.3	57.1	7.1	3.6	3.6	14.3
30歳代	38	26.3	55.3	42.1	23.7	57.9	26.3	5.3	10.5	0.0
40歳代	34	20.6	58.8	23.5	20.6	38.2	47.1	11.8	0.0	0.0
50歳代	35	57.1	60.0	31.4	45.7	65.7	57.1	14.3	0.0	0.0
60歳代	39	46.2	64.1	53.8	51.3	59.0	56.4	10.3	2.6	0.0
70歳以上	57	54.4	49.1	26.3	59.6	49.1	57.9	17.5	7.0	1.8
女性 合計	350	57.1	68.3	29.1	45.7	56.9	53.1	18.3	3.1	1.7
30歳未満	41	43.9	58.5	17.1	14.6	58.5	9.8	4.9	0.0	0.0
30歳代	64	48.4	60.9	14.1	28.1	53.1	39.1	10.9	6.3	1.6
40歳代	55	50.9	60.0	34.5	36.4	50.9	47.3	18.2	3.6	1.8
50歳代	54	61.1	63.0	33.3	53.7	55.6	61.1	16.7	0.0	3.7
60歳代	65	69.2	80.0	44.6	64.6	63.1	67.7	32.3	1.5	0.0
70歳以上	70	62.9	80.0	28.6	64.3	58.6	75.7	21.4	5.7	2.9



■小学生・中学生・高校生

「運動やスポーツをする」と回答した小学生は70.8%、中学生は63.9%と最も多い結果となっている。高校生は「休養・睡眠を十分にとる」という回答が最も多い。

一般市民と比べて、健康に関わることとして、運動をより意識的に行っていることがわかる。



図表 健康のために気をつけていること（小学生、中学生、高校生、男女別）

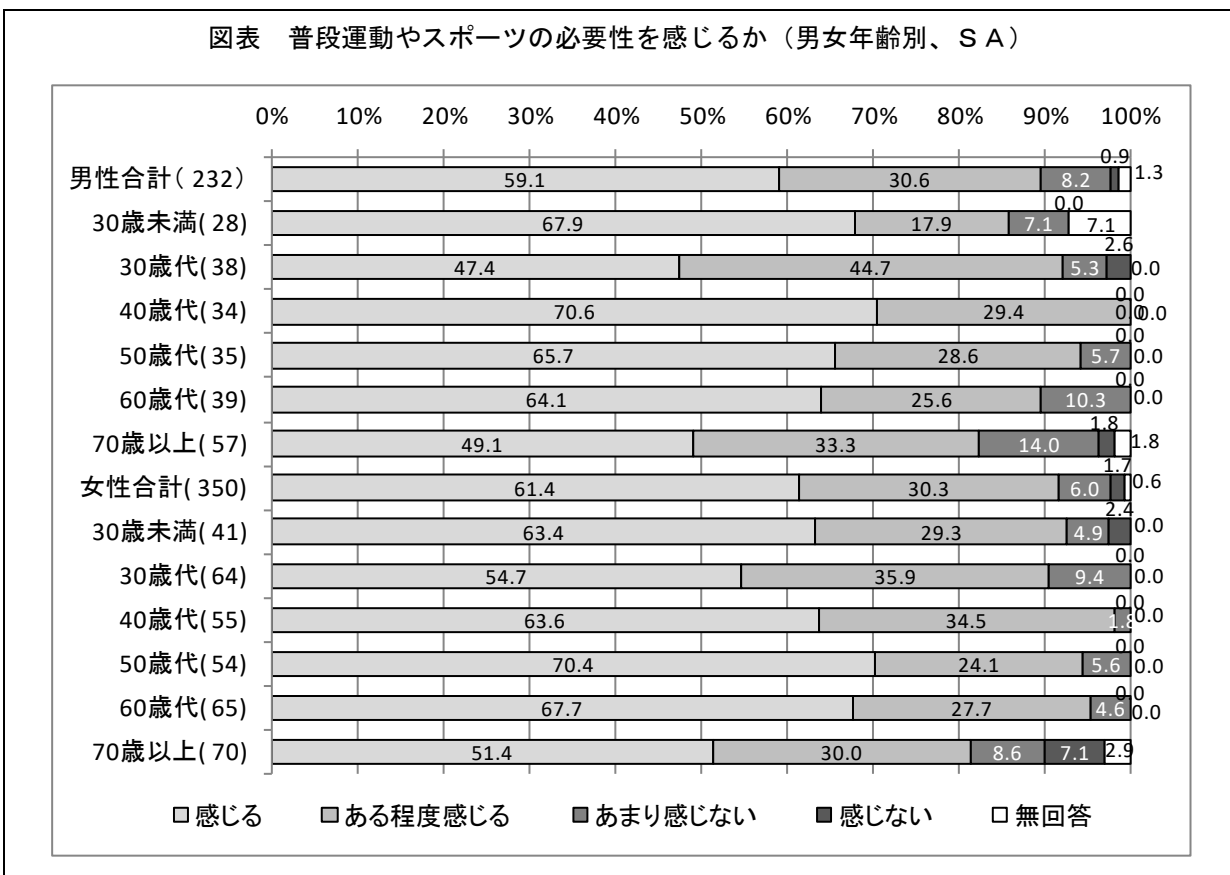
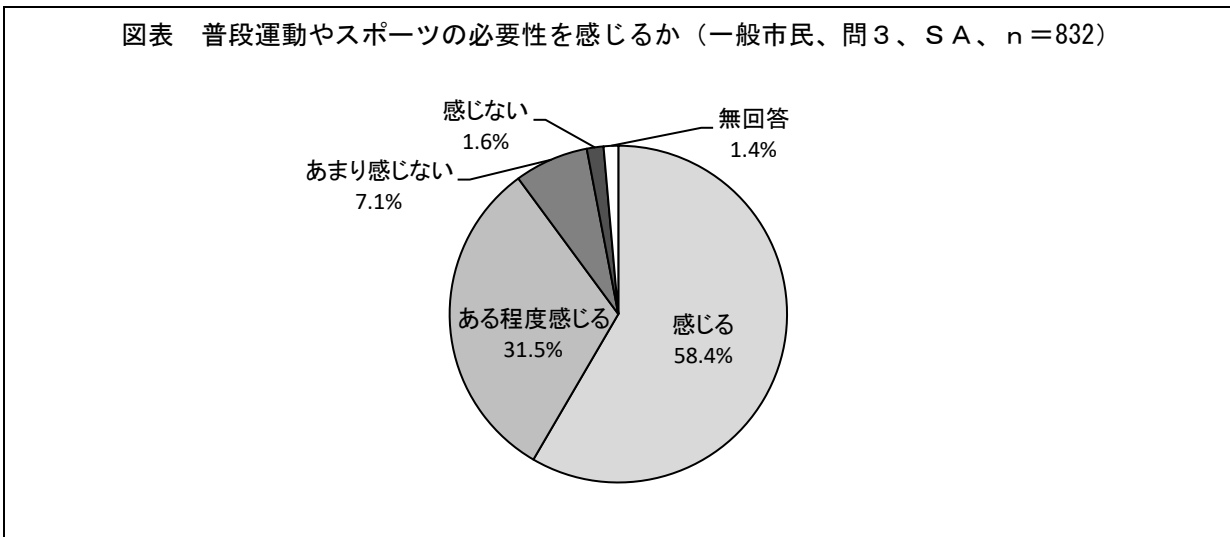
	n	規則正しい生活をする	食生活や栄養に気をつける	運動やスポーツをする	休養・睡眠を十分にとる	健康についての情報を入手する	その他	無回答
小学生(全体)	473	49.0	59.2	70.8	59.2	22.2	3.2	2.5
小学生(男子)	235	46.4	51.5	79.6	57.4	20.4	3.0	3.0
小学生(女子)	238	51.7	66.8	62.2	60.9	23.9	3.4	2.1
中学生(全体)	493	40.6	41.0	63.9	53.8	9.5	2.6	6.9
中学生(男子)	251	46.6	41.0	73.3	55.4	11.6	3.2	4.4
中学生(女子)	241	34.4	41.1	54.4	52.3	7.5	2.1	9.1
高校生(全体)	515	34.4	35.1	44.7	48.5	7.6	4.7	7.4
高校生(男子)	301	32.2	32.6	48.5	49.2	7.3	6.3	7.6
高校生(女子)	210	37.6	39.0	39.5	48.1	7.6	2.4	5.7

II 市民調査結果

(3) 運動やスポーツの必要性

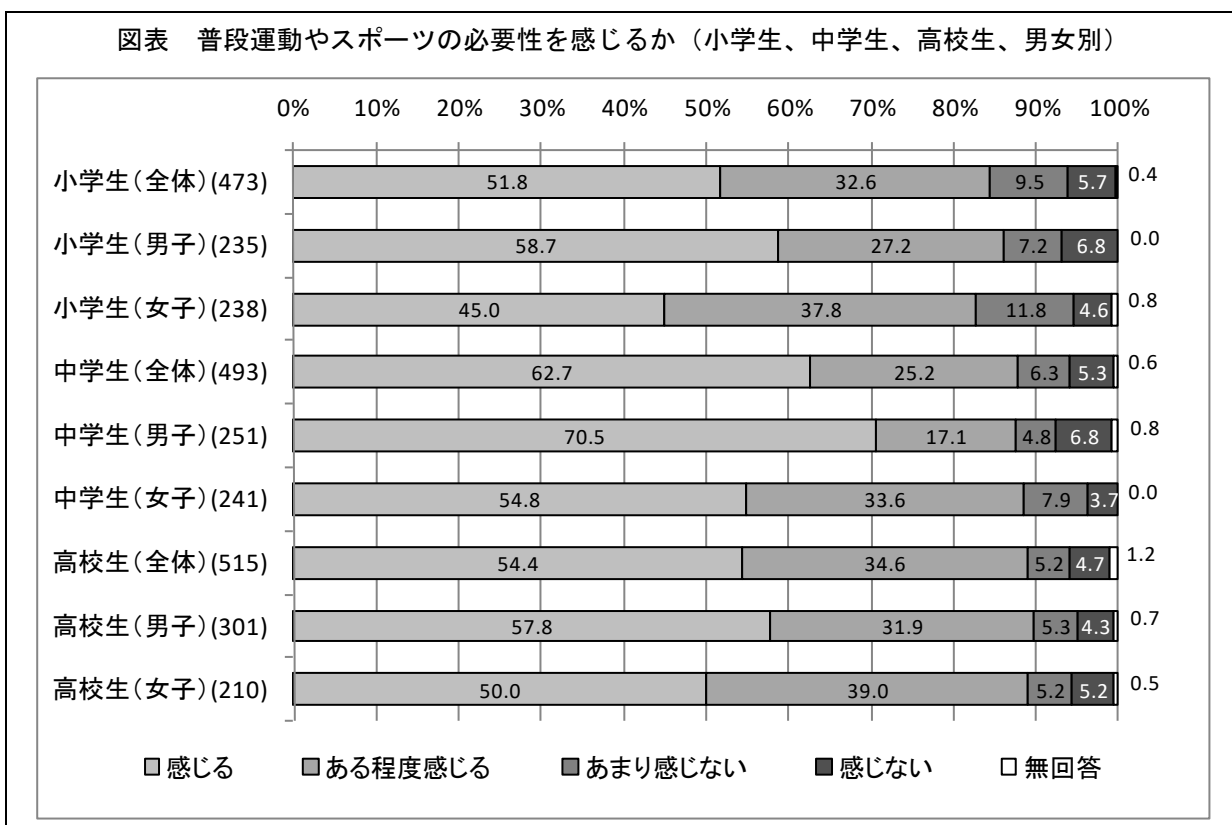
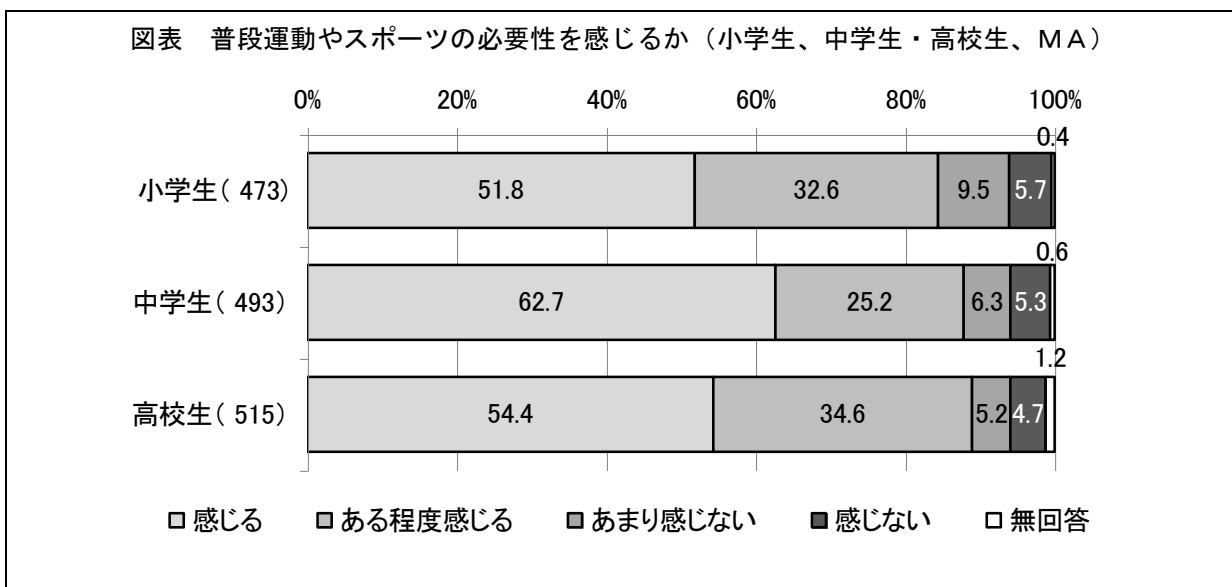
■一般市民

運動やスポーツの必要性を「感じる」と回答した人は 58.4%、また、「ある程度感じる」と回答した人は 31.5%と、全体の約 9 割近くにのぼる。特に、40 歳代、50 歳代にその傾向が強く見られる。



■小学生・中学生・高校生

「感じる」「ある程度感じる」と回答した子どもの合計は、小学生が84.4%、中学生87.9%、高校生89.0%と、多くの子どもが運動やスポーツの必要性を感じていることがわかる。



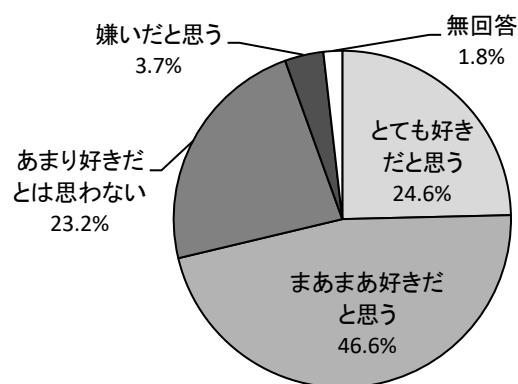
## 2 運動やスポーツとの関わり

### (1) 現在の運動の好き嫌い

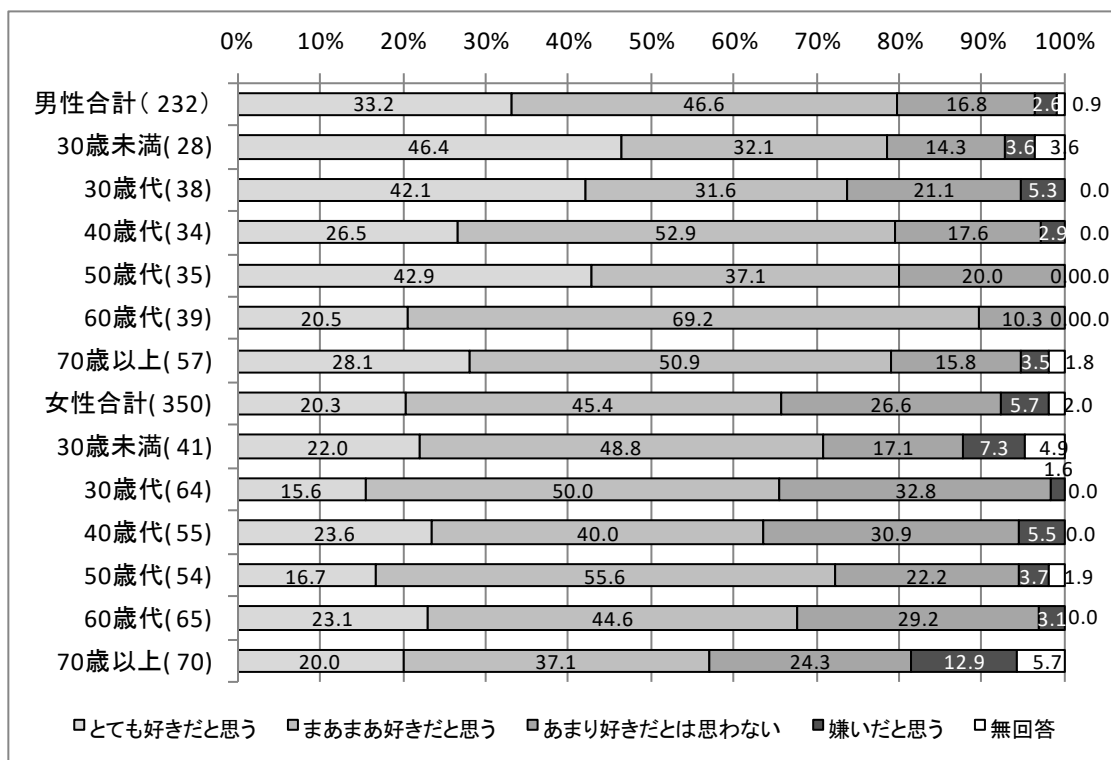
#### ■一般市民

運動は好きかどうかという質問に対して、「とても好きだと思う」、「まあまあ好きだと思う」と回答した人の合計は、全体の約7割となっている。男女年齢別にみると、男性の方が、好きと回答する割合が高い傾向が見られるのに対し、女性では、「あまり好きだとは思わない」、「嫌いだと思う」という回答が多い。

図表 現在の運動の好き嫌い（一般市民、問7、SA、n=832）

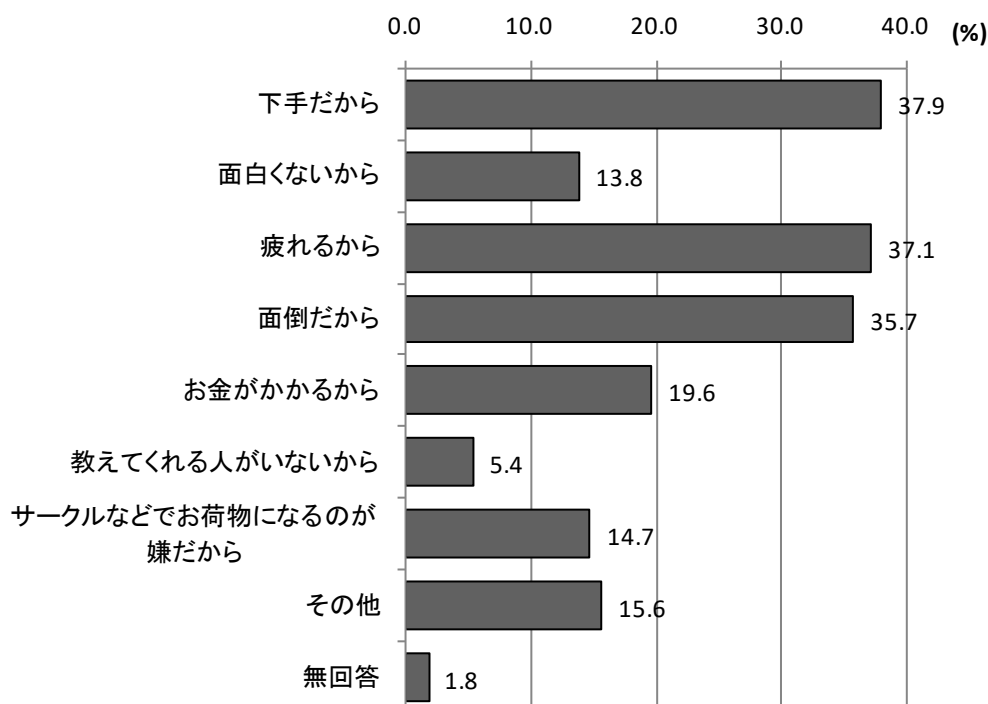


図表 現在の運動の好き嫌い（男女年齢別、SA）



「あまり好きだとは思わない」、「嫌いだと思う」と回答した人に対して理由を問うと、「下手だから」が37.9%と最も多く、運動に対する苦手意識が見られる。次いで、「疲れるから」が37.1%、「面倒だから」が35.7%となっている。

図表 運動が嫌いな理由（一般市民、問8、MA、n=224（問7で3・4と回答））



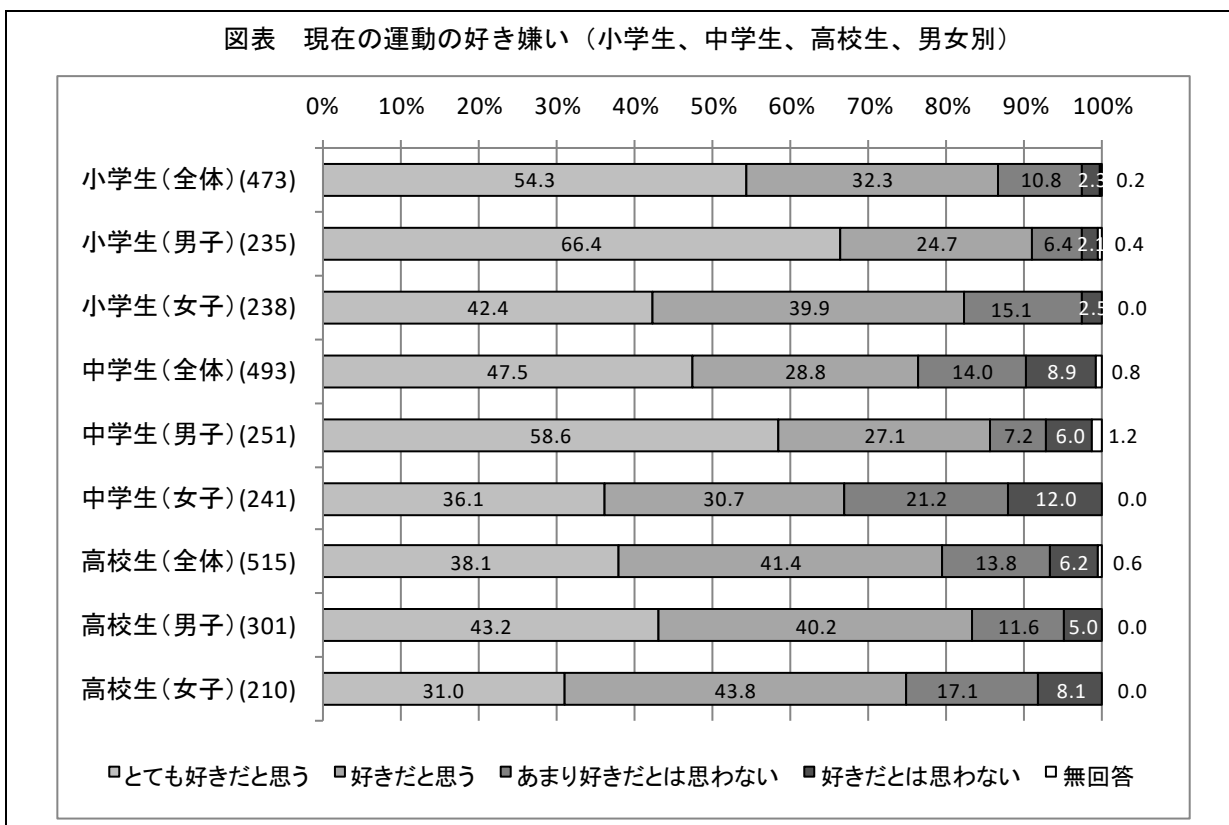
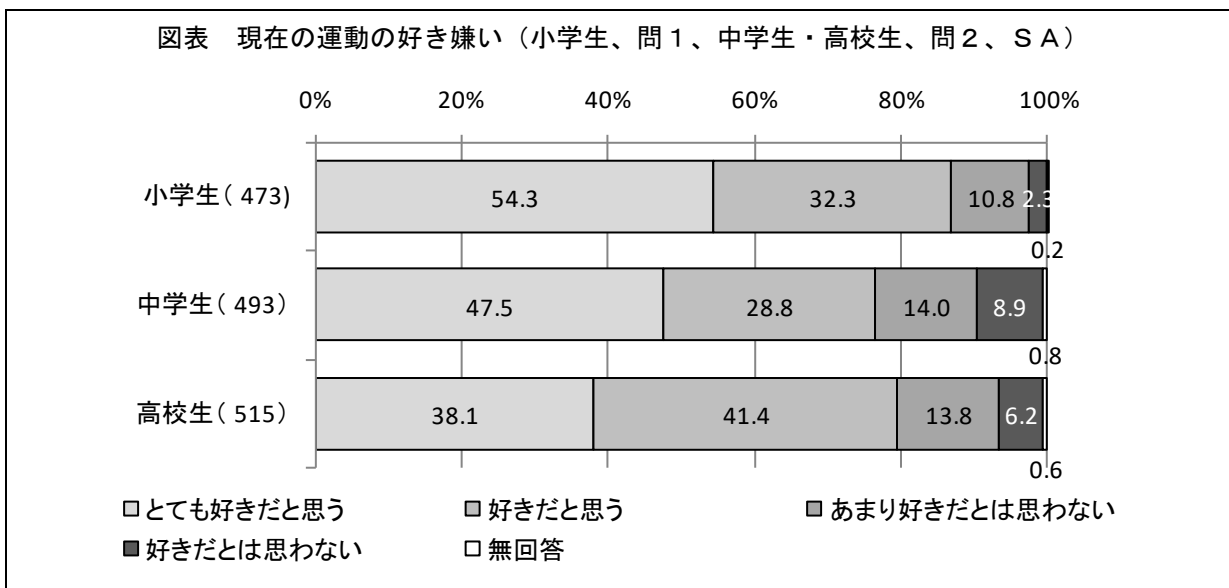
図表 運動が嫌いな理由（一般市民、男女別）

	n	下手だから	面白くないから	疲れるから	面倒だから	お金がかかるから	教えてくれる人がいないから	サークルなどでお荷物になるのが嫌だから	その他	無回答
男性 合計	45	46.7	17.8	28.9	40.0	28.9	2.2	15.6	11.1	4.4
30歳未満	5	60.0	40.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	10	70.0	10.0	20.0	20.0	40.0	0.0	30.0	10.0	10.0
40歳代	7	14.3	14.3	57.1	57.1	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0
50歳代	7	57.1	0.0	0.0	42.9	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0
60歳代	4	75.0	0.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	11	27.3	36.4	18.2	36.4	18.2	0.0	18.2	9.1	9.1
女性 合計	113	38.1	11.5	43.4	40.7	22.1	6.2	16.8	12.4	0.9
30歳未満	10	70.0	30.0	50.0	40.0	30.0	20.0	20.0	0.0	0.0
30歳代	22	36.4	4.5	45.5	36.4	36.4	0.0	22.7	18.2	0.0
40歳代	20	35.0	10.0	65.0	50.0	25.0	0.0	10.0	5.0	0.0
50歳代	14	35.7	7.1	28.6	50.0	28.6	0.0	7.1	14.3	7.1
60歳代	21	42.9	19.0	33.3	52.4	14.3	19.0	19.0	0.0	0.0
70歳以上	26	26.9	7.7	38.5	23.1	7.7	3.8	19.2	26.9	0.0

II 市民調査結果

■小学生・中学生・高校生

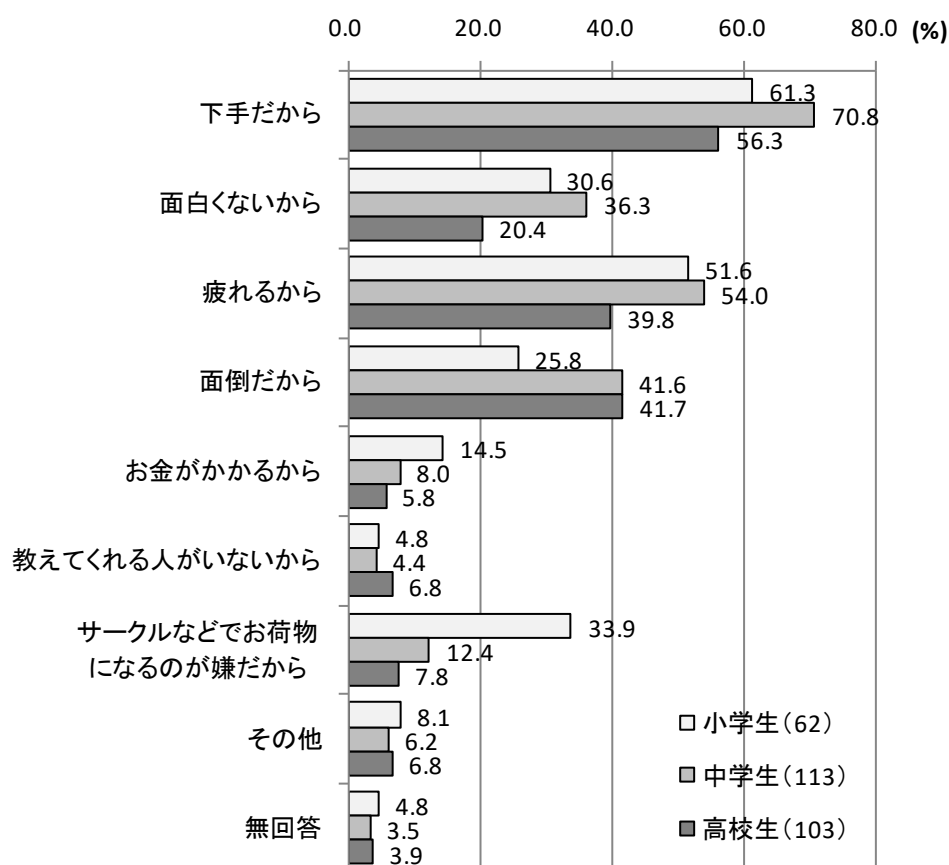
子どもの運動の好き嫌いに関しては、「とても好きだと思う」、「好きだと思う」との回答が多く、合計すると小学生が86.6%、中学生が76.3%、高校生が79.5%となっている。男女別にみると、男子よりも女子で「あまり好きだとは思わない」、「好きだとは思わない」との回答が目立っている。特に、中学生女子では、「とても好きだと思う」、「好きだと思う」の合計が66.8%と、7割を下回っている。



運動の嫌いな理由では、「下手だから」との回答が最も多く、次いで「疲れるから」が多い。また、中学生、高校生では、「面倒だから」との回答も多くなっている。

特に、小学生、高校生では、女子で「下手だから」との回答が多い傾向が見られる。

図表 運動が嫌いな理由（小学生、問2、中学生・高校生、問3、MA  
（小学生、問1で3・4と回答、中学生・高校生、問2で3・4と回答）



図表 運動が嫌いな理由（小学生、中学生、高校生、男女別）

	n	下手だから	面白くないから	疲れるから	面倒だから	お金がかかるから	教えてくれる人がいないから	サークルなどでお荷物になるのが嫌だから	その他	無回答
小学生(全体)	62	61.3	30.6	51.6	25.8	14.5	4.8	33.9	8.1	4.8
小学生(男子)	20	40.0	40.0	50.0	30.0	25.0	0.0	15.0	5.0	10.0
小学生(女子)	42	71.4	26.2	52.4	23.8	9.5	7.1	42.9	9.5	2.4
中学生(全体)	113	70.8	36.3	54.0	41.6	8.0	4.4	12.4	6.2	3.5
中学生(男子)	33	75.8	39.4	42.4	36.4	21.2	6.1	21.2	9.1	0.0
中学生(女子)	80	68.8	35.0	58.8	43.8	2.5	3.8	8.8	5.0	5.0
高校生(全体)	103	56.3	20.4	39.8	41.7	5.8	6.8	7.8	6.8	3.9
高校生(男子)	50	42.0	22.0	38.0	52.0	10.0	10.0	10.0	8.0	2.0
高校生(女子)	53	69.8	18.9	41.5	32.1	1.9	3.8	5.7	5.7	5.7

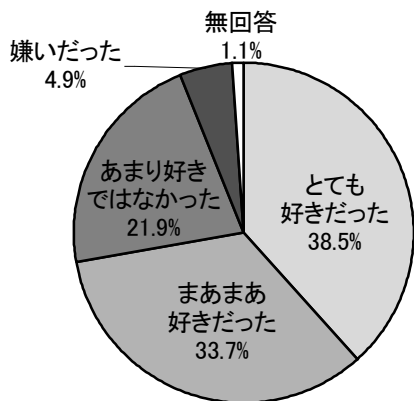
II 市民調査結果

(2) 子どもの頃の運動経験

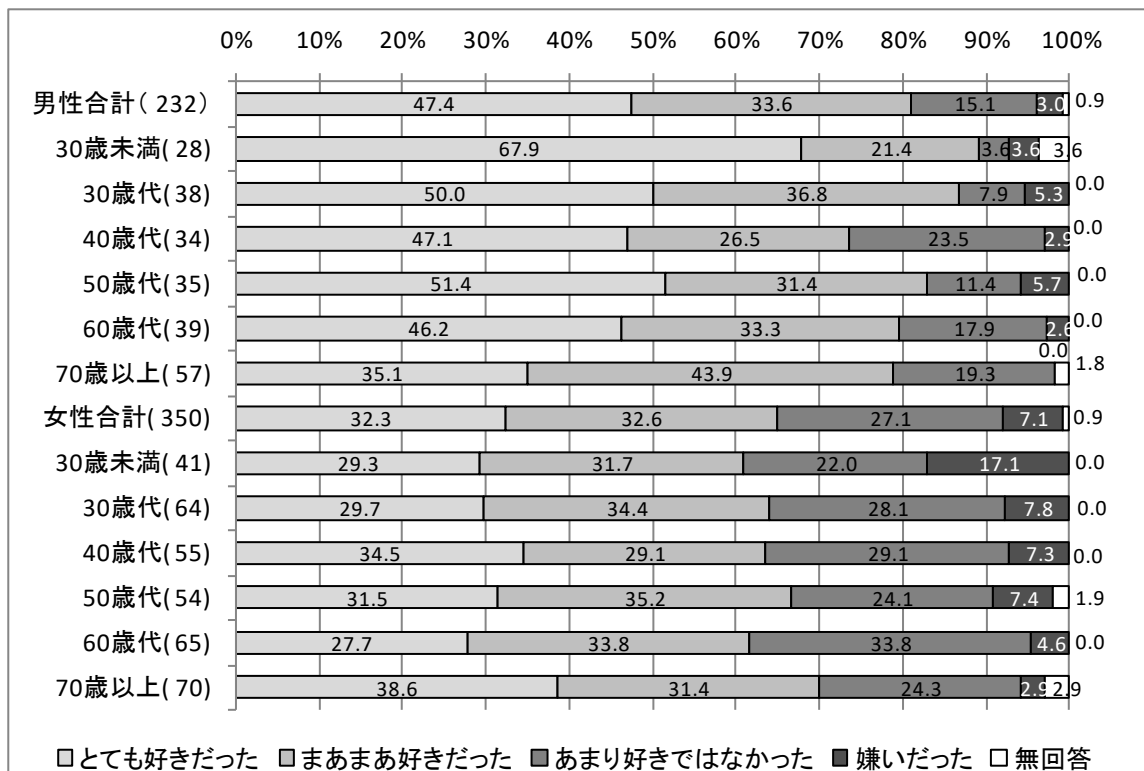
■一般市民

小学生の頃、体育などで身体を動かすことが「とても好きだった」、「まあまあ好きだった」と回答した人は全体の約7割であった。男女別にみると、女性の方が「あまり好きではなかった」、「嫌いだった」と回答した人の割合が多い傾向が見られる。

図表 小学生の頃、身体を動かすことが好きだったか（一般市民、問4、SA、n=832）



図表 小学生の頃、身体を動かすことが好きだったか（男女年齢別、SA）

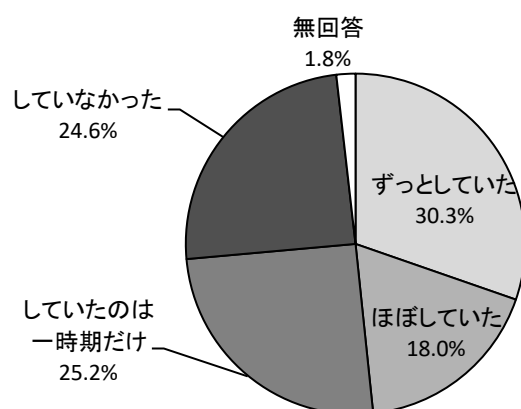




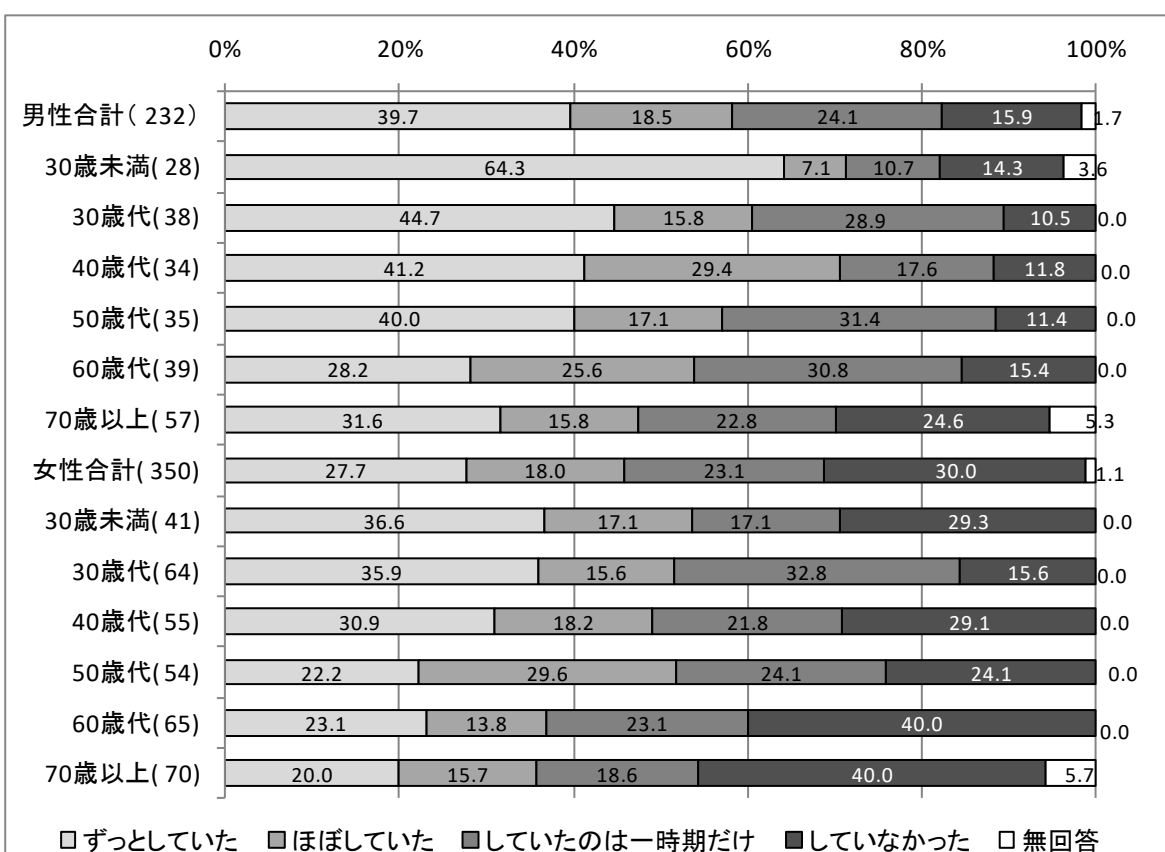
中学生や高校生の頃、継続的に運動やスポーツとしていたかについては、「ずっとしていた」、「ほぼしていた」と回答した人の合計は48.3%と、全体の約5割となっている。また、男女別では、「していなかった」の割合が、男性15.9%であるのに対して、女性では30.0%と約2倍となっている。

現在のスポーツの実施頻度別にみると、現在スポーツを全くしない人で、運動経験のない人が3割強と多くなっている。

図表 中学生や高校生の頃、継続的に運動・スポーツをしていたか（一般市民、問5、SA、n=832）

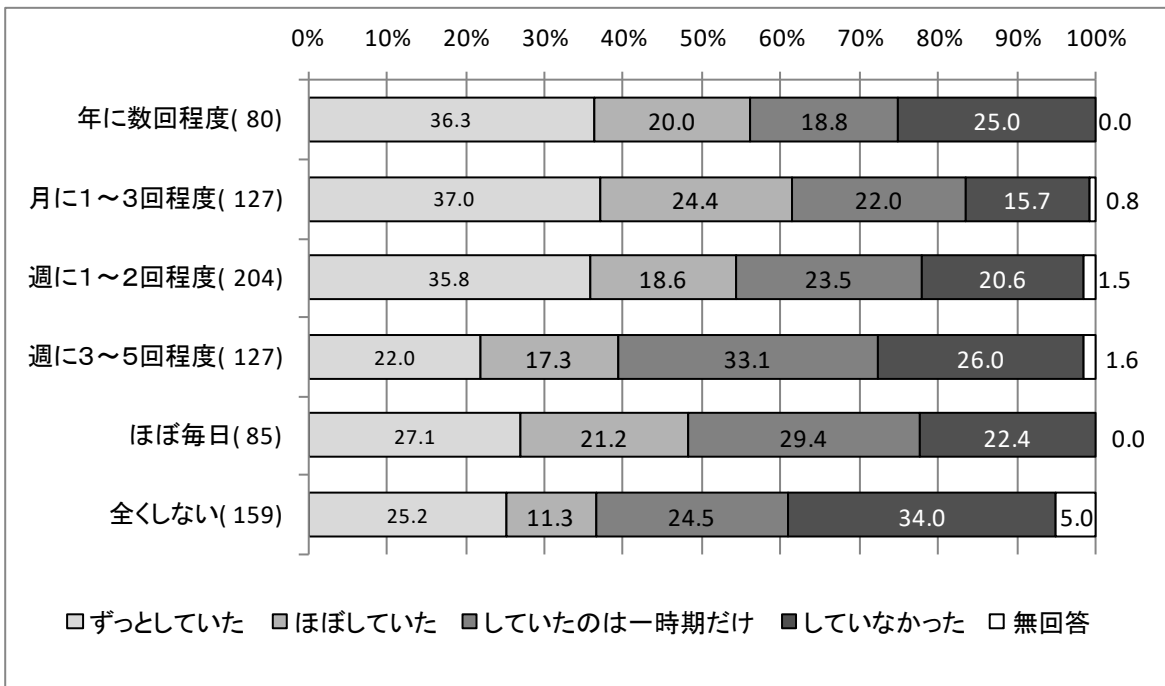


図表 中学生や高校生の頃、継続的に運動・スポーツをしていたか（男女年齢別、SA）



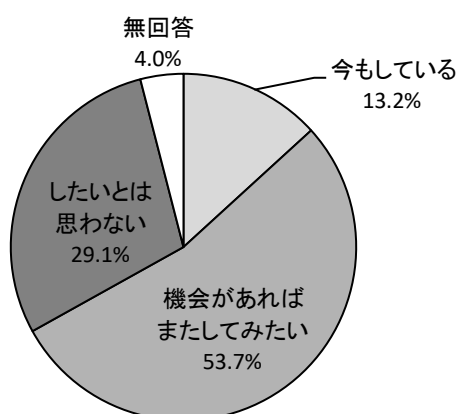
Ⅱ 市民調査結果

図表 中学生や高校生の頃、継続的に運動・スポーツをしていたか（実施頻度別、S A）

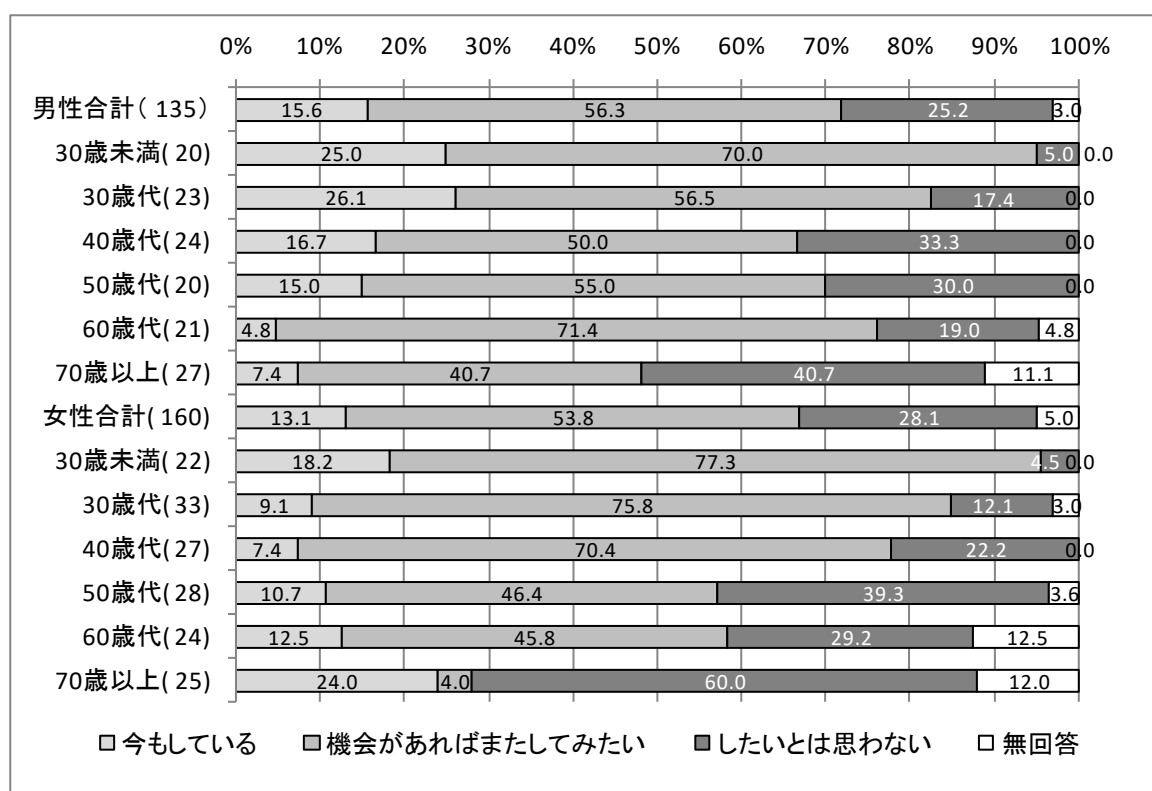


中学校や高校の部活動でしていたスポーツにまた取り組みたいかという質問に対しては、「今もしている」が13.2%、「機会があればまたしてみたい」が53.7%と、約7割近くの人に意欲があると見られる。年齢別では、30歳未満、30歳代、40歳代で意欲がある人が多い傾向が見られる。

図表 中学校や高校の部活動でしていたスポーツにまた取り組みたいか  
(一般市民、問6、SA、n=402(問5で1・2と回答))



図表 中学校や高校の部活動でしていたスポーツにまた取り組みたいか(男女年齢別、SA)

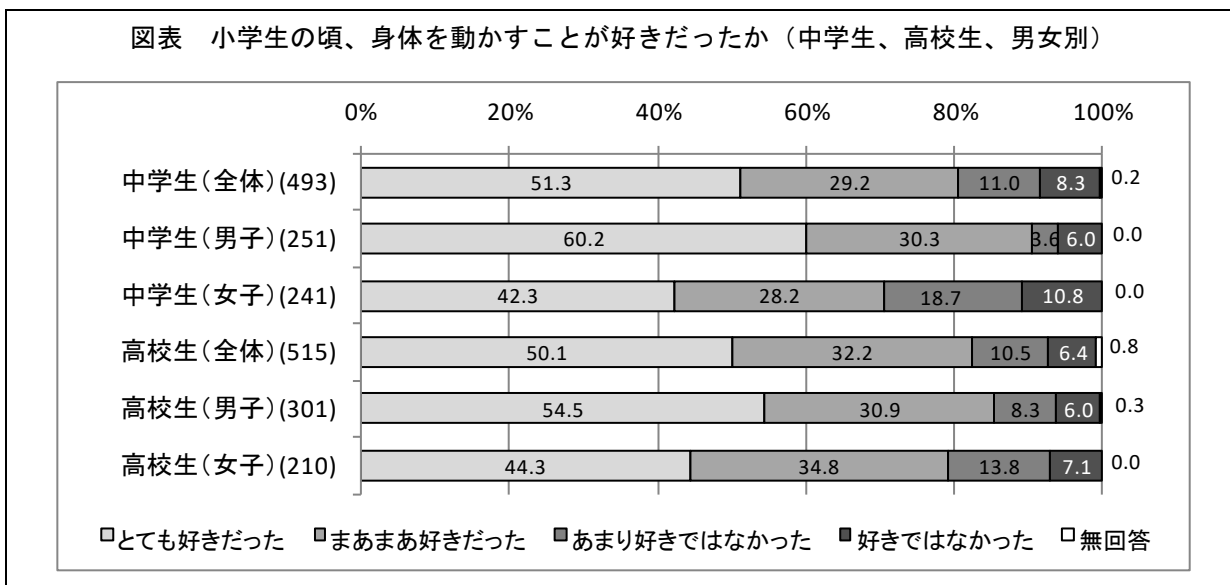
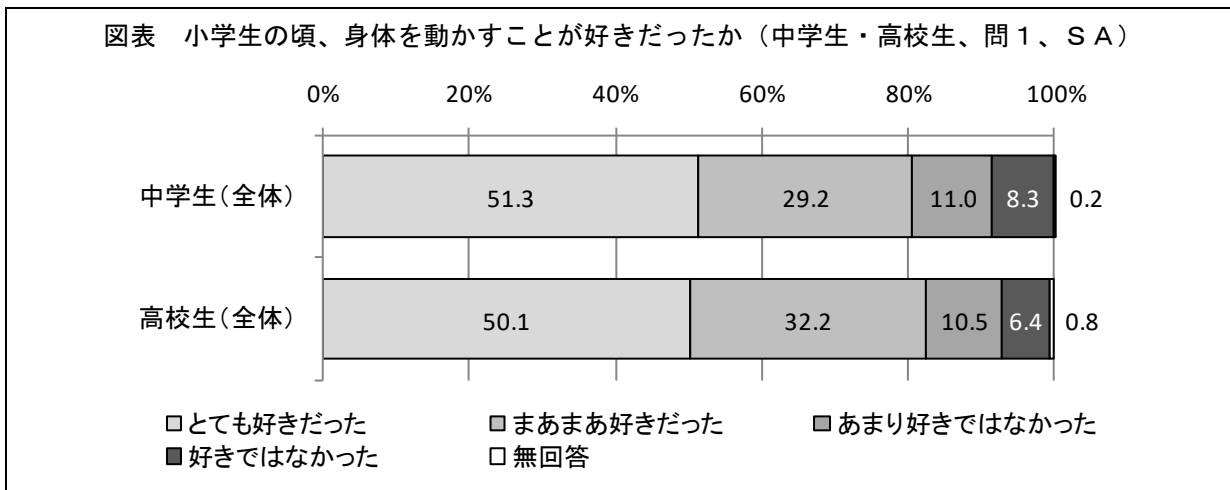


II 市民調査結果

■中学生・高校生

小学生の頃、身体を動かすことが好きだったかという質問に対しては、「とても好きだった」「まあまあ好きだった」と回答した中学生は合計で80.5%、高校生は82.3%と、回答者の多くは小学生の頃、身体を動かすことが好きだった傾向が見られる。

男女別でみると、女子で、好きだったとの回答の割合が低い傾向が見られる。

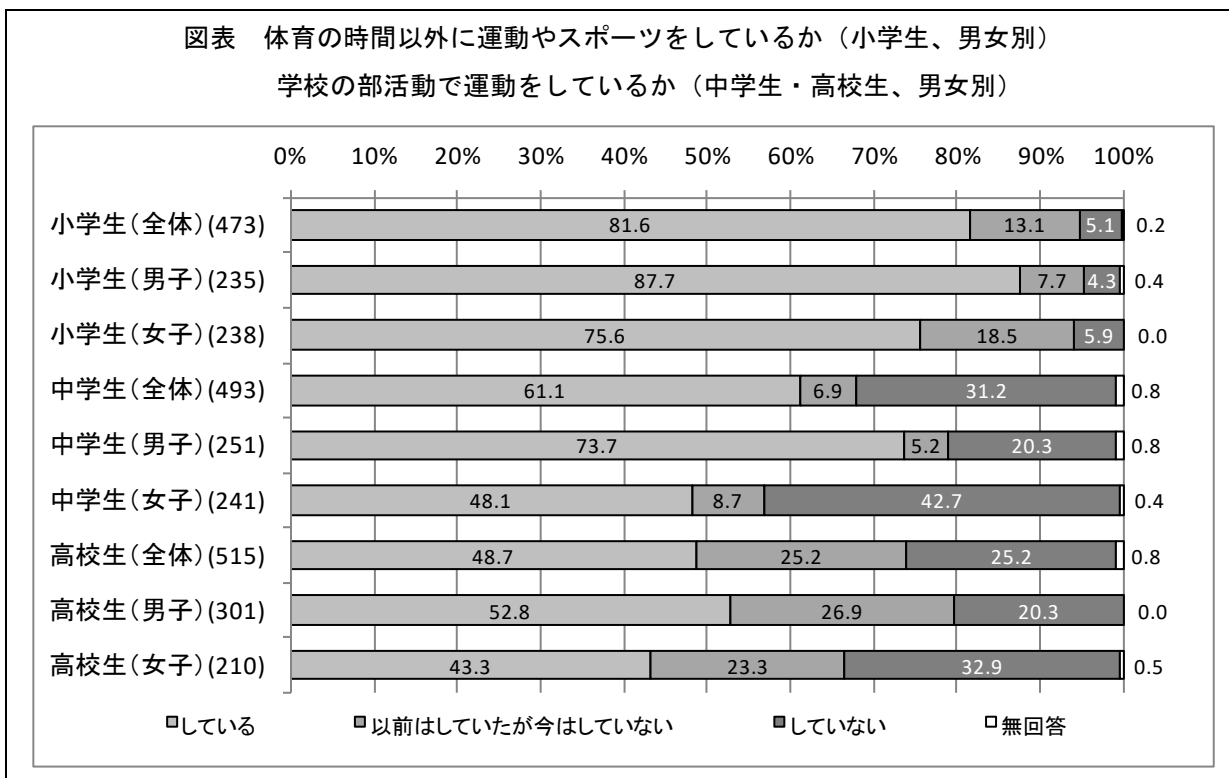
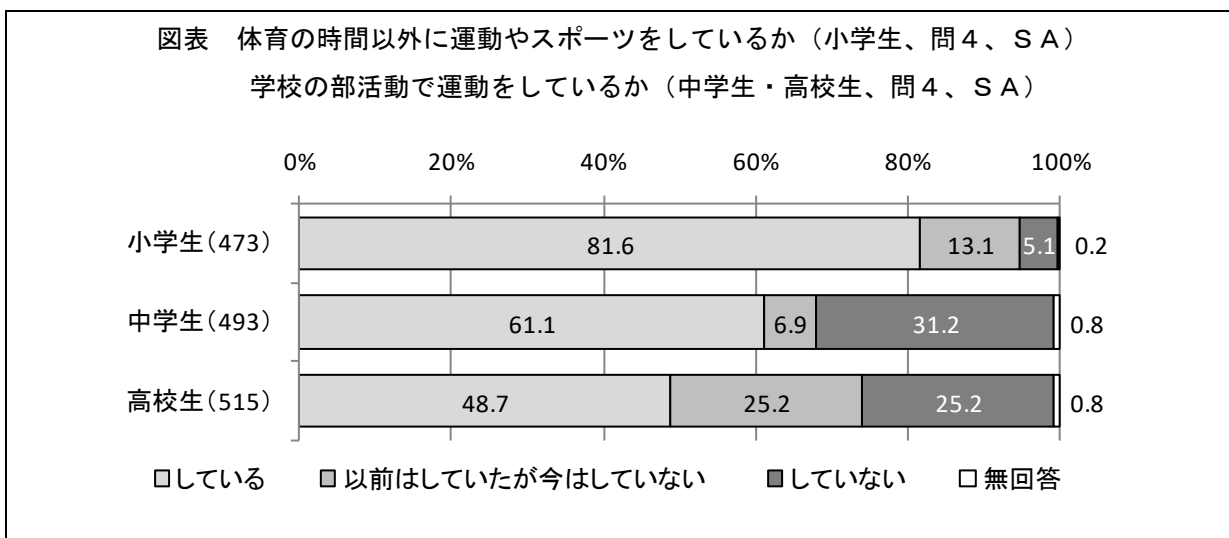


### (3) 小中高校生の運動やスポーツとの関わり

#### ■小学生・中学生・高校生

体育の時間以外に運動やスポーツをしている小学生は81.6%と多い。男女別では、男子で9割弱、女子で約75%となっている。

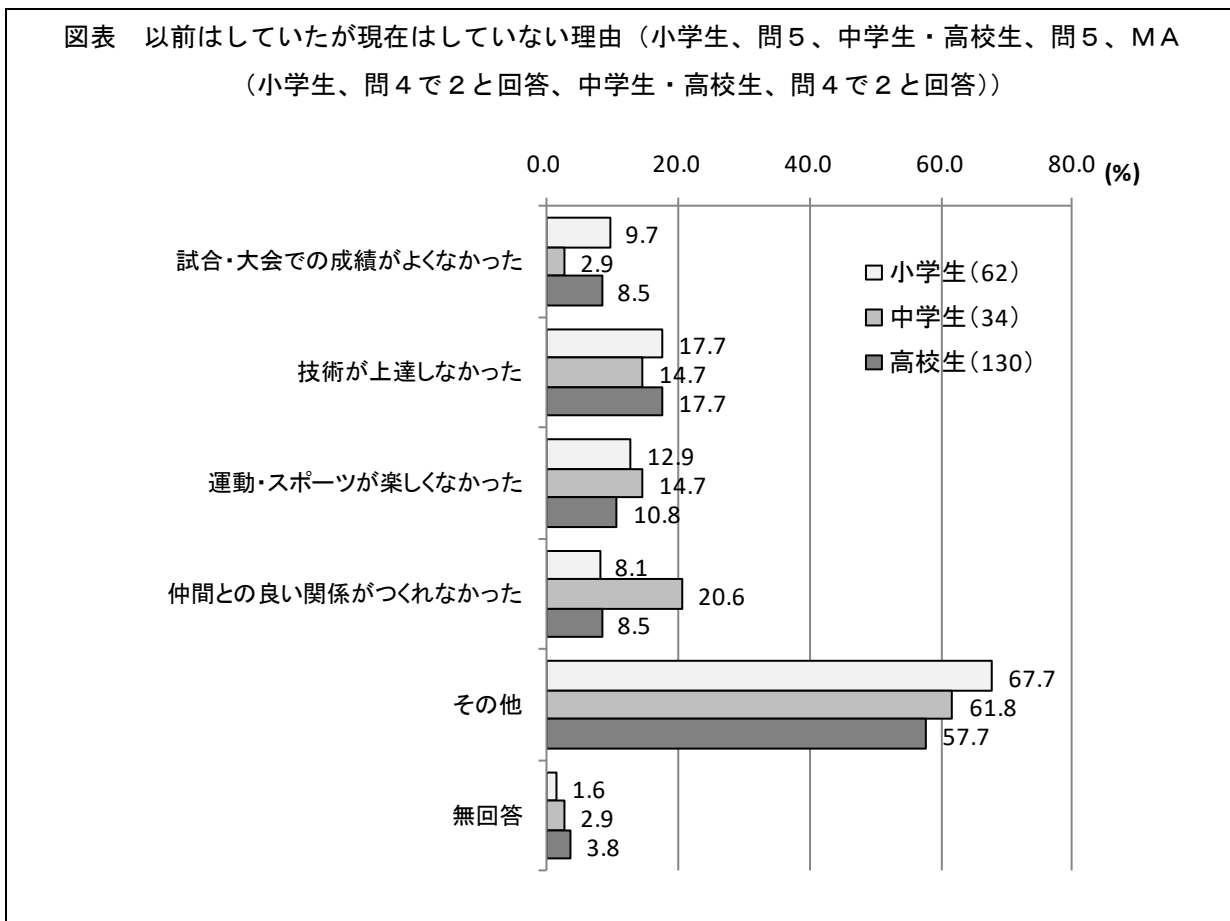
学校の部活動で運動やスポーツをしている中学生、高校生は、中学生で61.1%、高校生で48.7%となっている。男女別では、中学生、高校生ともに女子で低い傾向がみられる。



## II 市民調査結果

問4で「以前は学校の部活動で運動やスポーツをしていたが、現在はしていない」と回答した人に対して、現在はしていない理由を聞いたところ、小学生、高校生では「技術が上達しなかった」、中学生では「仲間との良い関係がつけられなかった」が比較的多い。

ただし、どの年代ともに「その他」が多いため、その他の主な回答を以下に示す。



### 【その他の主な回答】

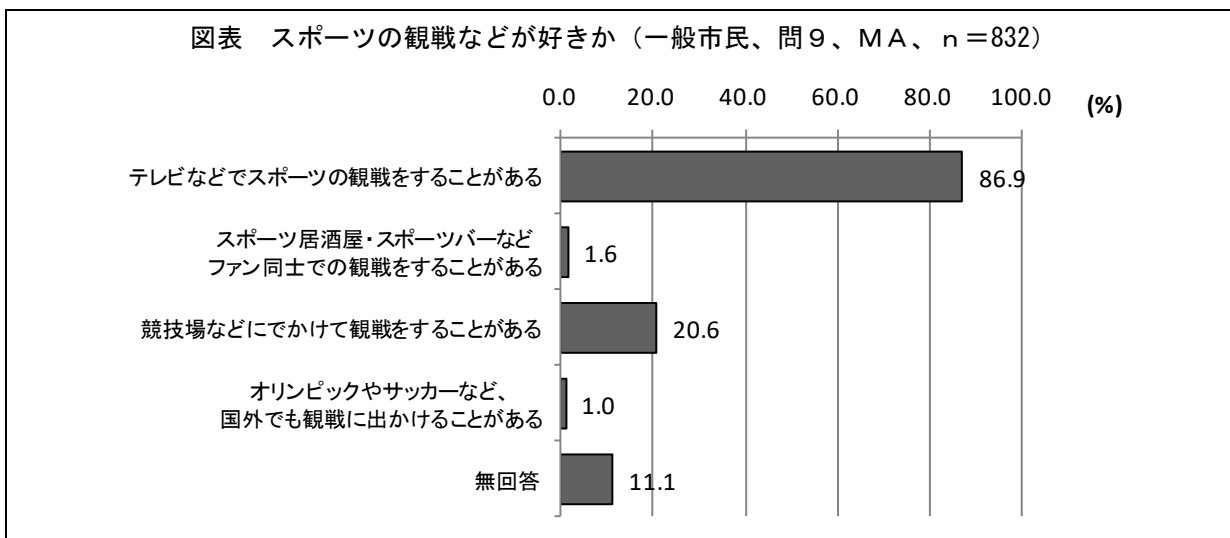
小学生では、塾や習い事、勉強などで忙しくなったから、時間がなくなってしまったからという理由が多く見られた。

中学生・高校生では、アルバイトや他の事に興味があったから、勉強との両立が難しいから、という理由が多くあった。また、怪我をしてやめたという意見や、指導者や先輩とうまくいかなかったなど、人間関係のトラブルをあげる人も多く見られた。

### (4) 「みる」「する」「ささえる」スポーツ

#### ■一般市民

スポーツ観戦については、「テレビなどでスポーツの観戦をすることがある」と回答した人が86.9%と最も多い。男女別では、「競技場などにでかけて観戦をすることがある」は、女性よりも男性の割合が高い傾向が見られる。



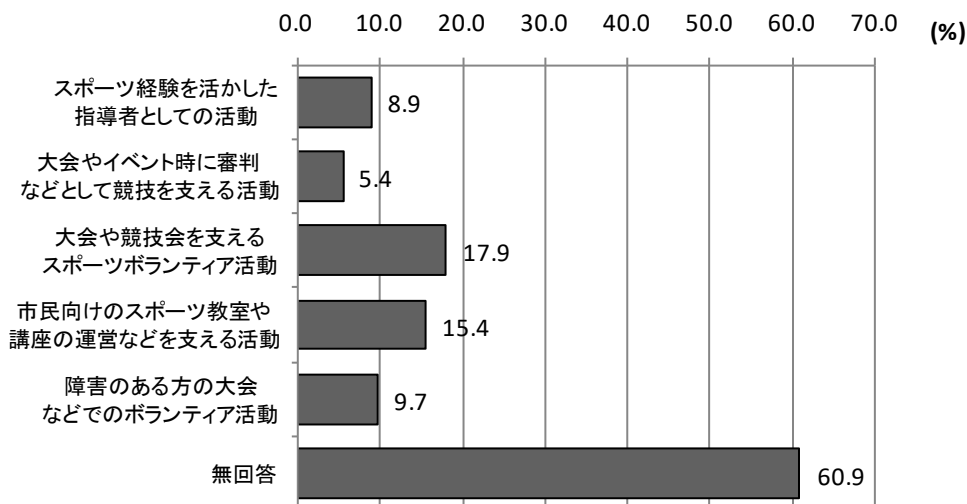
図表 スポーツの観戦などが好きか（一般市民、男女別）

	n	テレビなどでスポーツの観戦をすることがある	スポーツ居酒屋・スポーツバーなどファン同士での観戦をすることがある	競技場などにでかけて観戦をすることがある	オリンピックやサッカーなど、国外でも観戦に出かけることがある	無回答
男性 合計	232	87.9	3.4	28.9	1.3	9.1
30歳未満	28	75.0	10.7	32.1	3.6	21.4
30歳代	38	81.6	7.9	34.2	2.6	13.2
40歳代	34	85.3	5.9	32.4	2.9	5.9
50歳代	35	100.0	0.0	37.1	0.0	0.0
60歳代	39	87.2	0.0	35.9	0.0	10.3
70歳以上	57	93.0	0.0	12.3	0.0	7.0
女性 合計	350	84.6	0.6	16.9	0.6	13.4
30歳未満	41	90.2	2.4	24.4	2.4	7.3
30歳代	64	82.8	1.6	25.0	0.0	10.9
40歳代	55	78.2	0.0	16.4	0.0	21.8
50歳代	54	81.5	0.0	13.0	0.0	16.7
60歳代	65	89.2	0.0	18.5	0.0	9.2
70歳以上	70	85.7	0.0	7.1	1.4	14.3

II 市民調査結果

運動やスポーツを「する」「みる」以外の関わり方で関心があるものについては、「大会や競技会を支えるスポーツボランティア活動」や「市民向けのスポーツ教室や講座の運営などを支える活動」などが比較的高くなっている。

図表 運動やスポーツを「する」「みる」以外に関心があるもの（一般市民、問10、MA、n=832）



図表 運動やスポーツを「する」「みる」以外に関心があるもの（一般市民、男女別）

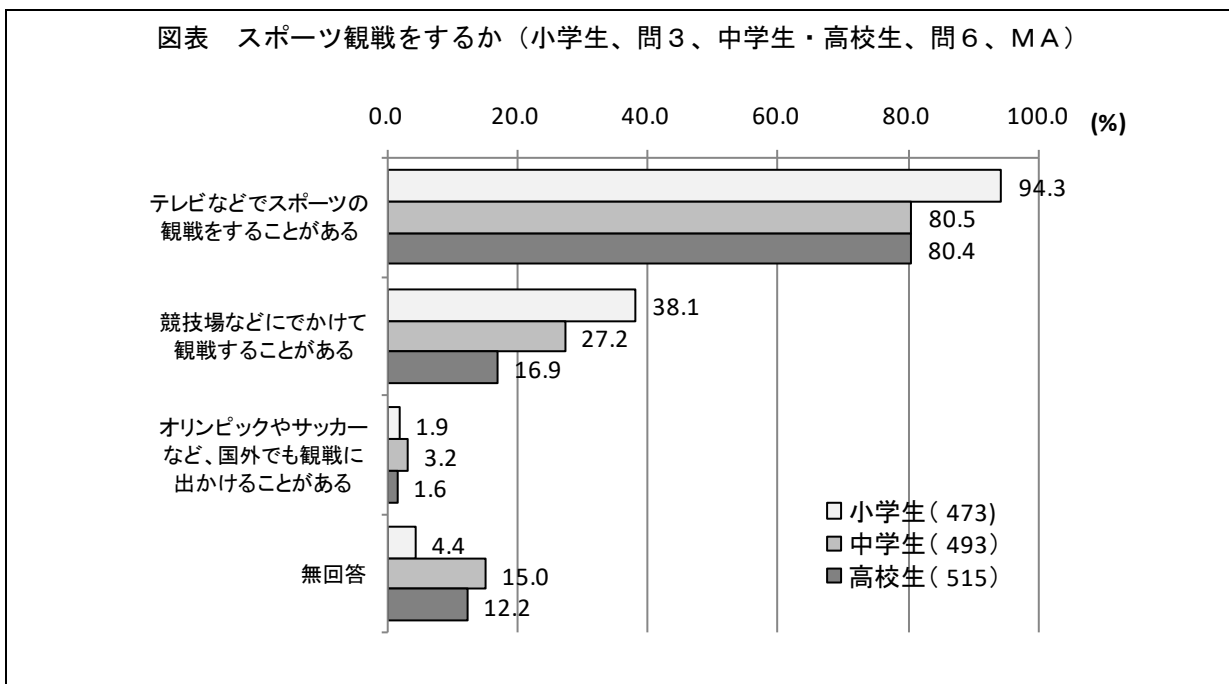
	n	スポーツ経験を活かした指導者としての活動	大会やイベント時に審判などとして競技を支える活動	大会や競技会を支えるスポーツボランティア活動	市民向けのスポーツ教室や講座の運営などを支える活動	障害のある方の大会などでのボランティア活動	無回答
男性 合計	232	15.1	6.9	21.6	16.4	6.9	53.9
30歳未満	28	39.3	7.1	25.0	10.7	3.6	39.3
30歳代	38	7.9	10.5	21.1	15.8	10.5	57.9
40歳代	34	17.6	5.9	23.5	5.9	8.8	52.9
50歳代	35	17.1	14.3	31.4	20.0	11.4	42.9
60歳代	39	10.3	5.1	33.3	28.2	7.7	43.6
70歳以上	57	8.8	1.8	5.3	15.8	1.8	71.9
女性 合計	350	6.9	4.9	19.7	20.0	10.0	59.7
30歳未満	41	24.4	14.6	43.9	26.8	12.2	31.7
30歳代	64	3.1	4.7	17.2	20.3	6.3	57.8
40歳代	55	7.3	3.6	25.5	20.0	14.5	54.5
50歳代	54	5.6	5.6	20.4	25.9	14.8	57.4
60歳代	65	1.5	1.5	20.0	24.6	12.3	60.0
70歳以上	70	5.7	2.9	2.9	7.1	2.9	82.9



■小学生・中学生・高校生

スポーツ観戦については、「テレビなどでスポーツの観戦をすることがある」との回答が最も多く、8割を超えている。

男女別にみると、小学生、中学生では、男子の方が、「競技場などにでかけて観戦することがある」と回答した割合が高くなっている。



図表 スポーツ観戦をするか（小学生、中学生、高校生、男女別）

	n	テレビなどでスポーツの観戦をすることがある	競技場などにでかけて観戦することがある	オリンピックやサッカーなど、国外でも観戦に出かけることがある	無回答
小学生(全体)	473	94.3	38.1	1.9	4.4
小学生(男子)	235	94.9	48.5	1.7	3.8
小学生(女子)	238	93.7	27.7	2.1	5.0
中学生(全体)	493	80.5	27.2	3.2	15.0
中学生(男子)	251	85.3	33.5	4.4	11.2
中学生(女子)	241	75.9	20.7	2.1	18.7
高校生(全体)	515	80.4	16.9	1.6	12.2
高校生(男子)	301	82.7	18.6	2.7	10.0
高校生(女子)	210	78.1	14.8	0.0	14.3

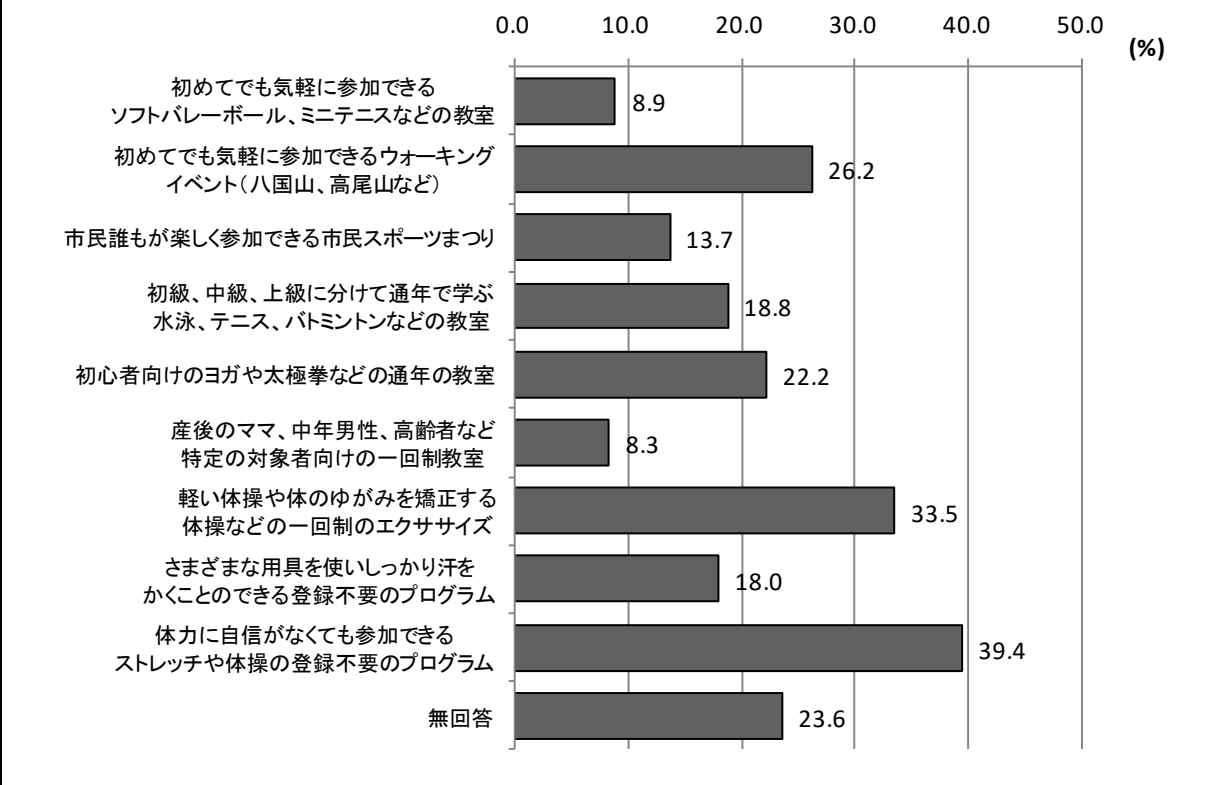
(5) イベントへの参加意向

■一般市民

参加したことがある、または参加したいイベント等については、「体力に自信がなくても参加できるストレッチや体操の登録不要プログラム」や「軽い体操や体のゆがみを矯正する体操などの一回制のエクササイズ」、「初めてでも気軽に参加できるウォーキングイベント」などが上位となっており、気軽に参加できるイベントの人気の高い傾向がある。

男女別では、全体的に女性の方が、イベントへの参加意向が高く、上述した回答の他、「初心者向けのヨガや太極拳などの通年の教室」などの意向も高い。

図表 市内のイベント等に参加したことがあるもの・参加したいもの（一般市民、問11、MA、n=832）



図表 市内のイベント等に参加したことがあるもの・参加したいもの（一般市民、男女別）

性別	年齢	n	初めてでも気軽に参加できるソフトバレーボール、ミニテニスなどの教室	初めてでも気軽に参加できるウォーキングイベント(八国山、高尾山など)	市民誰もが楽しく参加できる市民スポーツまつり	初級、中級、上級に分けて通年で学ぶ水泳、テニス、バドミントンなどの教室	初心者向けのヨガや太極拳などの通年の教室	産後のママ、中年男性、高齢者など特定の対象者向けの一回制教室	軽い体操や体のゆがみを矯正する体操などの一回制のエクササイズ	さまざまな用具を使いしっかり汗をかくことのできる登録不要のプログラム	体力に自信がなくても参加できるストレッチや体操の登録不要のプログラム	無回答
男性	合計	232	7.3	27.2	15.5	19.4	7.3	3.9	15.5	19.0	23.3	33.6
	30歳未満	28	10.7	10.7	17.9	21.4	3.6	3.6	10.7	25.0	10.7	39.3
	30歳代	38	5.3	26.3	18.4	21.1	10.5	0.0	18.4	23.7	21.1	28.9
	40歳代	34	8.8	35.3	26.5	23.5	8.8	2.9	17.6	29.4	17.6	29.4
	50歳代	35	5.7	22.9	11.4	22.9	11.4	0.0	11.4	22.9	37.1	37.1
	60歳代	39	7.7	43.6	15.4	25.6	7.7	5.1	17.9	17.9	23.1	20.5
	70歳以上	57	7.0	22.8	7.0	8.8	3.5	8.8	15.8	5.3	26.3	43.9
女性	合計	350	11.1	26.6	13.1	22.6	35.7	15.1	48.9	20.3	50.3	16.3
	30歳未満	41	24.4	22.0	19.5	24.4	29.3	12.2	46.3	41.5	36.6	7.3
	30歳代	64	17.2	20.3	17.2	31.3	46.9	34.4	64.1	25.0	46.9	9.4
	40歳代	55	10.9	25.5	16.4	32.7	27.3	7.3	45.5	25.5	50.9	14.5
	50歳代	54	7.4	46.3	9.3	22.2	38.9	9.3	51.9	16.7	51.9	11.1
	60歳代	65	9.2	32.3	13.8	16.9	46.2	13.8	52.3	16.9	63.1	15.4
	70歳以上	70	2.9	15.7	5.7	11.4	24.3	10.0	32.9	5.7	48.6	34.3

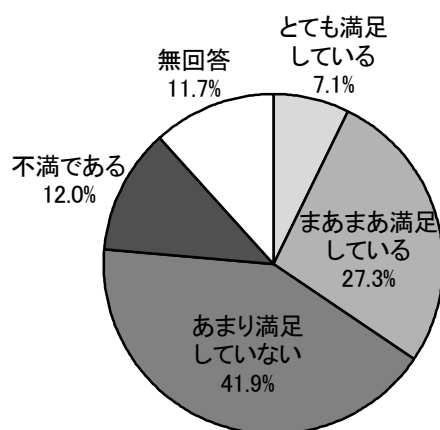
### (6) 現在の運動、スポーツ実施状況への満足度

#### ■一般市民

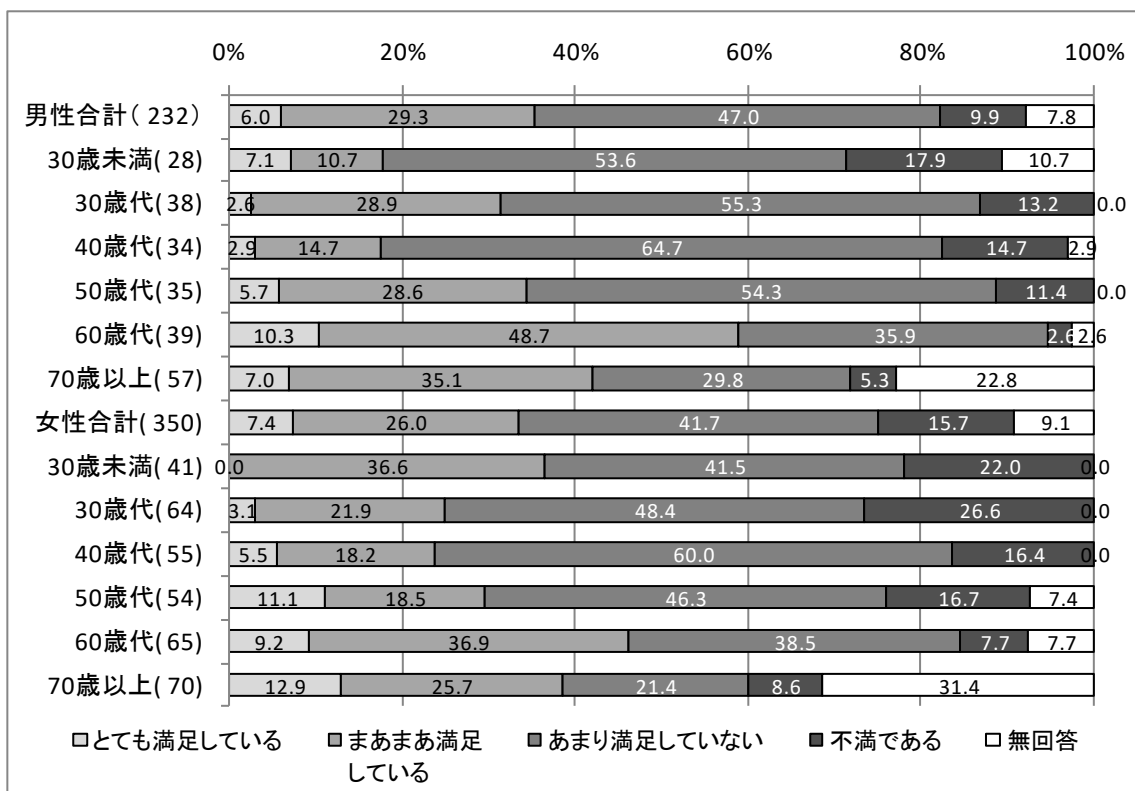
現在の運動、スポーツ実施状況について、「とても満足している」、「まあまあ満足している」と回答した人の合計は 34.4%だが、一方で、「あまり満足していない」、「不満である」と回答した人は合計で 53.9%と、満足度はそれほど高くない。

男女年齢別にみると、特に、男性の 30 歳未満、40 歳代、女性の 30 歳代、40 歳代で、満足している人が少ない傾向が見られる。

図表 現在の運動やスポーツをする時間・回数への満足度（一般市民、問 12、SA、n=832）



図表 現在の運動やスポーツをする時間・回数への満足度（男女年齢別、SA）



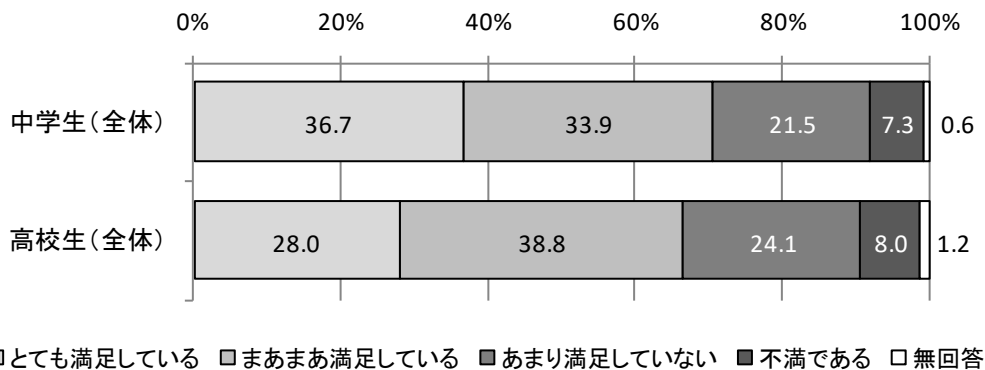
II 市民調査結果

■中学生・高校生

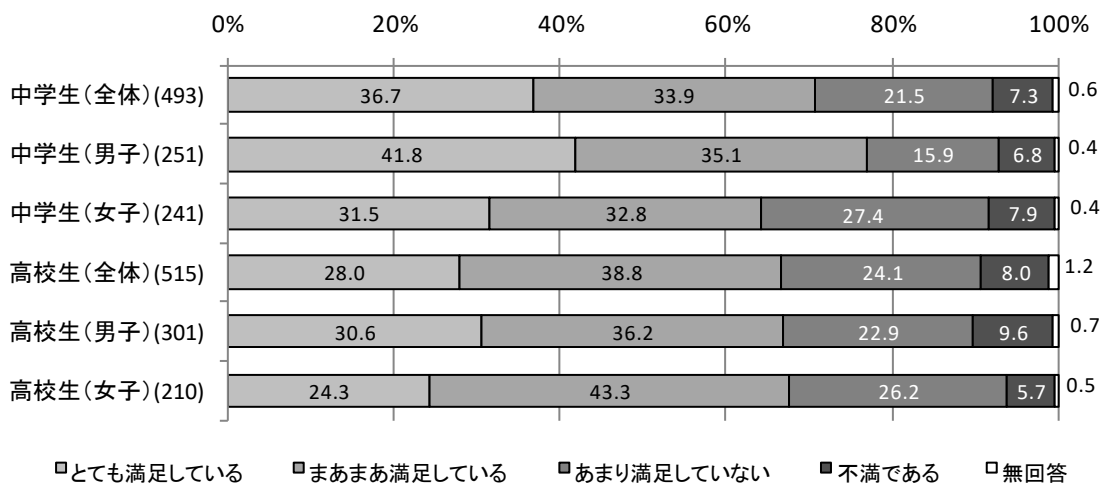
現在の運動、スポーツ実施状況の満足度について、中学生・高校生では、一般市民に比べて、「とても満足している」、「満足している」との回答の合計が高い傾向が見られる。

男女別では、特に、中学生男子で満足度が高い状況が見られる。

図表 現在の運動やスポーツをする時間・回数への満足度（中学生・高校生、問7、SA）



図表 現在の運動やスポーツをする時間・回数への満足度（中学生、高校生、男女別）



### 3 スポーツの実施状況

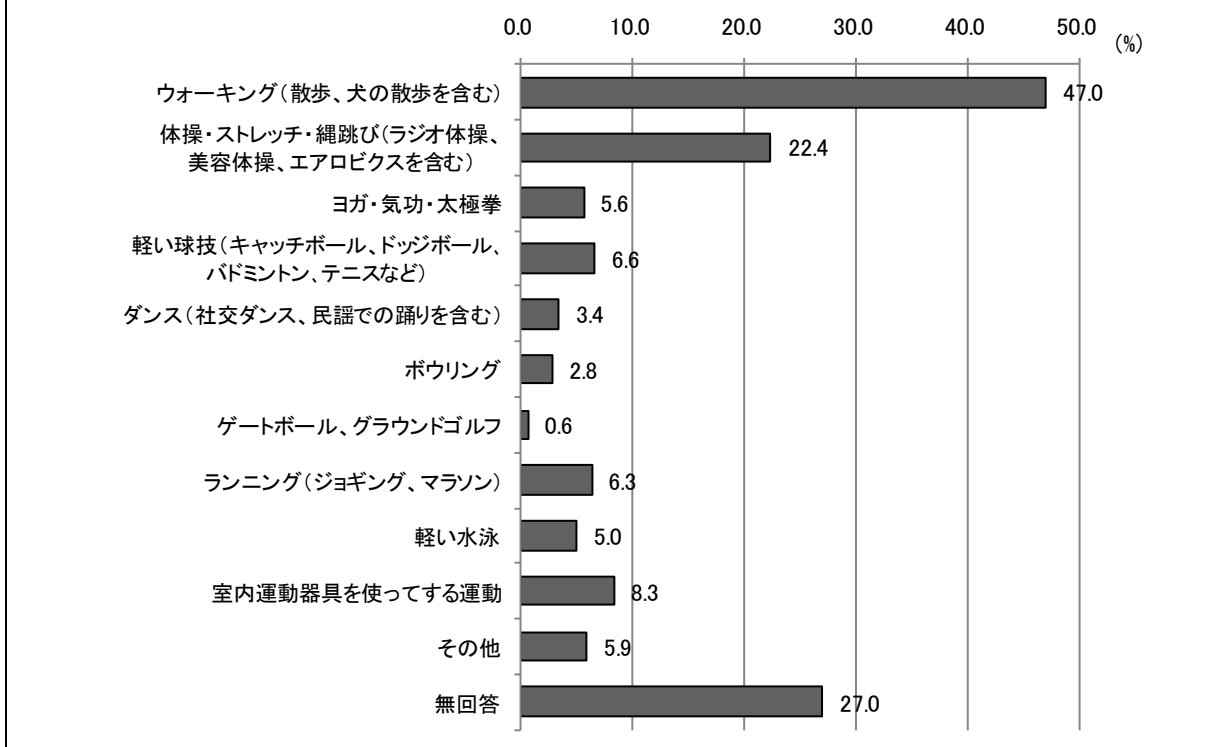
#### (1) 普段している運動・スポーツ

##### ■一般市民

普段している運動・スポーツとしては、比較的軽い運動については、「ウォーキング」が47.0%と最も高く、次いで「体操・ストレッチ・縄跳び」が22.4%となっている。

広域にわたるスポーツや競技的スポーツの実施率は、全て1割以下であるものの、「ゴルフ」や「室内運動器具を使ってする運動」、「スキー・スノーボード」などは8%前後と、比較的高くなっている。

図表 普段しているスポーツ・運動【比較的軽い運動】（一般市民、問13、MA、n=832）



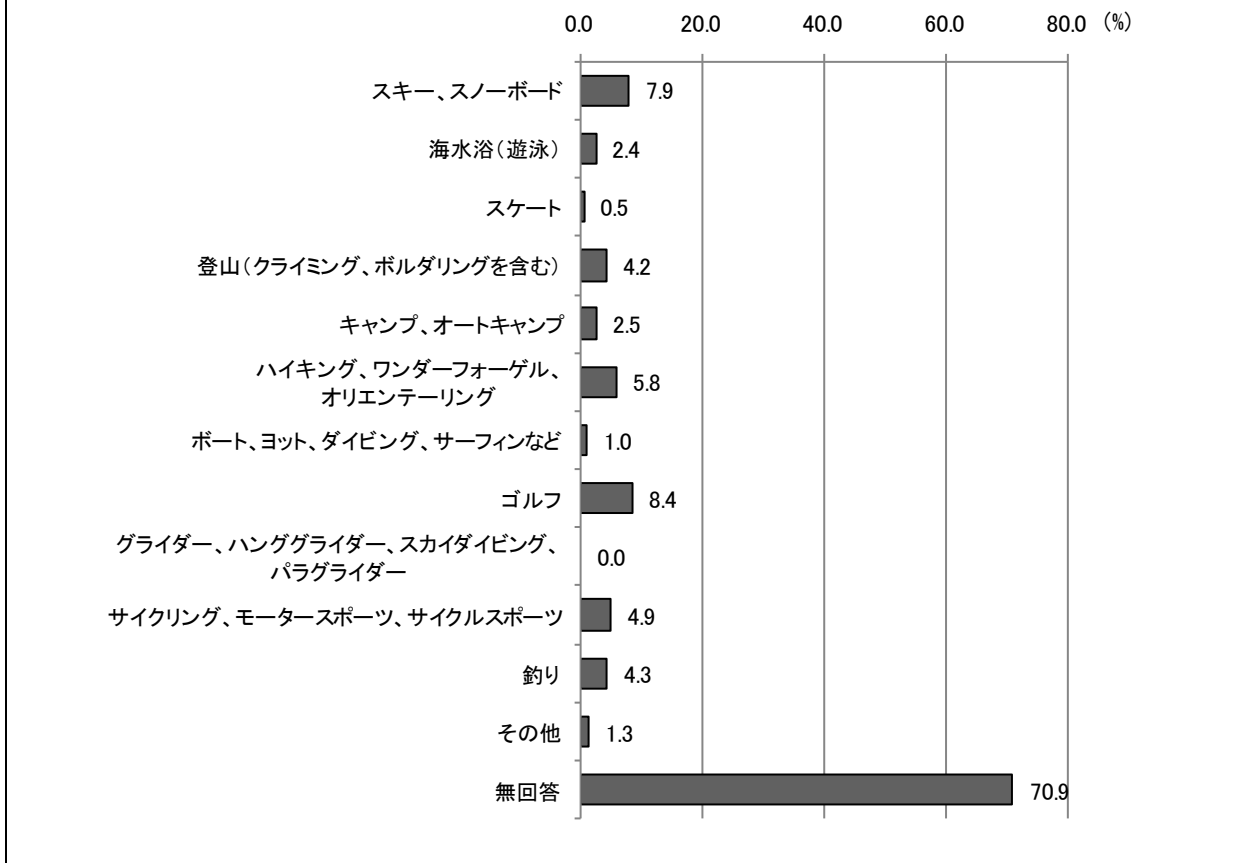
図表 普段しているスポーツ・運動【比較的軽い運動】（一般市民、男女別）

	n	ウォーキング(散歩、犬の散歩を含む)	体操・ストレッチ・縄跳び(ラジオ体操、美容体操、エアロビクスを含む)	ヨガ・気功・太極拳	軽い球技(キャッチボール、ドッジボール、バドミントン、テニスなど)	ダンス(社交ダンス、民謡での踊りを含む)	ボウリング	ゲートボール、グラウンドゴルフ	ランニング(ジョギング、マラソン)	軽い水泳	室内運動器具を使ってする運動	その他	無回答
男性 合計	232	44.0	15.9	1.3	11.2	0.9	4.3	0.9	11.2	7.3	9.5	4.7	26.3
男性 30歳未満	28	28.6	14.3	0.0	7.1	0.0	3.6	0.0	25.0	3.6	14.3	3.6	39.3
男性 30歳代	38	31.6	10.5	2.6	18.4	0.0	2.6	0.0	21.1	5.3	2.6	7.9	26.3
男性 40歳代	34	29.4	11.8	0.0	8.8	0.0	8.8	0.0	11.8	14.7	8.8	8.8	29.4
男性 50歳代	35	37.1	17.1	2.9	11.4	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	8.6	2.9	34.3
男性 60歳代	39	64.1	20.5	0.0	15.4	0.0	5.1	0.0	10.3	12.8	15.4	2.6	12.8
男性 70歳以上	57	59.6	19.3	1.8	7.0	3.5	5.3	3.5	3.5	5.3	8.8	3.5	21.1
女性 合計	350	47.1	27.1	9.1	6.0	6.0	2.9	0.0	4.6	4.9	8.6	4.3	28.6
女性 30歳未満	41	39.0	19.5	4.9	4.9	7.3	9.8	0.0	4.9	7.3	9.8	2.4	36.6
女性 30歳代	64	40.6	20.3	9.4	0.0	1.6	1.6	0.0	7.8	3.1	4.7	0.0	42.2
女性 40歳代	55	27.3	32.7	10.9	9.1	5.5	3.6	0.0	5.5	1.8	10.9	1.8	34.5
女性 50歳代	54	59.3	27.8	5.6	7.4	14.8	1.9	0.0	1.9	1.9	7.4	1.9	22.2
女性 60歳代	65	66.2	35.4	15.4	9.2	6.2	1.5	0.0	6.2	6.2	7.7	9.2	10.8
女性 70歳以上	70	47.1	25.7	7.1	5.7	2.9	1.4	0.0	1.4	8.6	11.4	8.6	27.1

II 市民調査結果

図表 普段しているスポーツ・運動【比較的広域にわたるスポーツ】

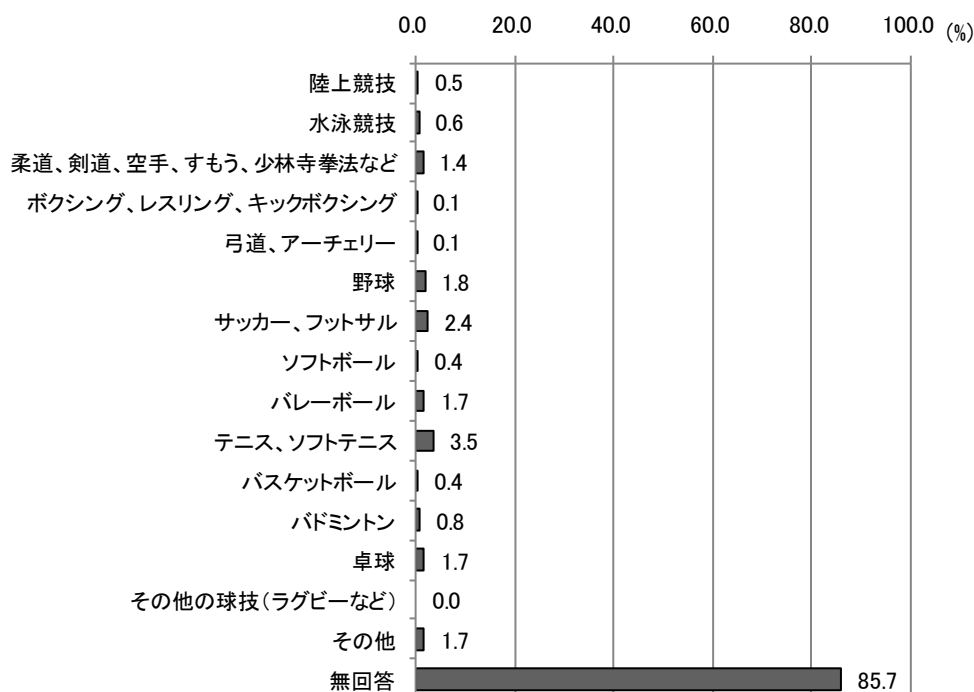
(一般市民、問 13、MA、n=832)



図表 普段しているスポーツ・運動【比較的広域にわたるスポーツ】(一般市民、男女別)

	n	スキー、スノーボード	海水浴(遊泳)	スケート	登山(クライミング、ボルダリングを含む)	キャンプ、オートキャンプ	ハイキング、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング	ボート、ヨット、ダイビング、サーフィンなど	ゴルフ	グライダー、ハンググライダー、スカイダイビング、パラグライダー	サイクリング、モータースポーツ、サイクルスポーツ	釣り	その他	無回答
男性 合計	232	11.2	4.3	0.4	4.3	2.2	5.6	2.2	17.2	0.0	6.5	7.8	0.4	56.0
男性 30歳未満	28	17.9	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	10.7	3.6	0.0	60.7
男性 30歳代	38	15.8	7.9	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	13.2	0.0	7.9	5.3	2.6	60.5
男性 40歳代	34	17.6	5.9	0.0	2.9	8.8	2.9	2.9	20.6	0.0	0.0	8.8	0.0	55.9
男性 50歳代	35	17.1	2.9	0.0	11.4	2.9	11.4	5.7	22.9	0.0	5.7	2.9	0.0	48.6
男性 60歳代	39	2.6	2.6	0.0	7.7	2.6	12.8	2.6	28.2	0.0	12.8	7.7	0.0	43.6
男性 70歳以上	57	3.5	3.5	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	12.3	0.0	3.5	14.0	0.0	63.2
女性 合計	350	8.0	2.0	0.9	4.9	3.4	6.3	0.3	1.4	0.0	4.0	0.9	1.1	80.3
女性 30歳未満	41	22.0	2.4	2.4	9.8	4.9	4.9	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	70.7
女性 30歳代	64	7.8	1.6	3.1	6.3	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	85.9
女性 40歳代	55	7.3	5.5	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	85.5
女性 50歳代	54	11.1	0.0	0.0	3.7	7.4	7.4	0.0	5.6	0.0	9.3	1.9	3.7	68.5
女性 60歳代	65	3.1	3.1	0.0	6.2	1.5	16.9	1.5	3.1	0.0	10.8	0.0	0.0	72.3
女性 70歳以上	70	2.9	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	92.9

図表 普段しているスポーツ・運動【競技的スポーツ】（一般市民、問 13、MA、n=832）



図表 普段しているスポーツ・運動【競技的スポーツ】（一般市民、男女別）

	n	陸上競技	水泳競技	柔道、剣道、空手、すもう、少林寺拳法など	ボクシング、レスリング、キックボクシング	弓道、アーチェリー	野球	サッカー、フットサル	ソフトボール	バレーボール	テニス、ソフトテニス	バスケットボール	バドミントン	卓球	その他の球技(ラグビーなど)	その他	無回答
男性 合計	232	1.3	0.4	3.0	0.4	0.4	4.3	6.9	0.4	0.9	4.7	0.4	0.4	2.2	0.0	1.7	77.2
30歳未満	28	0.0	0.0	7.1	0.0	3.6	14.3	25.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	50.0
30歳代	38	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	7.9	15.8	2.6	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	71.1
40歳代	34	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	82.4
50歳代	35	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	5.7	0.0	0.0	8.6	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	77.1
60歳代	39	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	82.1
70歳以上	57	1.8	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	1.8	87.7
女性 合計	350	0.3	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	2.3	2.9	0.6	1.1	1.7	0.0	1.4	89.7
30歳未満	41	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	7.3	4.9	4.9	4.9	0.0	0.0	4.9	78.0
30歳代	64	0.0	1.6	3.1	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	1.6	90.6
40歳代	55	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	87.3
50歳代	54	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0
60歳代	65	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	1.5	3.1	0.0	0.0	0.0	93.8
70歳以上	70	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	95.7

II 市民調査結果

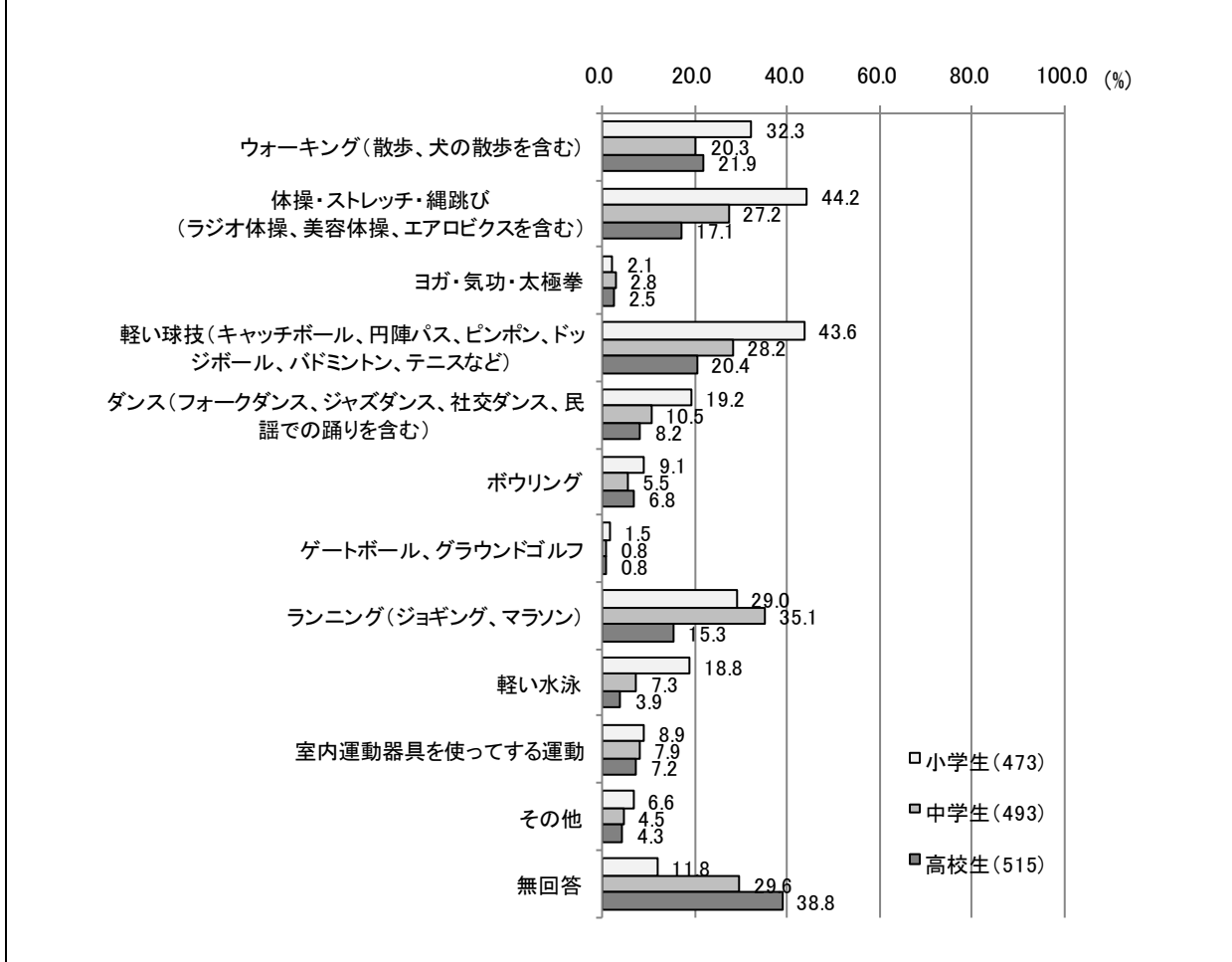
■小学生・中学生・高校生

小学生では、「体操・ストレッチ・縄跳び」との回答が最も多く44.2%、次いで、「軽い球技」が43.6%となっている。また、その他の世代と比較して、全般的に比較的高い割合となっている。

中学生では、「ランニング」との回答が35.1%と最も多い。「軽い球技」が28.2%、「体操・ストレッチ・縄跳び」が27.2%と続いている。

高校生では、「ウォーキング」が最も多い21.9%、次いで、「軽い球技」は20.4%、「体操・ストレッチ・縄跳び」は17.1%、また、「サッカー・フットサル」との回答は16.1%となっている。

図表 普段しているスポーツ・運動【比較的軽い運動】(小学生、問6、中学生・高校生、問8、MA)

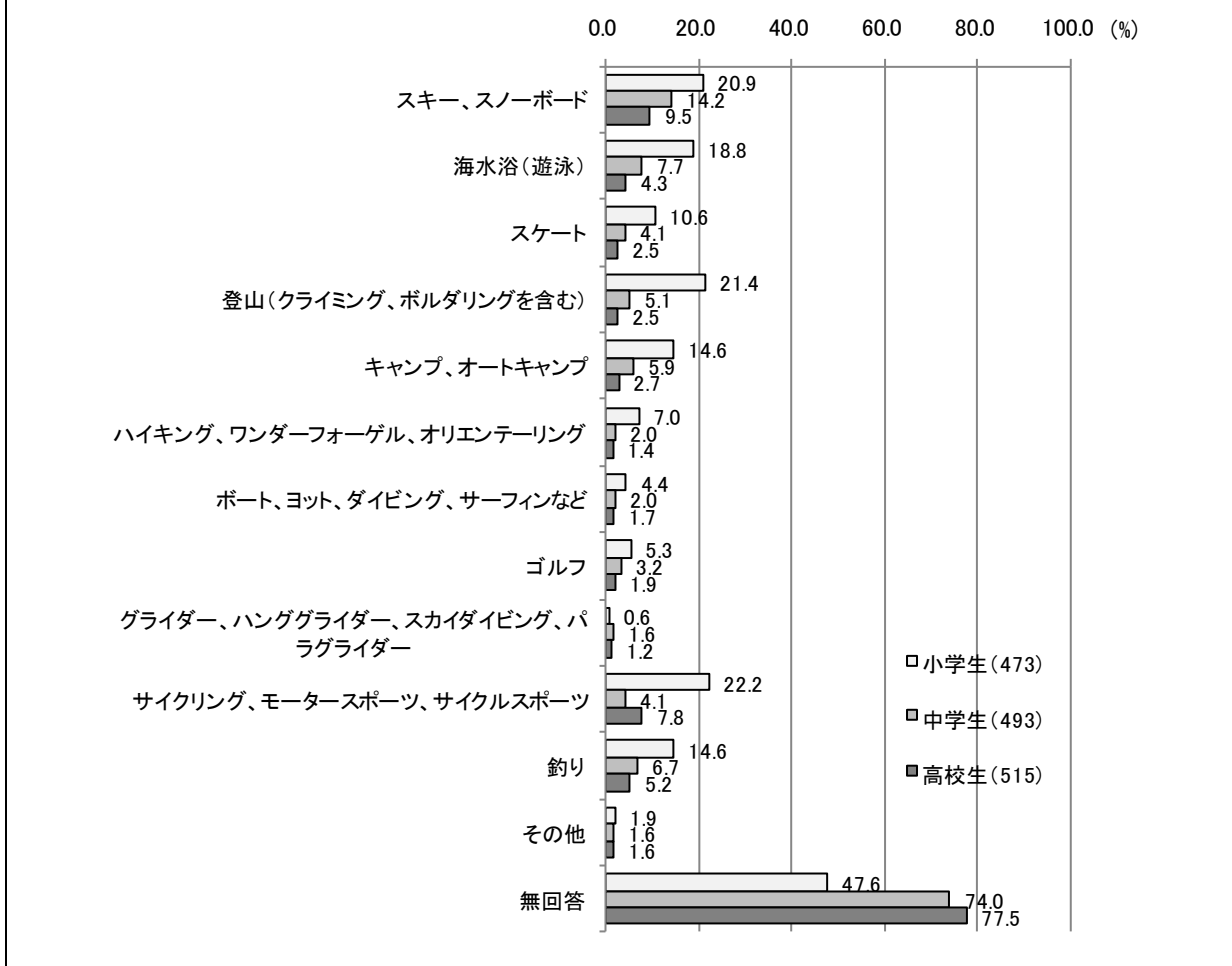


図表 普段しているスポーツ・運動【比較的軽い運動】(小学生、中学生、高校生、男女別)

	n	ウォーキング (散歩、犬の散歩を含む)	体操・ストレッチ・縄跳び (ラジオ体操、美容体操、エアロビクスを含む)	ヨガ・気功・太極拳	軽い球技 (キャッチボール、円陣パス、ピンポン、ドッジボール、バドミントン、テニスなど)	ダンス (フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、民謡での踊りを含む)	ボウリング	ゲートボール、グラウンドゴルフ	ランニング (ジョギング、マラソン)	軽い水泳	室内運動器具を使ってする運動	その他	無回答
小学生(全体)	473	32.3	44.2	2.1	43.6	19.2	9.1	1.5	29.0	18.8	8.9	6.6	11.8
小学生(男子)	235	27.2	31.9	1.7	60.4	3.0	11.5	0.9	32.3	17.9	9.4	5.1	15.7
小学生(女子)	238	37.4	56.3	2.5	26.9	35.3	6.7	2.1	25.6	19.7	8.4	8.0	8.0
中学生(全体)	493	20.3	27.2	2.8	28.2	10.5	5.5	0.8	35.1	7.3	7.9	4.5	29.6
中学生(男子)	251	14.3	20.7	3.2	29.9	1.6	7.6	1.2	43.4	10.0	8.0	5.2	32.7
中学生(女子)	241	26.6	34.0	2.5	26.6	19.9	3.3	0.4	26.6	4.6	7.9	3.7	26.1
高校生(全体)	515	21.9	17.1	2.5	20.4	8.2	6.8	0.8	15.3	3.9	7.2	4.3	38.8
高校生(男子)	301	16.6	9.0	2.0	24.9	2.7	9.3	1.0	16.3	2.7	10.0	5.6	43.2
高校生(女子)	210	29.5	28.6	2.9	13.8	15.7	2.9	0.0	13.8	5.2	2.9	1.9	31.9



図表 普段しているスポーツ・運動【比較的広域にわたるスポーツ】  
(小学生、問6、中学生・高校生、問8、MA)

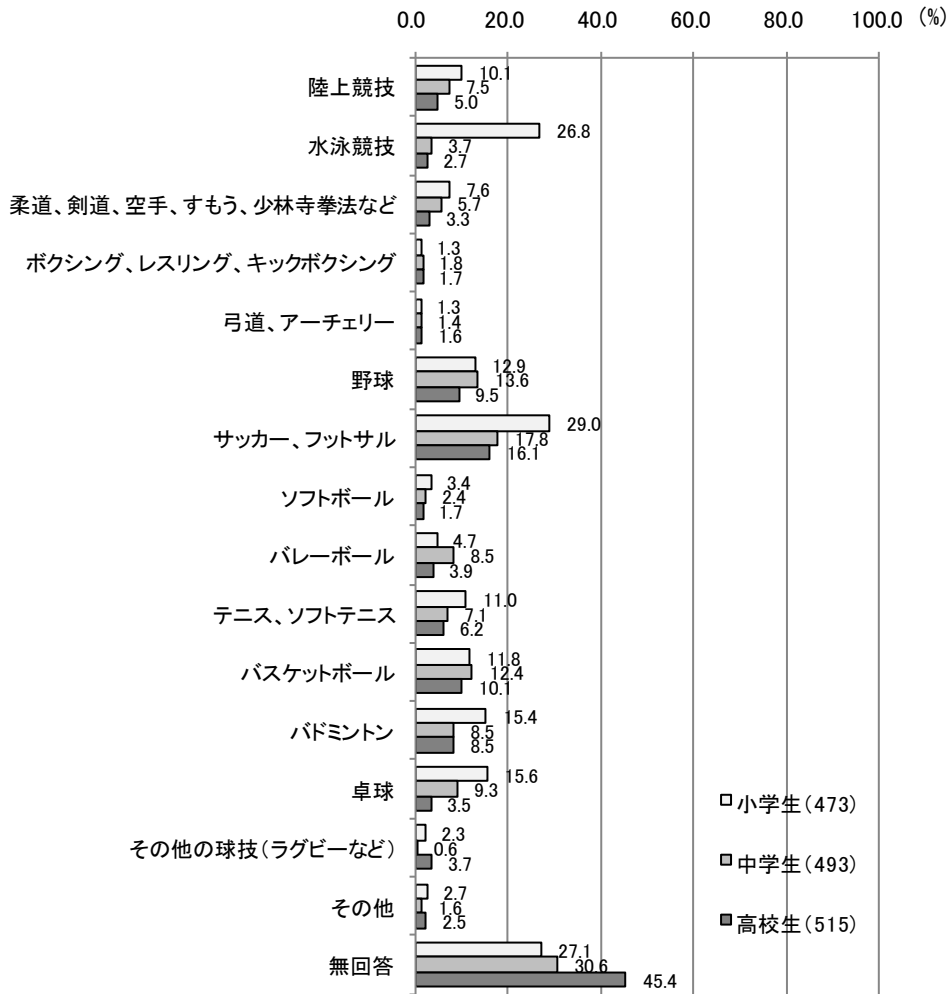


図表 普段しているスポーツ・運動【比較的広域にわたるスポーツ】  
(小学生、中学生、高校生、男女別)

	n	スキー、スノーボード	海水浴(遊泳)	スケート	登山(クライミング、ボルダリングを含む)	キャンプ、オートキャンプ	ハイキング、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング	ボート、ヨット、ダイビング、サーフィンなど	ゴルフ	グライダー、ハンググライダー、スカイダイビング、パラグライダー	サイクリング、モータースポーツ、サイクルスポーツ	釣り	その他	無回答
小学生(全体)	473	20.9	18.8	10.6	21.4	14.6	7.0	4.4	5.3	0.6	22.2	14.6	1.9	47.6
小学生(男子)	235	22.1	17.9	6.0	24.7	15.7	6.4	4.3	3.8	0.9	21.7	21.3	1.3	46.4
小学生(女子)	238	19.7	19.7	15.1	18.1	13.4	7.6	4.6	6.7	0.4	22.7	8.0	2.5	48.7
中学生(全体)	493	14.2	7.7	4.1	5.1	5.9	2.0	2.0	3.2	1.6	4.1	6.7	1.6	74.0
中学生(男子)	251	13.1	7.6	2.4	5.2	6.4	2.4	2.0	3.6	1.6	4.4	9.2	2.4	74.9
中学生(女子)	241	15.4	7.9	5.8	5.0	5.4	1.7	2.1	2.9	1.7	3.7	4.1	0.8	73.0
高校生(全体)	515	9.5	4.3	2.5	2.5	2.7	1.4	1.7	1.9	1.2	7.8	5.2	1.6	77.5
高校生(男子)	301	11.0	4.0	3.3	3.3	4.0	2.0	1.7	2.7	1.7	10.3	7.6	2.0	73.1
高校生(女子)	210	7.1	4.3	1.0	1.0	0.5	0.0	1.4	0.5	0.0	3.8	1.4	0.5	83.8

II 市民調査結果

図表 普段しているスポーツ・運動【競技的スポーツ】（小学生、問6、中学生・高校生、問8、MA）



図表 普段しているスポーツ・運動【競技的スポーツ】（小学生、中学生、高校生、男女別）

	n	陸上競技	水泳競技	柔道、剣道、空手、すもう、少林寺拳法など	ボクシング、レスリング、キックボクシング	弓道、アーチェリー	野球	サッカー、フットサル	ソフトボール	バレーボール	テニス、ソフトテニス	バスケットボール	バドミントン	卓球	その他の球技(ラグビーなど)	その他	無回答
小学生(全体)	473	10.1	26.8	7.6	1.3	1.3	12.9	29.0	3.4	4.7	11.0	11.8	15.4	15.6	2.3	2.7	27.1
小学生(男子)	235	11.9	27.7	11.5	1.7	1.3	21.7	48.9	3.8	1.3	9.4	14.0	7.2	22.6	3.8	1.3	14.9
小学生(女子)	238	8.4	26.1	3.8	0.8	1.3	4.2	9.2	2.9	8.0	12.6	9.7	23.5	8.8	0.8	4.2	39.1
中学生(全体)	493	7.5	3.7	5.7	1.8	1.4	13.6	17.8	2.4	8.5	7.1	12.4	8.5	9.3	0.6	1.6	30.6
中学生(男子)	251	10.4	4.8	7.6	2.8	1.6	25.9	31.9	1.6	4.4	4.8	14.3	4.0	15.5	1.2	2.4	12.4
中学生(女子)	241	4.6	2.5	3.7	0.8	1.2	0.8	3.3	3.3	12.9	9.5	10.4	13.3	2.9	0.0	0.8	49.4
高校生(全体)	515	5.0	2.7	3.3	1.7	1.6	9.5	16.1	1.7	3.9	6.2	10.1	8.5	3.5	3.7	2.5	45.4
高校生(男子)	301	7.6	2.7	5.0	2.3	2.3	15.6	26.2	1.7	2.3	6.6	11.3	8.3	5.3	4.0	2.0	33.9
高校生(女子)	210	1.0	2.4	0.5	0.5	0.0	0.5	1.4	1.4	5.7	5.2	8.1	8.6	0.5	2.9	2.9	61.4

## ■一般市民

今後取組んでみたい運動・スポーツを挙げてもらったところ、以下のような運動・スポーツが多く挙げられた。

(問 24 自由記述)

一般市民では、ヨガ、ピラティスなどの意見が目立った。また、水泳、テニス、フットサル、卓球、ウォーキングなど、現在実施率が比較的高いスポーツも多く挙げられている。また、近年人気が高まっているボルダリングとの回答も多かった。

## ■小学生・中学生・高校生

今後やってみたい運動・スポーツを挙げてもらったところ、以下のような運動・スポーツが多く挙げられた。

(小学生、問 14、中学生・高校生、問 17、自由記述)

小学生では、テニスやサッカー、バスケットボールといった球技スポーツをはじめ、水泳やダンスなど、やりたいスポーツは多岐にわたっており、様々なスポーツにチャレンジしたい子どもが多い。その他に、ゴルフやスキーなどの比較的広域なスポーツや、ボクシングなどの格闘技にも興味を示している傾向が見られた。

中学生・高校生では、小学生同様、テニスやサッカーなどの球技スポーツは人気である。また、弓道やアーチェリー、ダンスをはじめ、スカイダイビングやサーフィン、スノーボードなどに興味を示す回答も多い。小学生と比べて、日常ではあまり体験できないような運動・スポーツに興味を示している傾向が見られた。

II 市民調査結果

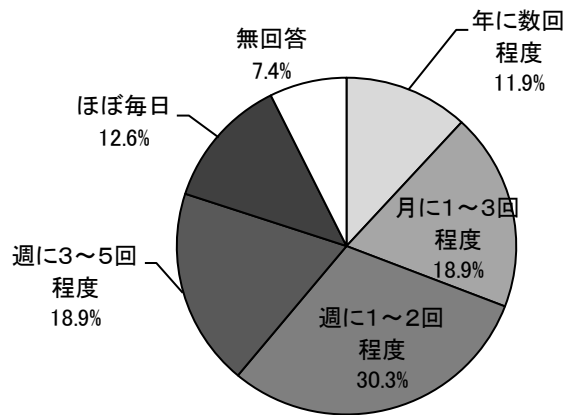
(2) スポーツの実施頻度

■一般市民

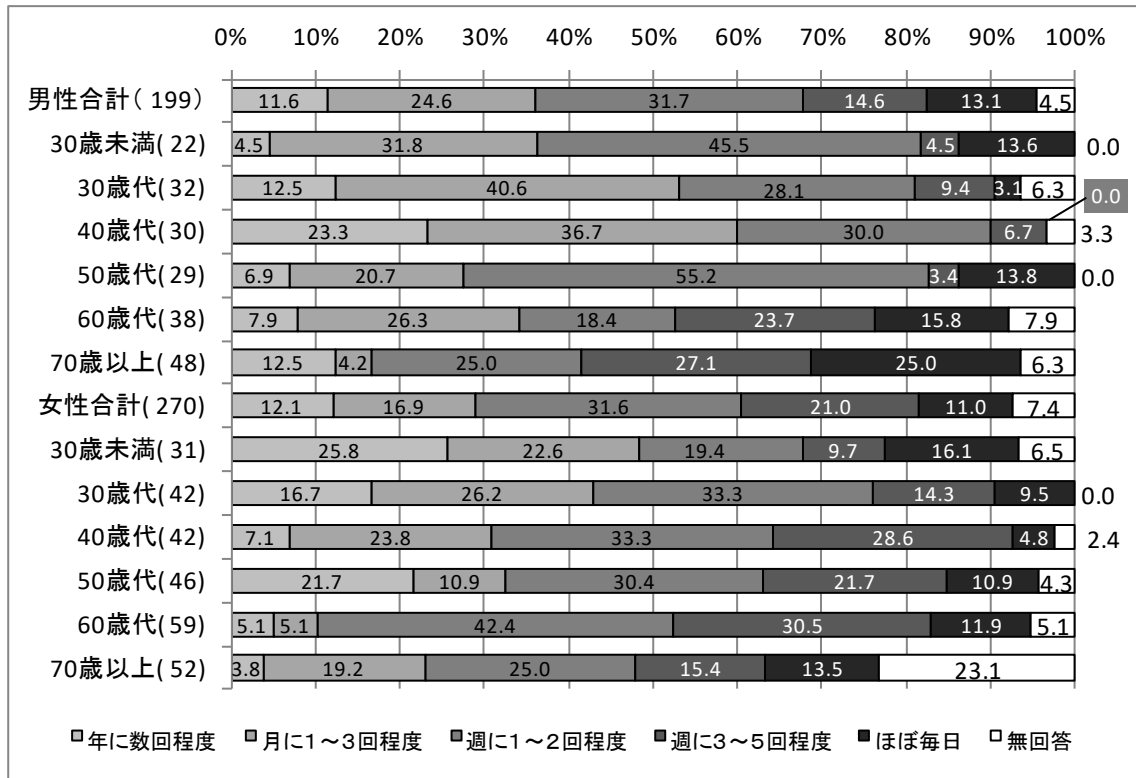
普段しているスポーツ・運動の一つでも○をつけた人に、スポーツの実施頻度を聞いたところ、週に1～2回程度が30.3%と最も多く、次いで、「月に1～3回程度」「週に3～5回程度」18.9%となった。

男女年齢別にみると、週1回以上の実施頻度の割合が、男性の30歳代、40歳代、女性の30歳未満、30歳代、70歳代で低くなっていることがわかる。

図表 スポーツの実施頻度（一般市民、問14、SA、n=673）



図表 スポーツの実施頻度（男女年齢別、SA）

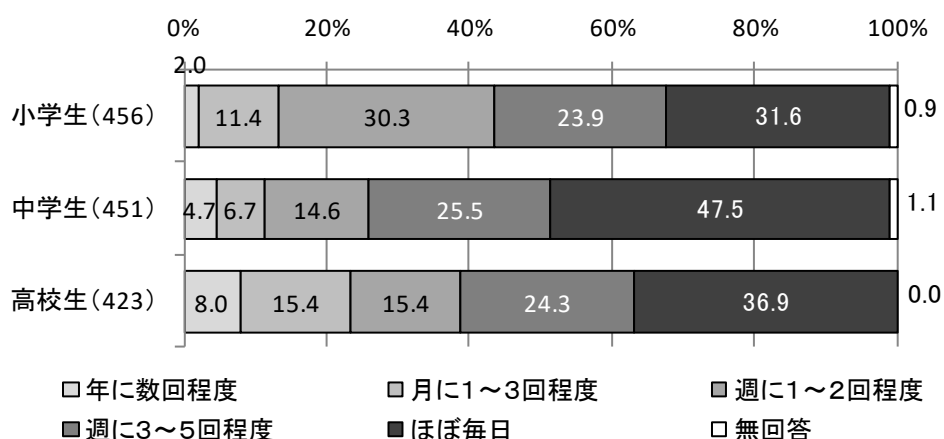


### ■小学生・中学生・高校生

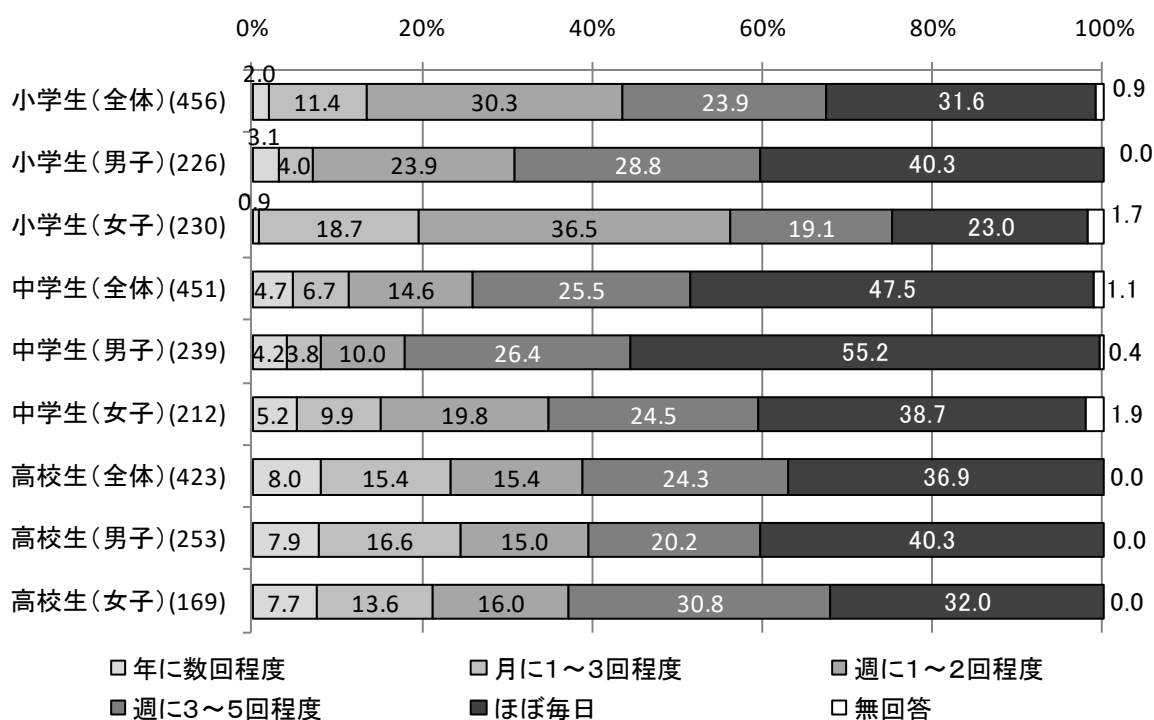
授業以外での運動やスポーツの実施頻度を聞いたところ、全ての年代で、「ほぼ毎日」が最も多くなった。特に、中学生では5割近くとなっている。

また、高校生では「ほぼ毎日」が4割弱と多いものの、「年に数回程度」「月に1～3回程度」の回答も合計で2割を超しており、頻度に差が見られる。

図表 授業以外での運動やスポーツの実施頻度（小学生、問7、中学生・高校生、問9、SA）



図表 授業以外での運動やスポーツの実施頻度（小学生、中学生、高校生、男女別）



II 市民調査結果

(3) 市民のスポーツ実施率

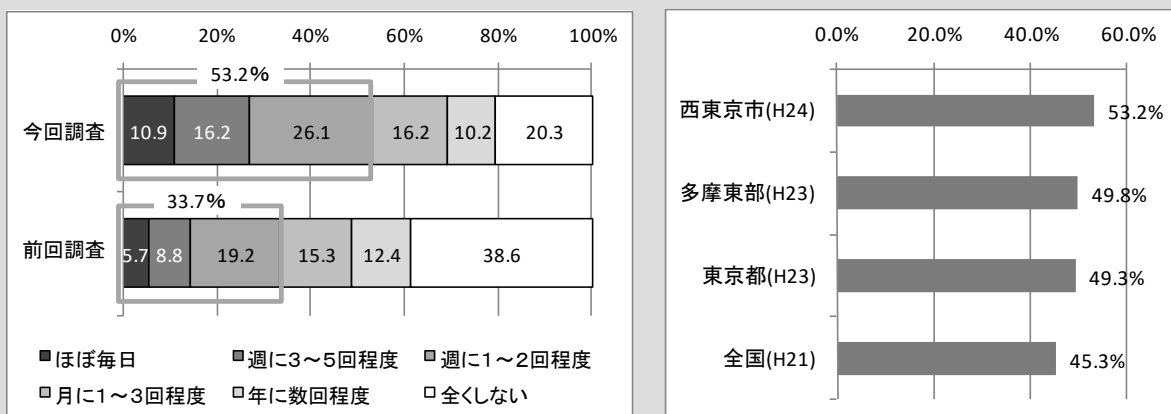
■一般市民

(2) スポーツの実施頻度は、普段しているスポーツ・運動で一つ以上選択した回答者だけを対象としている。普段しているスポーツ・運動で一つも選択しなかった回答者を「全くしていない」ものとして、無回答を除いて、市民のスポーツ実施率を算出すると以下のようなになる。

	件数	割合(%)		前回調査の割合	
ほぼ毎日	85	10.9	53.2	5.7	33.7
週に3~5回程度	127	16.2		8.8	
週に1~2回程度	204	26.1		19.2	
月に1~3回程度	127	16.2	26.4	15.3	27.7
年に数回程度	80	10.2		12.4	
全くしない	159	20.3	20.3	38.6	20.3
合計	782	100	100	100	100

週1回以上のスポーツ実施率は53.2%であり、前回調査の33.7%と比較すると大きく上昇している。

【比較 週1回以上のスポーツ実施率】

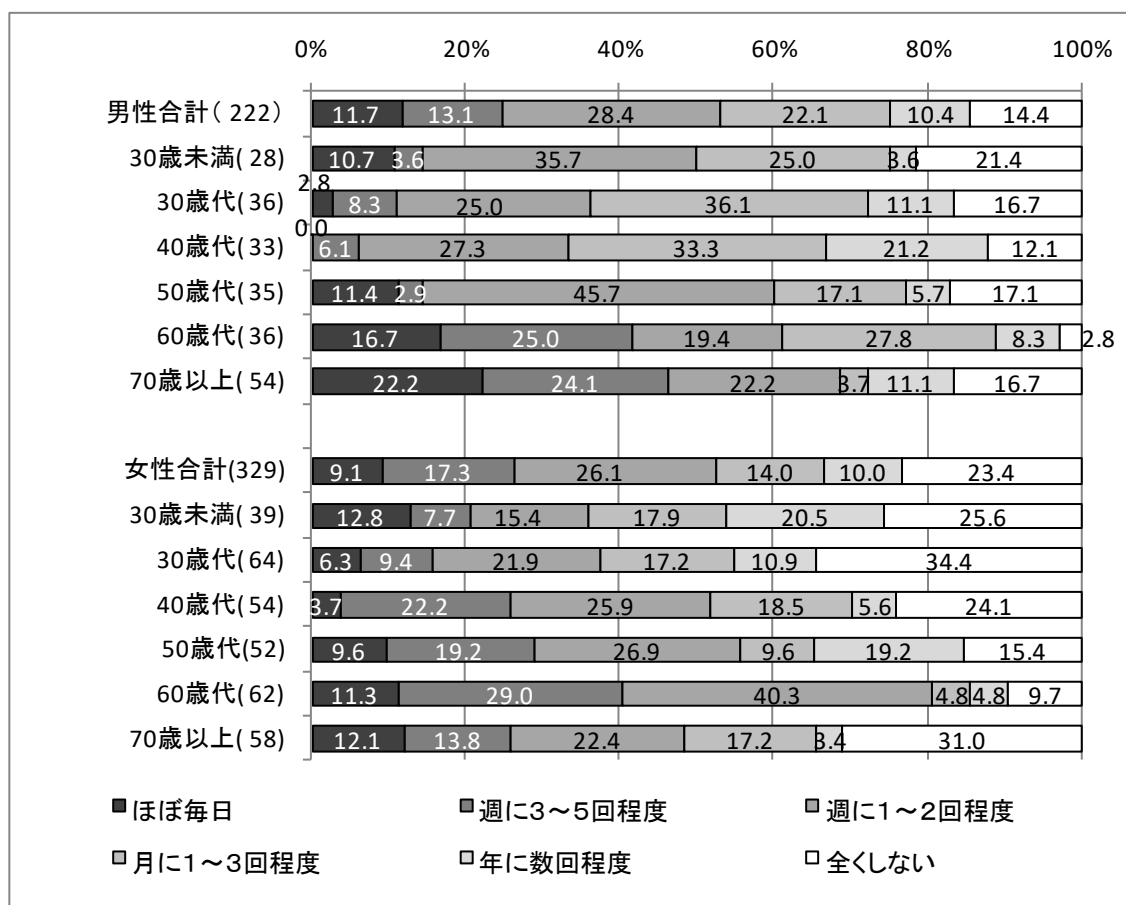


※資料：多摩東部、東京都 スポーツ・運動と保健医療に関する世論調査（平成23年10月、東京都生活文化局）  
 全国 体力・スポーツに関する世論調査（平成21年、内閣府）  
 ※今回調査ではスポーツの種目を全く選ばなかった人を「まったくしない」として算出しているのに対して、前回調査（H16）では「ほとんどやらない」との選択肢で聞いているため、今回調査の方が値が低くなっていることが想定される。

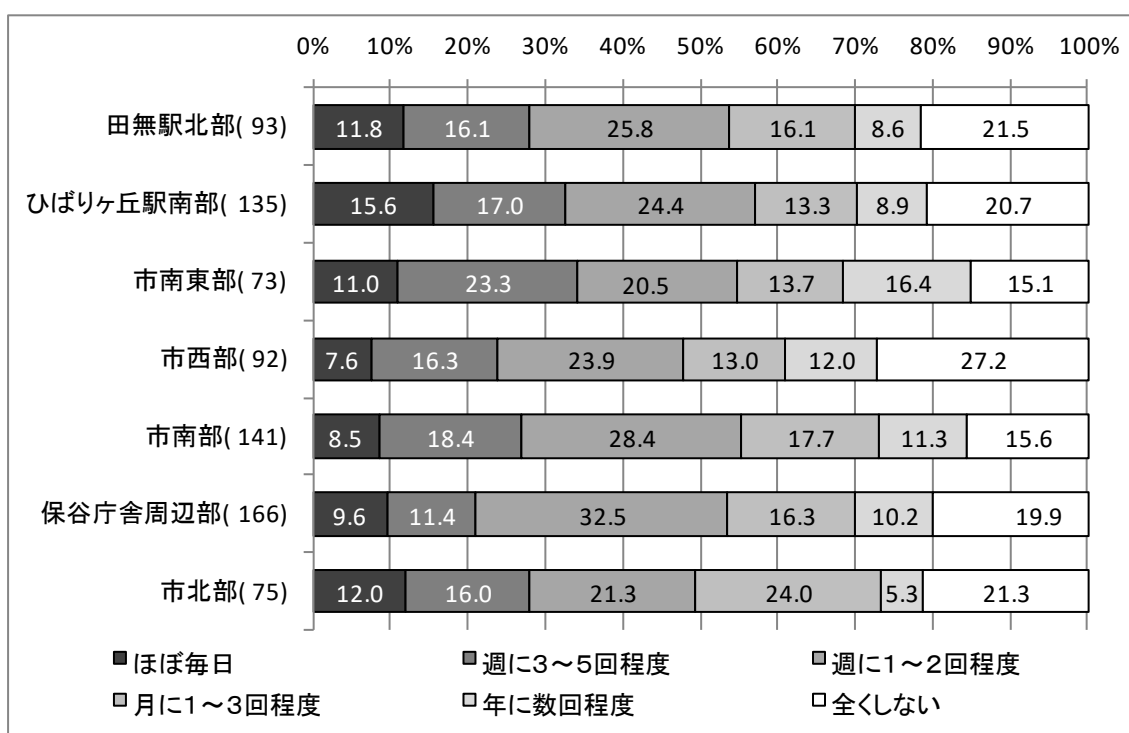
男女年齢別にスポーツ実施率をみると、週1回以上のスポーツ実施率は年齢が上がるにつれて概ね高くなる傾向が見られる。週1回以上のスポーツ実施率が4割を下回っているのは、男性の30歳代、40歳代、女性の30歳未満、30歳代の若年層である。

また、地域別にスポーツ実施率をみると、市西部、市北部で5割を下回る。また、市西部では、「全くしていない」人が3割近く、実施頻度が低い傾向が見られる。

図表 スポーツの実施率（男女年齢別）



図表 スポーツの実施率（地域別）

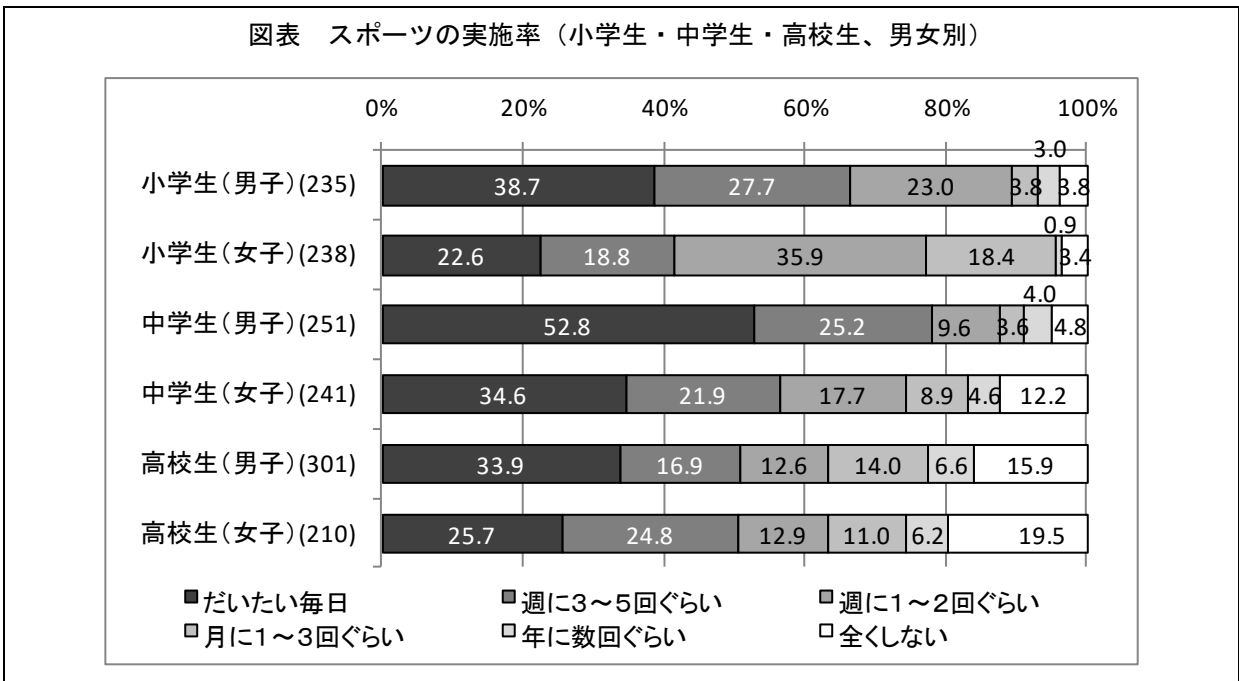
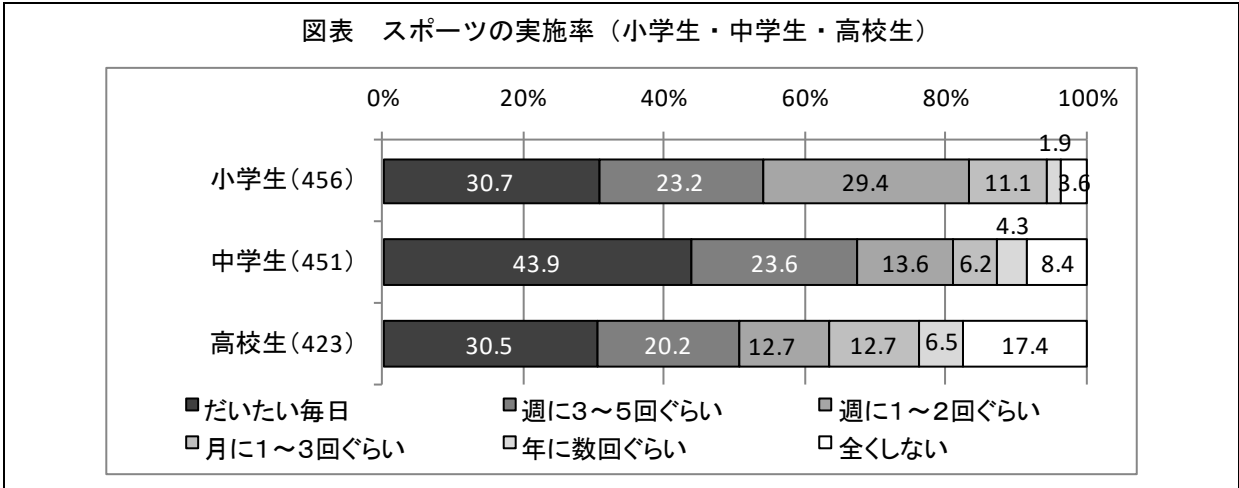


II 市民調査結果

■小学生・中学生・高校生

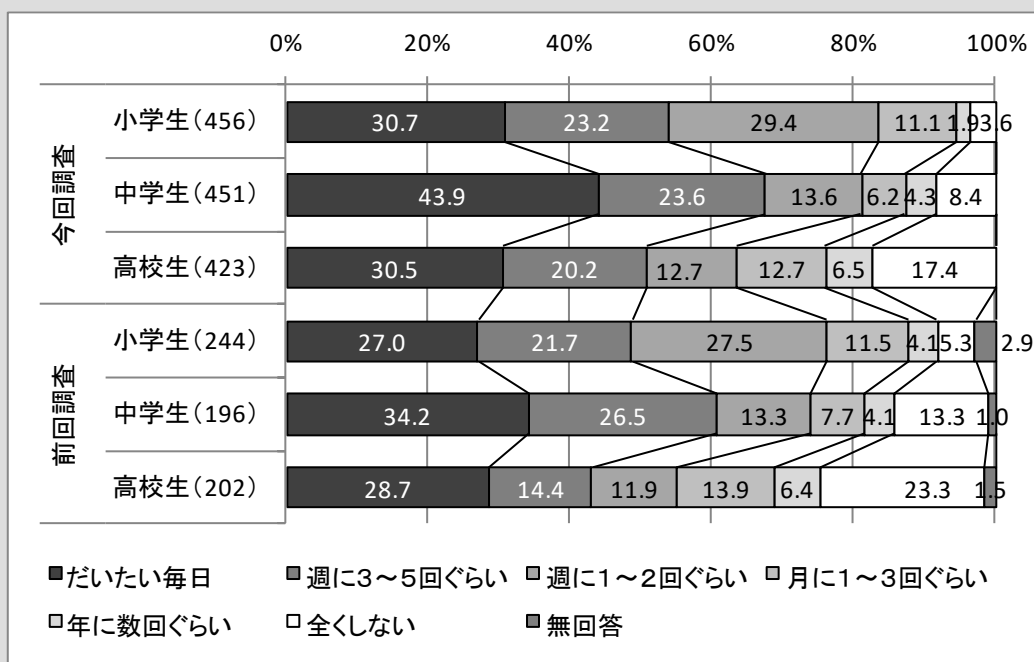
小学生・中学生・高校生についても、同様に、普段しているスポーツで一つも選択しなかった回答者を「全くしていない」ものとして、無回答を除いて、スポーツ実施率を算出すると以下のようなになる。

週に1回以上スポーツをしていると回答した小学生は83.3%、中学生81.1%と、全体の8割以上を占めているのに対し、高校生は63.4%と若干低くなっている。





【比較 週1回以上のスポーツ実施率】



※今回調査ではスポーツの種目を全く選ばなかった人を「まったくしない」として算出しているのに対して、前回調査（H16）では「ほとんどやらない」との選択肢で聞いているため、今回調査の方が、全くしないの値が低くなっていることが想定される。

II 市民調査結果

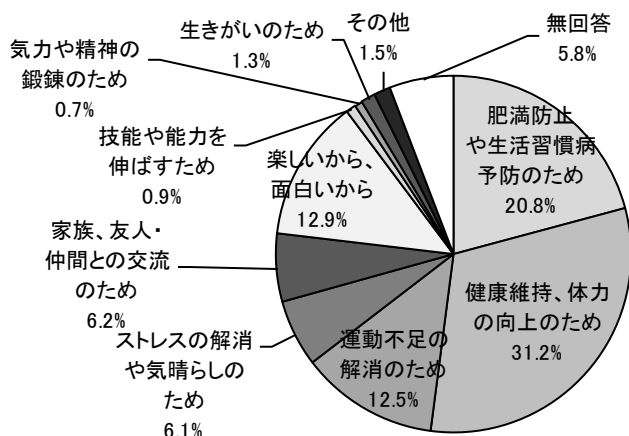
(4) スポーツの目的

■一般市民

スポーツの目的としては、「健康維持・体力向上のため」との回答が31.2%と最も多く、「肥満防止や生活習慣病予防のため」が20.8%と、健康志向による理由が多い。

年齢別にみると、若年層では「楽しいから、面白いから」を挙げる人が多い。30代・40代は「運動不足解消」「ストレス解消」を多く挙げ、高年層では「健康維持・体力向上のため」という回答が多い。

図表 スポーツや運動を行う主な理由（一般市民、問15、SA、n=673）



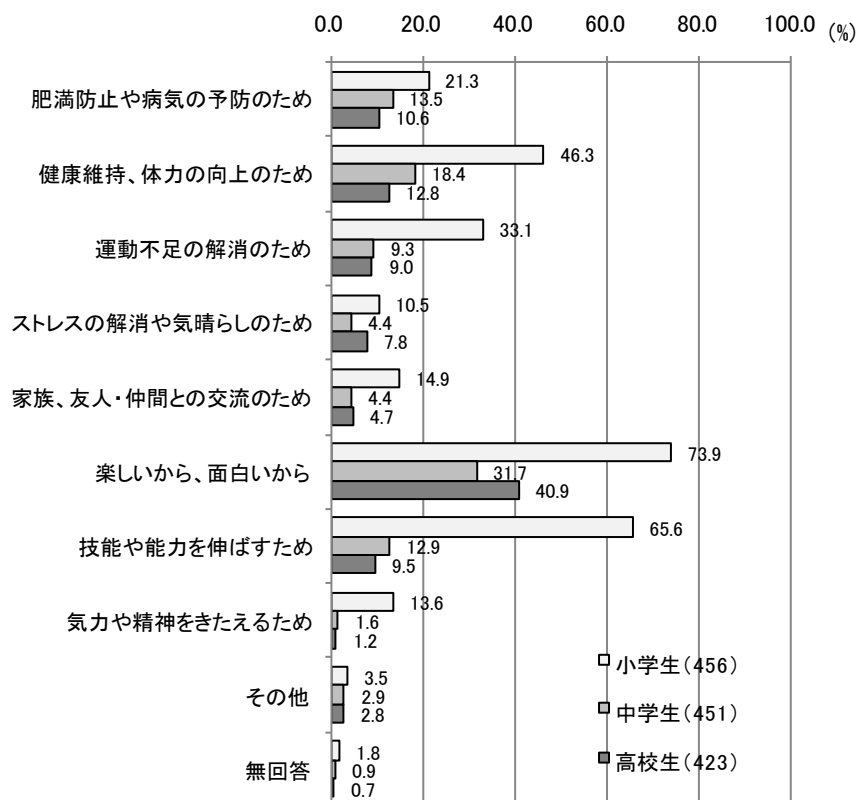
図表 スポーツや運動を行う主な理由（男女年齢別、SA）

	n	肥満防止や生活習慣病予防のため	健康維持、体力向上のため	運動不足の解消のため	ストレスの解消や気晴らしのため	家族、友人・仲間との交流のため	楽しいから、面白いから	技能や能力を伸ばすため	気力や精神の鍛錬のため	生きがいのため	その他	無回答
男性 合計	199	20.1	31.2	11.1	6.5	7.5	15.6	2.0	1.0	1.0	0.5	3.5
30歳未満	22	4.5	18.2	9.1	4.5	9.1	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	32	21.9	9.4	15.6	18.8	3.1	18.8	3.1	3.1	0.0	3.1	3.1
40歳代	30	16.7	30.0	6.7	6.7	20.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
50歳代	29	20.7	34.5	13.8	6.9	6.9	10.3	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0
60歳代	38	21.1	42.1	2.6	5.3	7.9	13.2	0.0	0.0	2.6	0.0	5.3
70歳以上	48	27.1	41.7	16.7	0.0	2.1	6.3	0.0	0.0	2.1	0.0	4.2
女性 合計	272	22.1	30.9	13.2	5.5	5.1	11.8	0.7	0.4	1.5	2.6	6.3
30歳未満	31	16.1	16.1	12.9	0.0	3.2	32.3	3.2	0.0	0.0	9.7	6.5
30歳代	42	31.0	23.8	19.0	7.1	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
40歳代	42	23.8	19.0	16.7	11.9	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	2.4	4.8
50歳代	46	23.9	34.8	2.2	8.7	6.5	17.4	0.0	0.0	2.2	0.0	4.3
60歳代	59	27.1	39.0	11.9	5.1	1.7	5.1	1.7	1.7	0.0	0.0	6.8
70歳以上	52	9.6	42.3	17.3	0.0	3.8	5.8	0.0	0.0	5.8	1.9	13.5

■小学生・中学生・高校生

スポーツや運動を行う理由について、小学生では、「楽しいから、面白いから」との回答が73.9%、また「技能や能力を伸ばすため」が65.6%と、中学生・高校生に比べて多い。中学生・高校生においても、「楽しいから、面白いから」との回答が最も多いが、小学生よりもスポーツや運動に対する意識が多様化する傾向がみられる。

図表 スポーツや運動を行う主な理由（小学生、問8、中学生・高校生、問10、MA）



図表 スポーツや運動を行う主な理由（小学生、中学生、高校生、男女別）

	n	肥満防止や病気の予防のため	健康維持、体力の向上のため	運動不足の解消のため	ストレスの解消や気晴らしのため	家族、友人・仲間との交流のため	楽しいから、面白いから	技能や能力を伸ばすため	気力や精神をきたえるため	その他	無回答
小学生(全体)	456	21.3	46.3	33.1	10.5	14.9	73.9	65.6	13.6	3.5	1.8
小学生(男子)	226	17.7	43.8	30.1	9.3	20.4	80.1	69.9	17.7	3.1	1.3
小学生(女子)	230	24.8	48.7	36.1	11.7	9.6	67.8	61.3	9.6	3.9	2.2
中学生(全体)	451	13.5	18.4	9.3	4.4	4.4	31.7	12.9	1.6	2.9	0.9
中学生(男子)	239	10.9	22.2	7.1	4.2	5.0	33.9	14.2	1.3	0.8	0.4
中学生(女子)	212	16.5	14.2	11.8	4.7	3.8	29.2	11.3	1.9	5.2	1.4
高校生(全体)	423	10.6	12.8	9.0	7.8	4.7	40.9	9.5	1.2	2.8	0.7
高校生(男子)	253	10.7	12.6	8.7	7.5	4.3	39.5	11.1	1.2	3.2	1.2
高校生(女子)	169	10.1	13.0	9.5	8.3	5.3	43.2	7.1	1.2	2.4	0.0

## 4 スポーツの実施場所

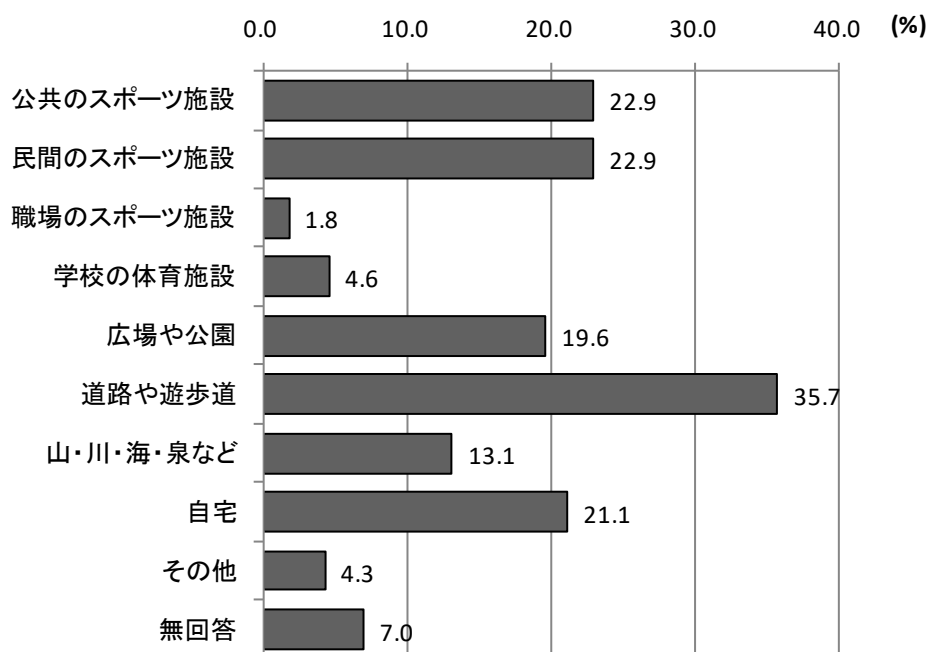
### (1) スポーツを行う場所

#### ■一般市民

スポーツを行う場所として、「道路や遊歩道」と回答した人が35.7%と最も多く、次いで、「公共のスポーツ施設」が22.9%、「民間のスポーツ施設」も同じく22.9%となっている。「自宅」との回答も21.1%と比較的多い。

地域別では、公共のスポーツ施設は保谷庁舎周辺部で、民間のスポーツ施設は田無駅北部、保谷庁舎周辺部、市北部で比較的多く利用が多く、道路や遊歩道は市南部で多いなどの傾向がみられる。

図表 スポーツを行う場所（一般市民、問16、MA、n=673）



図表 スポーツを行う場所（男女年齢別、MA）

	n	公共のスポーツ施設	民間のスポーツ施設	職場のスポーツ施設	学校の体育施設	広場や公園	道路や遊歩道	山・川・海・泉など	自宅	その他	無回答
男性 合計	199	25.6	27.6	1.5	6.5	23.6	38.7	15.1	17.1	5.0	2.5
30歳未満	22	27.3	18.2	4.5	36.4	27.3	27.3	9.1	27.3	0.0	0.0
30歳代	32	31.3	28.1	3.1	0.0	25.0	53.1	21.9	9.4	6.3	3.1
40歳代	30	33.3	33.3	0.0	6.7	16.7	20.0	16.7	20.0	0.0	6.7
50歳代	29	31.0	31.0	0.0	6.9	24.1	24.1	24.1	13.8	6.9	0.0
60歳代	38	23.7	39.5	2.6	2.6	18.4	42.1	13.2	13.2	5.3	2.6
70歳以上	48	14.6	16.7	0.0	0.0	29.2	52.1	8.3	20.8	8.3	2.1
女性 合計	272	25.7	20.6	1.8	5.1	18.8	33.5	12.5	23.9	3.7	7.7
30歳未満	31	19.4	9.7	12.9	22.6	19.4	16.1	16.1	22.6	0.0	6.5
30歳代	42	28.6	19.0	0.0	4.8	23.8	45.2	9.5	26.2	0.0	2.4
40歳代	42	21.4	38.1	0.0	4.8	11.9	23.8	9.5	28.6	7.1	7.1
50歳代	46	17.4	28.3	0.0	4.3	15.2	41.3	23.9	17.4	0.0	4.3
60歳代	59	37.3	16.9	0.0	0.0	25.4	44.1	11.9	22.0	0.0	10.2
70歳以上	52	25.0	11.5	1.9	1.9	15.4	23.1	5.8	26.9	13.5	13.5

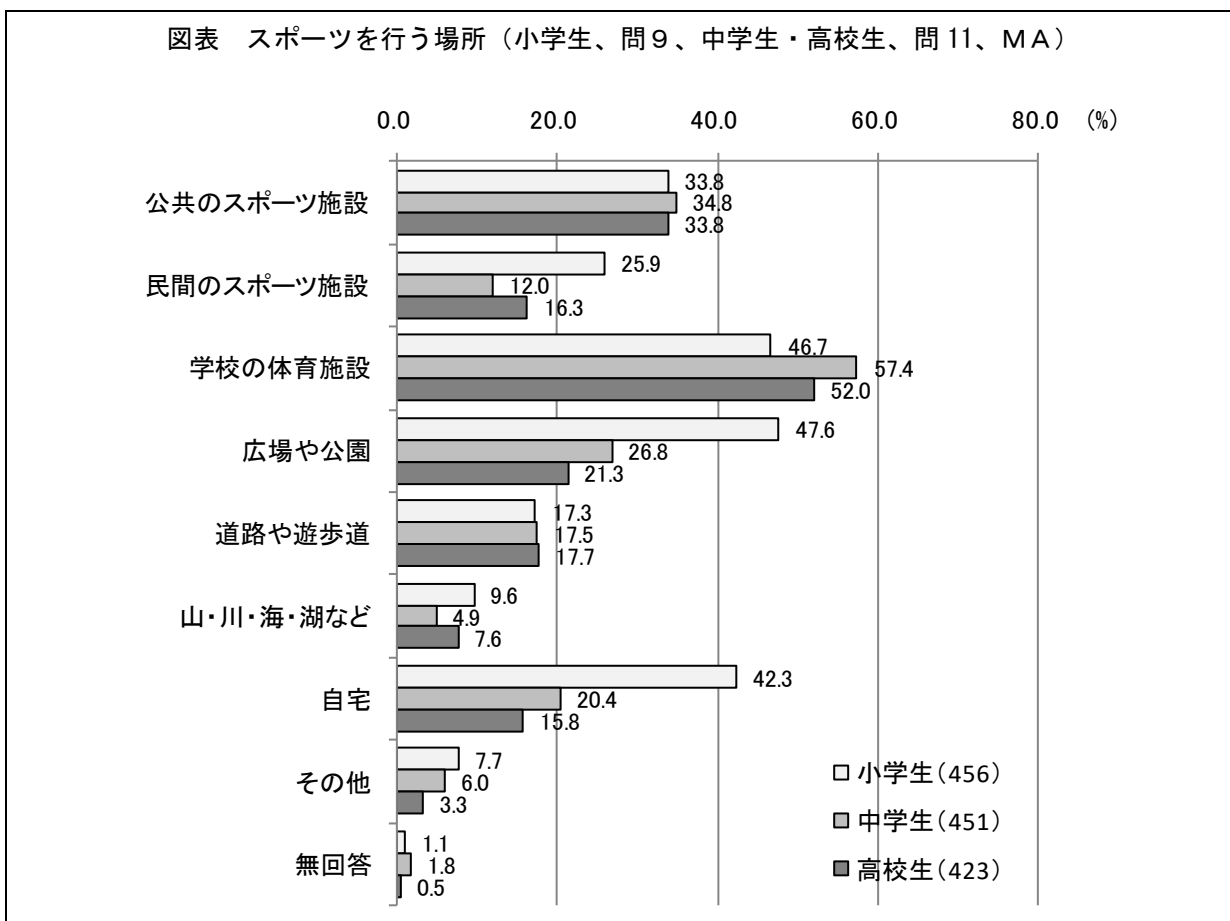
図表 スポーツを行う場所（地域別、MA）

	n	公共のスポーツ施設	民間のスポーツ施設	職場のスポーツ施設	学校の体育施設	広場や公園	道路や遊歩道	山・川・海・泉など	自宅	その他	無回答
田無駅北部	74	21.6	28.4	4.1	1.4	25.7	31.1	17.6	29.7	9.5	2.7
ひばりヶ丘駅南部	115	19.1	16.5	0.9	4.3	25.2	35.7	10.4	23.5	7.0	8.7
市南東部	65	24.6	21.5	1.5	7.7	23.1	26.2	16.9	21.5	1.5	4.6
市西部	77	23.4	20.8	2.6	2.6	15.6	33.8	10.4	10.4	6.5	11.7
市南部	130	22.3	20.0	3.8	7.7	18.5	46.9	9.2	17.7	3.1	6.2
保谷庁舎周辺部	144	27.8	27.8	0.0	4.2	17.4	34.0	13.9	19.4	1.4	6.3
市北部	65	20.0	27.7	0.0	3.1	12.3	35.4	18.5	27.7	3.1	7.7

Ⅱ 市民調査結果

■小学生・中学生・高校生

スポーツを行う場所として、小学生の回答で最も多いのは「広場や公園」で47.6%、次いで「学校の体育施設」が46.7%、「自宅」が42.3%という結果になっている。一方で、中学生や高校生は「学校の体育施設」との回答が最も多く、いずれも5割以上を占めており、次いで、「公共のスポーツ施設」が3割以上となっている。



図表 スポーツを行う場所（小学生、中学生、高校生、男女別）

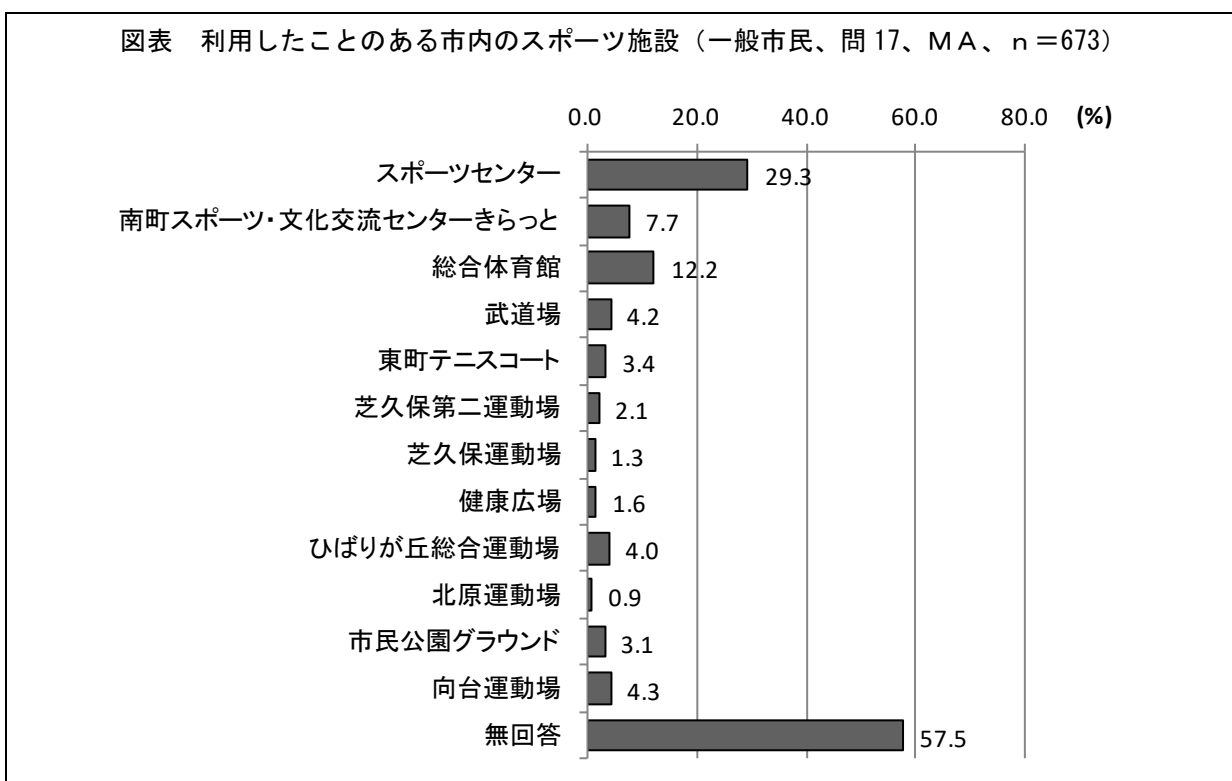
	n	公共のスポーツ施設	民間のスポーツ施設	学校の体育施設	広場や公園	道路や遊歩道	山・川・海・湖など	自宅	その他	無回答
小学生(全体)	456	33.8	25.9	46.7	47.6	17.3	9.6	42.3	7.7	1.1
小学生(男子)	226	37.2	24.8	58.4	53.1	13.7	9.3	32.7	7.1	0.0
小学生(女子)	230	30.4	27.0	35.2	42.2	20.9	10.0	51.7	8.3	2.2
中学生(全体)	451	34.8	12.0	57.4	26.8	17.5	4.9	20.4	6.0	1.8
中学生(男子)	239	36.8	13.8	64.9	33.1	18.8	5.0	17.6	3.8	1.3
中学生(女子)	212	32.5	9.9	49.1	19.8	16.0	4.7	23.6	8.5	2.4
高校生(全体)	423	33.8	16.3	52.0	21.3	17.7	7.6	15.8	3.3	0.5
高校生(男子)	253	40.3	15.0	51.4	27.3	16.2	8.7	11.1	3.6	0.8
高校生(女子)	169	23.7	17.8	52.7	11.8	19.5	5.3	22.5	2.4	0.0

(2) スポーツ施設の利用

■一般市民

スポーツ施設の利用について、「スポーツセンター」を利用したことがある市民が最も多く29.3%、次いで、「総合体育館」と答えた割合は12.2%となっている。その他のスポーツ施設の利用は1割未満となっている。

地域別では、保谷庁舎周辺部、市北部で、スポーツセンターを利用したことがある人が4割を超えるなど多くなっている。また、南町スポーツ・文化交流センターきらっとも、センターの位置する市南部で利用割合が高くなっている。



図表 利用したことがある市内のスポーツ施設（男女年齢別、MA）

	n	スポーツセンター	南町スポーツ・文化交流センターきらっと	総合体育館	武道場	東町テニスコート	芝久保第二運動場	芝久保運動場	健康広場	ひばりが丘総合運動場	北原運動場	市民公園グラウンド	向台運動場	無回答
男性 合計	199	28.6	6.0	9.5	1.5	3.0	1.5	1.0	2.5	5.0	2.0	3.5	6.5	60.3
30歳未満	22	54.5	13.6	22.7	4.5	4.5	0.0	0.0	13.6	27.3	13.6	13.6	13.6	27.3
30歳代	32	25.0	3.1	3.1	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	71.9
40歳代	30	40.0	10.0	16.7	0.0	3.3	0.0	3.3	3.3	3.3	3.3	6.7	10.0	50.0
50歳代	29	17.2	3.4	10.3	0.0	3.4	10.3	0.0	3.4	6.9	0.0	3.4	17.2	62.1
60歳代	38	26.3	5.3	7.9	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	63.2
70歳以上	48	20.8	4.2	4.2	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	70.8
女性 合計	272	32.0	10.7	16.5	5.5	4.4	2.6	1.8	1.5	5.5	0.7	2.2	2.9	51.8
30歳未満	31	38.7	3.2	19.4	3.2	3.2	0.0	0.0	6.5	9.7	0.0	0.0	0.0	48.4
30歳代	42	23.8	9.5	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	4.8	7.1	52.4
40歳代	42	42.9	16.7	16.7	7.1	7.1	4.8	4.8	4.8	9.5	2.4	4.8	7.1	42.9
50歳代	46	37.0	13.0	17.4	2.2	8.7	10.9	2.2	0.0	4.3	2.2	4.3	2.2	54.3
60歳代	59	30.5	13.6	18.6	6.8	6.8	0.0	3.4	0.0	8.5	0.0	0.0	1.7	50.8
70歳以上	52	23.1	5.8	17.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.6

II 市民調査結果

図表 利用したことのある市内のスポーツ施設（地域別、MA）

	n	スポーツセンター	南町スポーツ・文化交流センターきらっと	総合体育館	武道場	東町テニスコート	芝久保第二運動場	芝久保運動場	健康広場
田無駅北部	74	27.0	9.5	13.5	6.8	1.4	2.7	2.7	1.4
ひばりヶ丘駅南部	115	33.9	4.3	7.0	2.6	3.5	1.7	0.0	1.7
市南東部	65	24.6	12.3	15.4	6.2	4.6	4.6	1.5	3.1
市西部	77	14.3	6.5	14.3	0.0	2.6	5.2	1.3	0.0
市南部	130	18.5	16.9	20.8	1.5	0.8	2.3	2.3	1.5
保谷庁舎周辺部	144	41.7	2.8	9.7	6.9	7.6	0.0	1.4	0.7
市北部	65	41.5	1.5	3.1	6.2	1.5	0.0	0.0	4.6

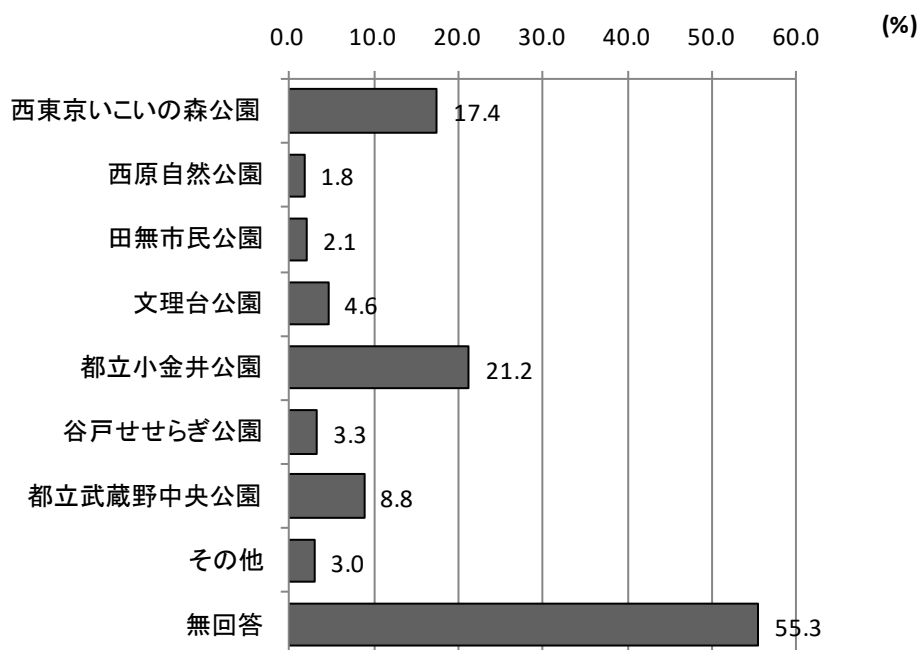
  

	n	ひばりが丘総合運動場	北原運動場	市民公園グラウンド	向台運動場	無回答
田無駅北部	-	4.1	1.4	2.7	1.4	55.4
ひばりヶ丘駅南部	-	7.0	1.7	1.7	2.6	56.5
市南東部	-	1.5	1.5	4.6	4.6	61.5
市西部	-	1.3	0.0	5.2	5.2	72.7
市南部	-	4.6	1.5	5.4	10.8	58.5
保谷庁舎周辺部	-	4.9	0.0	2.1	2.1	47.9
市北部	-	1.5	0.0	0.0	1.5	56.9

また、運動やスポーツで利用している公園や広場については、「都立小金井公園」を利用する市民が21.2%と最も多く、次いで、「西東京いこいの森公園」が17.4%となっている。

地域別では、都立小金井公園は、市南部で利用が多く、西東京いこいの森公園はひばりヶ丘駅南部、田無駅北部で利用が多いなど、それぞれ近隣の公園や広場を利用していることがうかがえる。

図表 運動やスポーツで利用している公園や広場（一般市民、問18、MA、n=673）





図表 運動やスポーツで利用している公園や広場（男女年齢別、MA）

	n	西東京い こいの森公 園	西原自然 公園	田無市民 公園	文理台公 園	都立小金 井公園	谷戸せせ らぎ公園	都立武蔵 野中央公 園	その他	無回答
男性 合計	199	18.1	1.5	2.5	4.5	27.6	3.5	12.6	2.5	47.7
30歳未満	22	18.2	0.0	0.0	9.1	18.2	4.5	13.6	0.0	54.5
30歳代	32	18.8	0.0	3.1	3.1	31.3	0.0	12.5	3.1	43.8
40歳代	30	6.7	3.3	3.3	0.0	40.0	0.0	30.0	3.3	43.3
50歳代	29	6.9	0.0	3.4	0.0	37.9	3.4	13.8	3.4	51.7
60歳代	38	21.1	0.0	0.0	2.6	23.7	5.3	7.9	0.0	57.9
70歳以上	48	29.2	4.2	4.2	10.4	18.8	6.3	4.2	4.2	39.6
女性 合計	272	16.9	1.5	1.8	4.0	20.6	2.6	7.0	2.6	58.5
30歳未満	31	9.7	0.0	0.0	6.5	22.6	0.0	9.7	0.0	58.1
30歳代	42	19.0	0.0	0.0	2.4	28.6	4.8	2.4	2.4	52.4
40歳代	42	16.7	0.0	2.4	4.8	21.4	2.4	7.1	4.8	57.1
50歳代	46	17.4	0.0	0.0	4.3	23.9	2.2	13.0	0.0	60.9
60歳代	59	20.3	6.8	1.7	3.4	16.9	3.4	5.1	3.4	59.3
70歳以上	52	15.4	0.0	5.8	3.8	13.5	1.9	5.8	3.8	61.5

図表 運動やスポーツで利用している公園や広場（地域別、MA）

	n	西東京い こいの森公 園	西原自然 公園	田無市民 公園	文理台公 園	都立小金 井公園	谷戸せせ らぎ公園	都立武蔵 野中央公 園	その他	無回答
田無駅北部	74	29.7	1.4	2.7	0.0	24.3	2.7	5.4	0.0	51.4
ひばりヶ丘駅南部	115	51.3	0.0	0.9	1.7	13.0	15.7	0.9	1.7	38.3
市南東部	65	3.1	0.0	6.2	3.1	21.5	0.0	38.5	3.1	55.4
市西部	77	6.5	10.4	0.0	0.0	29.9	0.0	1.3	3.9	58.4
市南部	130	0.8	0.8	5.4	0.0	40.0	0.0	13.1	6.2	49.2
保谷庁舎周辺部	144	13.2	0.7	0.0	16.7	11.8	0.7	6.9	2.1	64.6
市北部	65	13.8	0.0	0.0	4.6	6.2	1.5	1.5	3.1	76.9

## Ⅱ 市民調査結果

市のスポーツ施設や公園などを利用して、気づいたことを記入してもらったところ、以下のような意見が多く挙げられた。

(一般市民、問 19、自由記述)

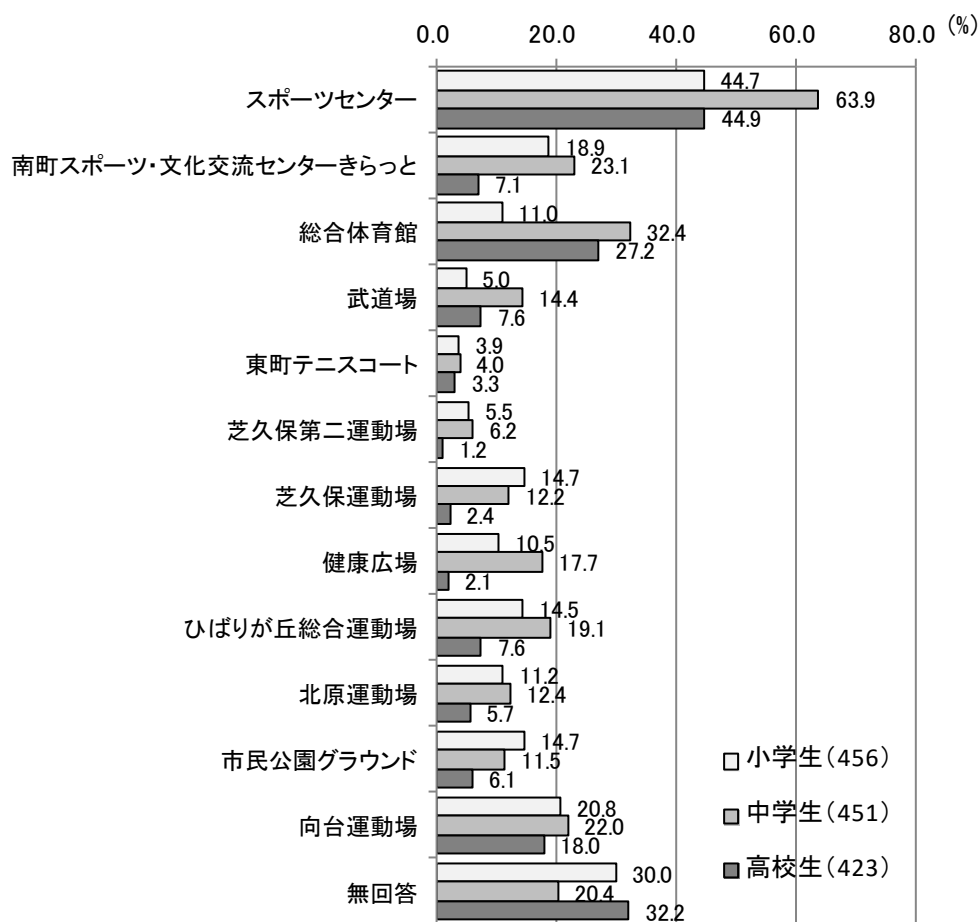
施設の利用料金が低い、予約が取りづらい、交通が不便、駐車場が少ないなどの意見が多く挙げられた。公園に関しては、トイレやベンチなどの休憩施設への要望も目立った。

また、規制が多いなど、自由に遊べる公園が少ない、公園利用のマナーが良くないといった意見も目立った。

■小学生・中学生・高校生

利用したことのある市内のスポーツ施設については、小学生・中学生・高校生ともに、「スポーツセンター」との回答が最も多く、特に中学生の利用経験が多い。

図表 利用したことのある市内のスポーツ施設（小学生、問10、中学生・高校生、問12、MA）

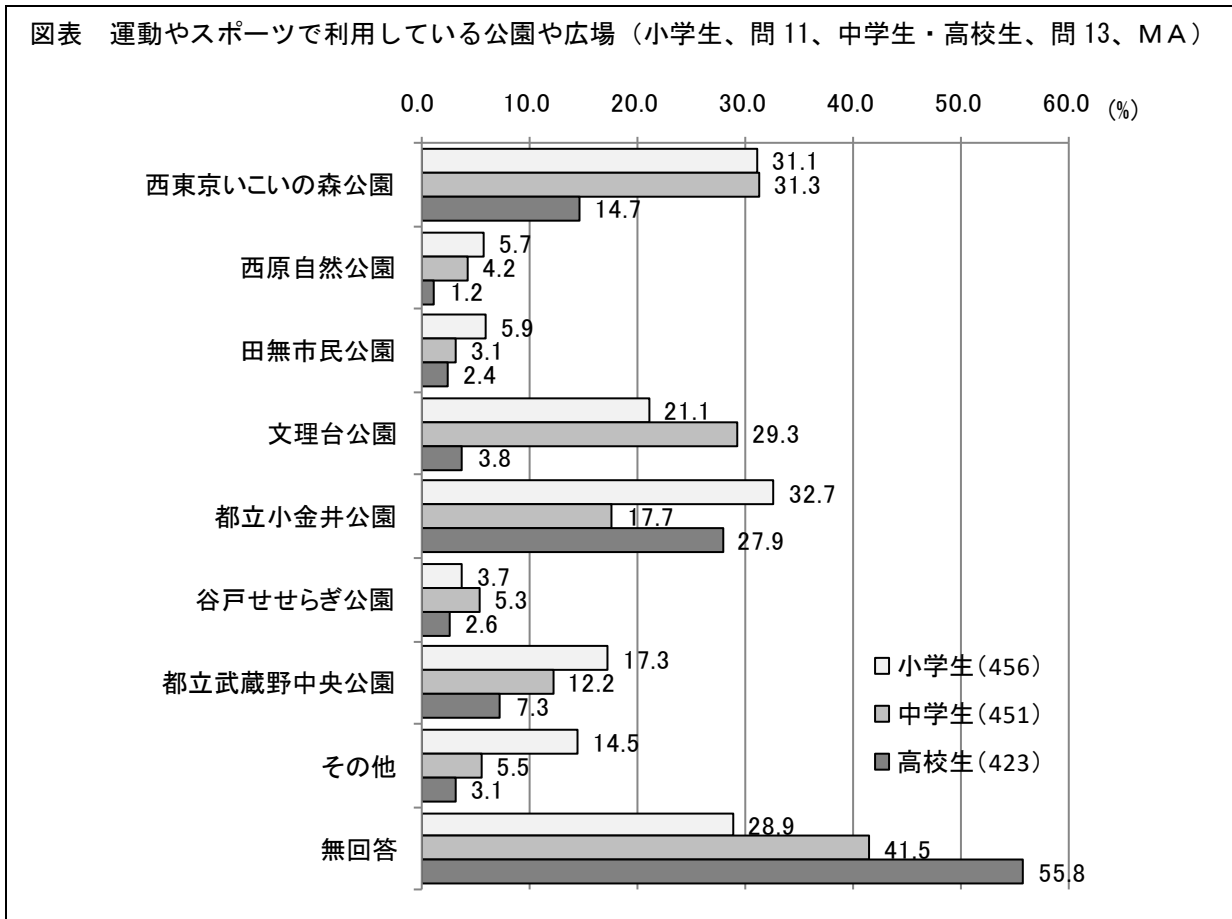


図表 利用したことのある市内のスポーツ施設（小学生、中学生、高校生、男女別）

	n	スポーツセンター	南町スポーツ・文化交流センターきらっと	総合体育館	武道場	東町テニスコート	芝久保第二運動場	芝久保運動場	健康広場	ひばりが丘総合運動場	北原運動場	市民公園グラウンド	向台運動場	無回答
小学生(全体)	456	44.7	18.9	11.0	5.0	3.9	5.5	14.7	10.5	14.5	11.2	14.7	20.8	30.0
小学生(男子)	226	44.7	16.4	12.8	5.8	4.9	9.3	26.1	17.3	26.5	18.1	25.7	37.6	19.0
小学生(女子)	230	44.8	21.3	9.1	4.3	3.0	1.7	3.5	3.9	2.6	4.3	3.9	4.3	40.9
中学生(全体)	451	63.9	23.1	32.4	14.4	4.0	6.2	12.2	17.7	19.1	12.4	11.5	22.0	20.4
中学生(男子)	239	66.1	20.9	31.8	12.1	5.9	10.5	21.3	27.2	29.7	21.3	19.2	34.7	15.1
中学生(女子)	212	61.3	25.5	33.0	17.0	1.9	1.4	1.9	7.1	7.1	2.4	2.8	7.5	26.4
高校生(全体)	423	44.9	7.1	27.2	7.6	3.3	1.2	2.4	2.1	7.6	5.7	6.1	18.0	32.2
高校生(男子)	253	46.2	4.3	24.1	6.7	2.8	0.8	3.6	3.2	8.3	7.9	8.3	21.7	31.2
高校生(女子)	169	42.6	10.7	31.4	8.3	3.6	1.2	0.0	0.0	5.9	1.8	2.4	12.4	33.7

II 市民調査結果

利用している公園や広場については、中学生・高校生ともに「無回答」が多い一方、小学生においては「都立小金井公園」、「西東京いこいの森公園」などの利用が多い。



図表 運動やスポーツで利用している公園や広場（小学生、中学生、高校生、MA）

	n	西東京いこいの森公園	西原自然公園	田無市民公園	文理台公園	都立小金井公園	谷戸せせらぎ公園	都立武蔵野中央公園	その他	無回答
小学生(全体)	456	31.1	5.7	5.9	21.1	32.7	3.7	17.3	14.5	28.9
小学生(男子)	226	35.0	8.4	9.7	21.2	31.0	4.0	20.4	15.9	24.3
小学生(女子)	230	27.4	3.0	2.2	20.9	34.3	3.5	14.3	13.0	33.5
中学生(全体)	451	31.3	4.2	3.1	29.3	17.7	5.3	12.2	5.5	41.5
中学生(男子)	239	38.5	7.1	5.4	34.7	20.9	7.1	17.6	6.7	31.4
中学生(女子)	212	23.1	0.9	0.5	23.1	14.2	3.3	6.1	4.2	52.8
高校生(全体)	423	14.7	1.2	2.4	3.8	27.9	2.6	7.3	3.1	55.8
高校生(男子)	253	18.2	1.6	3.2	4.3	29.2	2.4	9.5	3.6	49.4
高校生(女子)	169	8.9	0.0	0.6	2.4	25.4	2.4	3.6	1.8	65.7

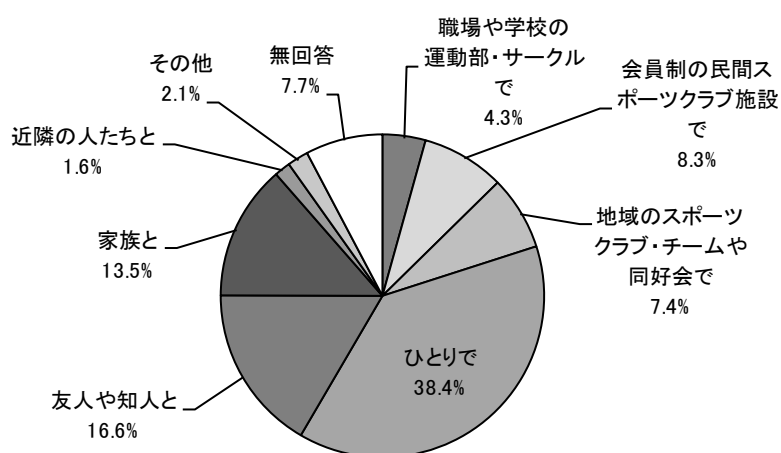
## 5 スポーツをする仲間・指導者について

### (1) スポーツをする仲間

#### ■一般市民

誰と一緒にスポーツをしているかについて、「ひとりで」と回答した人は 38.4%と、どの年代においても多く、次いで、「友人や知人と」、「家族と」という回答の合計が全体の 30.1%であり、身近な人とスポーツをしていることがわかる。

図表 主として誰と一緒に運動やスポーツをしているか（一般市民、問 20、S A、n=673）



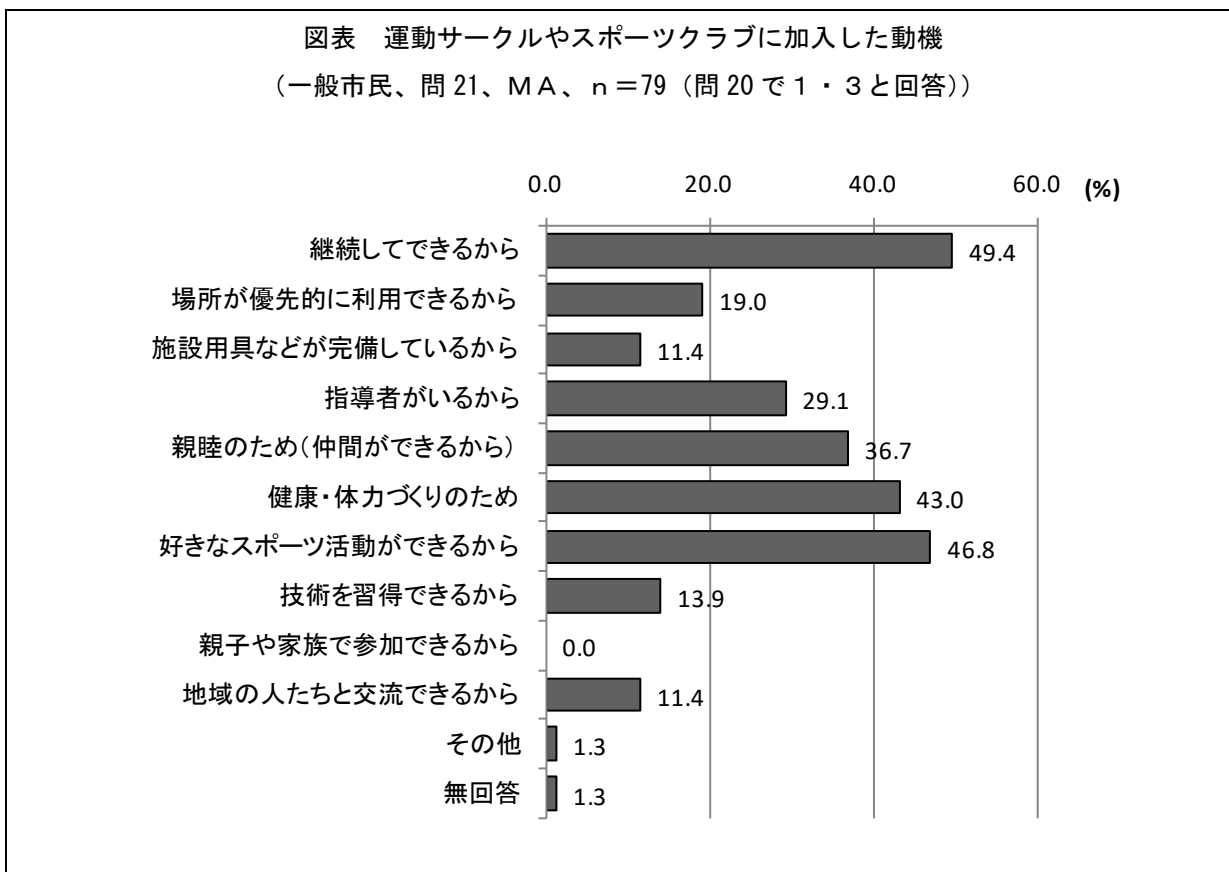
図表 主として誰と一緒に運動やスポーツをしているか（男女年齢別、S A）

	n	職場や学校の運動部・サークルで	会員制の民間スポーツクラブ施設で	地域のスポーツクラブ・チームや同好会で	ひとりで	友人や知人と	家族と	近隣の人たちと	その他	無回答
男性 合計	199	6.5	7.0	6.0	43.7	18.1	11.1	0.5	1.0	6.0
30歳未満	22	18.2	0.0	4.5	40.9	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	32	21.9	9.4	3.1	40.6	15.6	3.1	0.0	0.0	6.3
40歳代	30	3.3	0.0	3.3	36.7	20.0	26.7	0.0	3.3	6.7
50歳代	29	3.4	13.8	13.8	41.4	10.3	13.8	0.0	0.0	3.4
60歳代	38	0.0	7.9	5.3	42.1	26.3	7.9	2.6	2.6	5.3
70歳以上	48	0.0	8.3	6.3	54.2	8.3	12.5	0.0	0.0	10.4
女性 合計	272	2.9	11.0	9.6	32.7	15.8	17.3	2.6	1.8	6.3
30歳未満	31	12.9	3.2	3.2	32.3	29.0	12.9	0.0	0.0	6.5
30歳代	42	4.8	0.0	4.8	38.1	11.9	33.3	2.4	2.4	2.4
40歳代	42	0.0	21.4	7.1	28.6	14.3	26.2	0.0	0.0	2.4
50歳代	46	2.2	15.2	4.3	30.4	17.4	26.1	0.0	0.0	4.3
60歳代	59	1.7	10.2	15.3	39.0	13.6	6.8	5.1	1.7	6.8
70歳以上	52	0.0	13.5	17.3	26.9	13.5	3.8	5.8	5.8	13.5

II 市民調査結果

誰と一緒にスポーツをしているかについて、「職場や学校の運動部・サークルで」あるいは「地域のスポーツクラブ・チームや同好会で」と回答した人に対して、運動サークルやスポーツクラブに加入した動機について聞いたところ、「継続してできるから」が 49.4%と最も多く、次いで「好きなスポーツ活動ができるから」、「健康・体力づくりのため」と回答した市民が多く見られる。

男女別にみると、男性では、「好きなスポーツ活動ができるから」、女性では「健康・体力づくりのため」、「継続してできるから」などの回答がそれぞれ多い。



**図表 運動サークルやスポーツクラブに加入した動機 (男女年齢別、MA)**

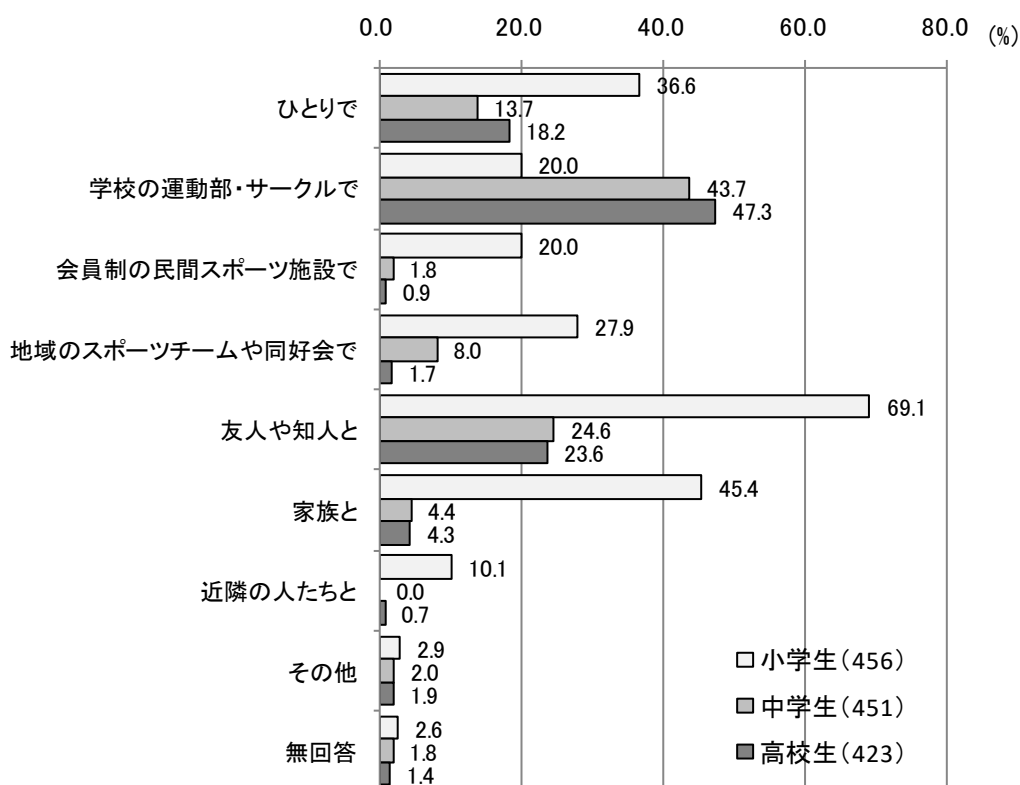
	n	継続してできるから	場所が優先的に利用できるから	施設用具などが完備しているから	指導者がいるから	親睦のため(仲間ができるから)	健康・体力づくりのため	好きなスポーツ活動ができるから	技術を習得できるから	親子や家族で参加できるから	地域の人たちと交流できるから	その他	無回答
男性 合計	25	36.0	12.0	12.0	8.0	32.0	16.0	60.0	8.0	0.0	16.0	0.0	4.0
男性 30歳未満	5	40.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 30歳代	8	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	12.5	62.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
男性 40歳代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
男性 50歳代	5	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
男性 60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
男性 70歳以上	3	100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
女性 合計	34	52.9	23.5	14.7	44.1	41.2	61.8	44.1	20.6	0.0	14.7	2.9	0.0
女性 30歳未満	5	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	60.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0
女性 30歳代	4	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 40歳代	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
女性 50歳代	3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 60歳代	10	60.0	20.0	10.0	60.0	60.0	100.0	20.0	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0
女性 70歳以上	9	77.8	55.6	22.2	55.6	44.4	77.8	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0

■小学生・中学生・高校生

小学生で最も多い回答は「友人や知人と」で69.1%、次いで「家族と」45.4%となっている。また、中学生・高校生は「学校の運動部・サークルで」との回答が多くそれぞれ約4割以上という結果となっている。

図表 主として誰と一緒に運動やスポーツをしているか

(小学生、問12、中学生・高校生、問14、MA)



図表 主として誰と一緒に運動やスポーツをしているか (小学生、中学生、高校生、男女別)

	n	ひとりで	学校の運動部・サークルで	会員制の民間スポーツ施設で	地域のスポーツチームや同好会で	友人や知人と	家族と	近隣の人たちと	その他	無回答
小学生(全体)(456)	456	36.6	20.0	20.0	27.9	69.1	45.4	10.1	2.9	2.6
小学生(男子)(226)	226	39.4	23.9	15.0	48.2	76.1	40.7	10.2	1.8	1.3
小学生(女子)(230)	230	33.9	16.1	24.8	7.8	62.2	50.0	10.0	3.9	3.9
中学生(全体)(451)	451	13.7	43.7	1.8	8.0	24.6	4.4	0.0	2.0	1.8
中学生(男子)(239)	239	10.9	44.4	2.1	11.3	25.9	2.5	0.0	2.1	0.8
中学生(女子)(212)	212	17.0	42.9	1.4	4.2	23.1	6.6	0.0	1.9	2.8
高校生(全体)(423)	423	18.2	47.3	0.9	1.7	23.6	4.3	0.7	1.9	1.4
高校生(男子)(253)	253	16.2	46.2	1.6	1.6	26.1	3.2	0.4	3.2	1.6
高校生(女子)(169)	169	21.3	48.5	0.0	1.8	20.1	5.9	1.2	0.0	1.2

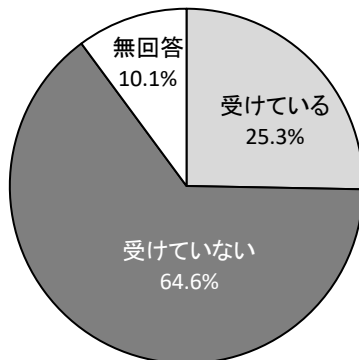
II 市民調査結果

(2) 指導者について

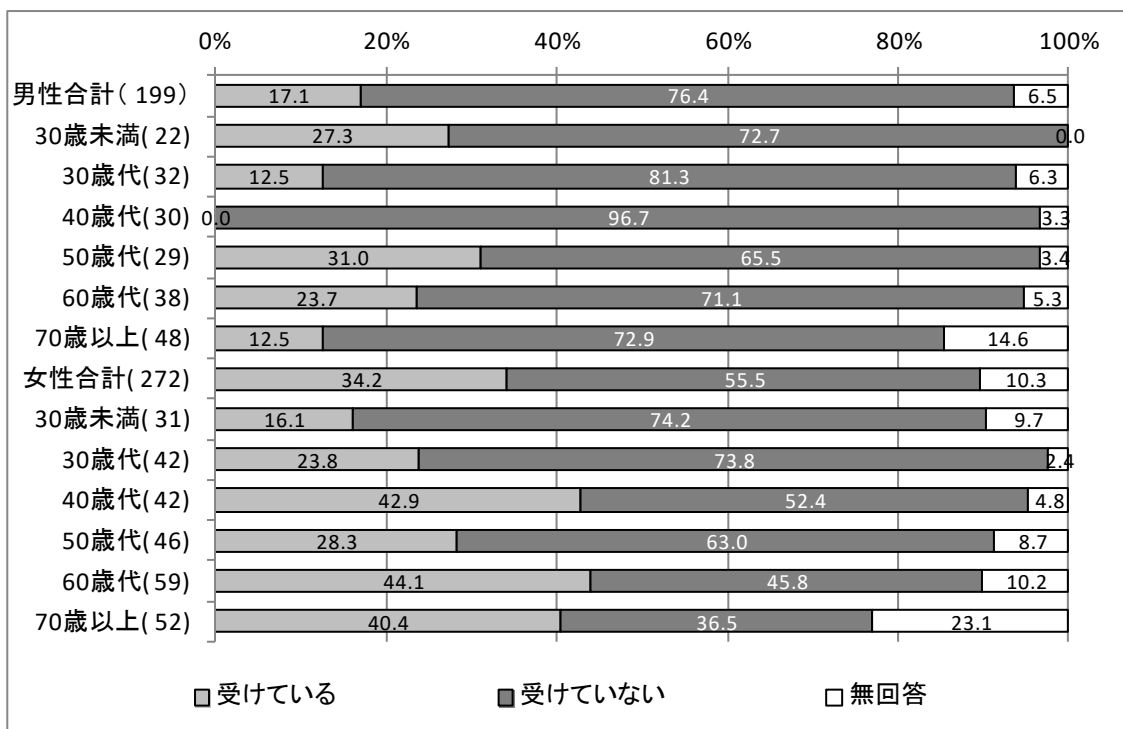
■一般市民

指導の有無について、指導を「受けている」と回答した割合が男性で17.1%、女性で34.2%と、女性の方が指導を受けている割合が多く見られる。

図表 運動・スポーツ時に指導者から指導を受けているか（一般市民、問22、SA、n=673）



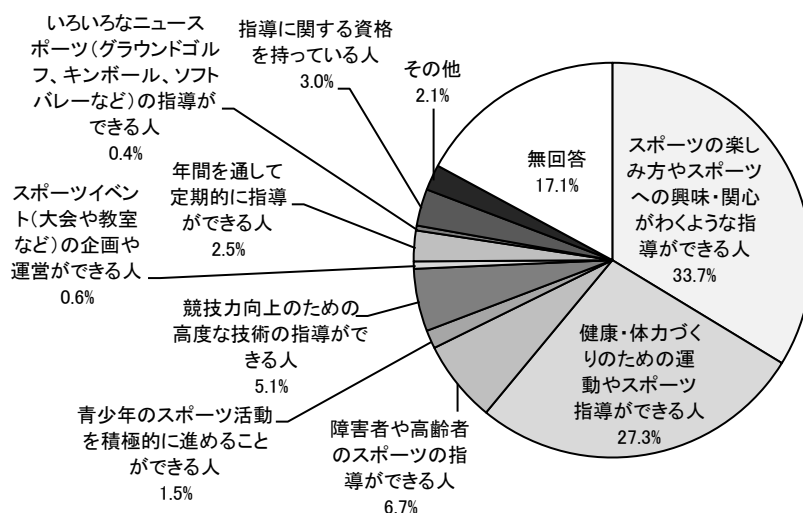
図表 運動・スポーツ時に指導者から指導を受けているか（男女年齢別、SA）





スポーツ指導者について求めることとして、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」と回答した人は33.7%と最も多く、特に30歳未満から40歳代の若年層で割合が高い。次いで、「健康・体力づくりのための運動やスポーツ指導ができる人」と回答した割合が高くなっており、特に高齢層が多く答えている。

図表 スポーツ指導者に求めること（一般市民、問23、SA、n=673）



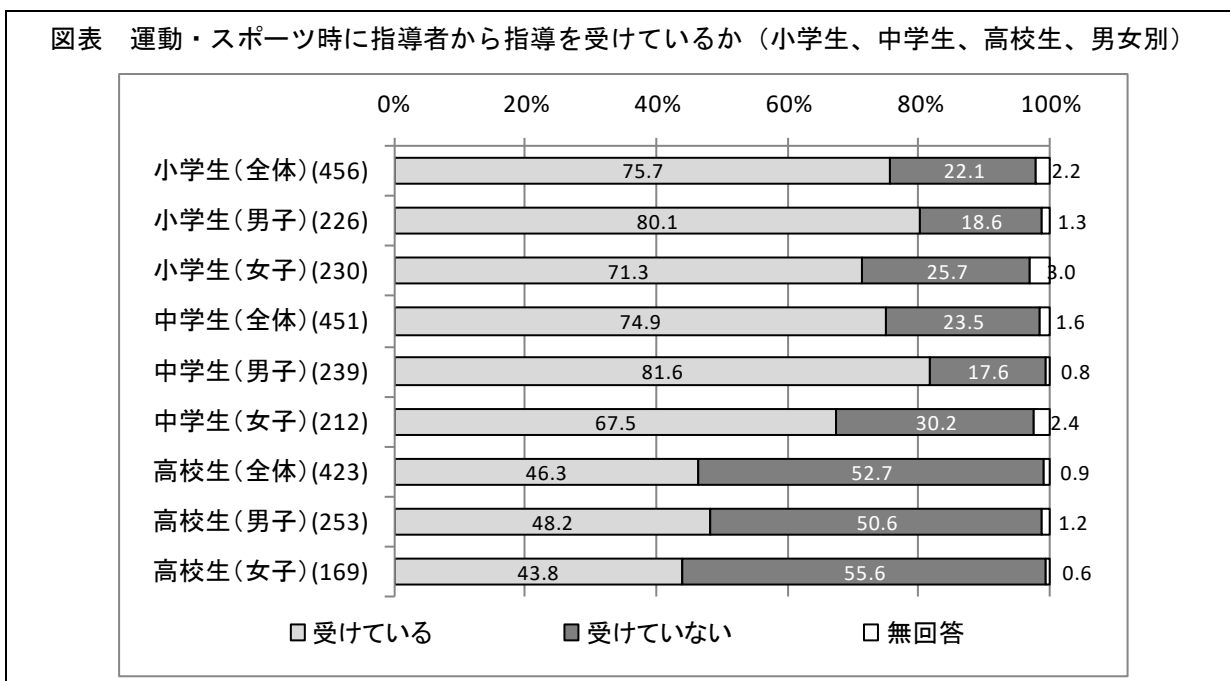
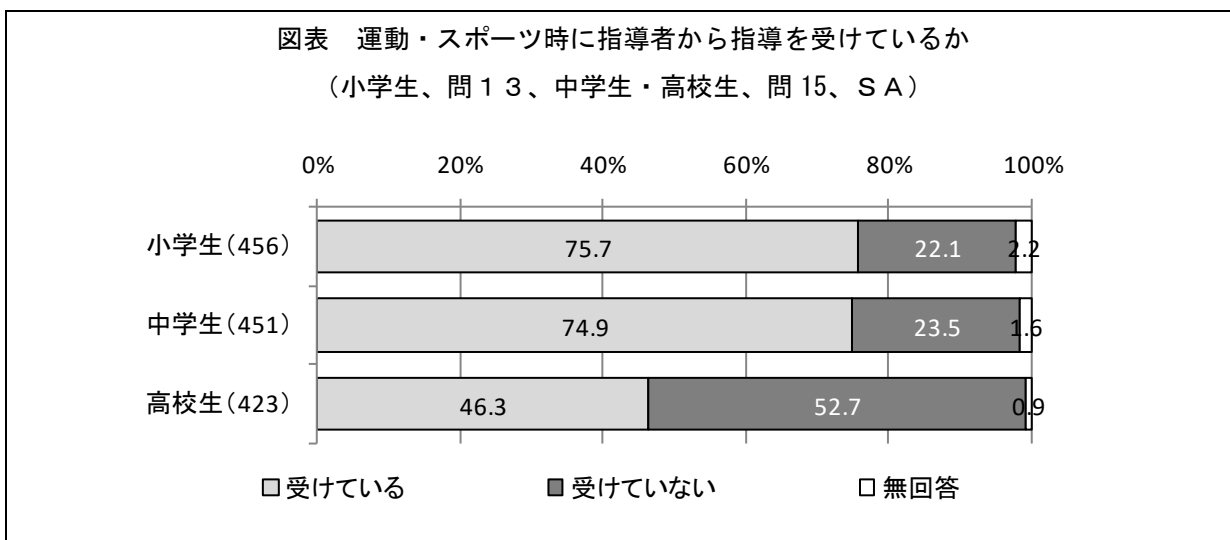
図表 スポーツ指導者に求めること（男女年齢別、SA）

	n	スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人	健康・体力づくりのための運動やスポーツ指導ができる人	障害者や高齢者のスポーツの指導ができる人	青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人	競技力向上のための高度な技術の指導ができる人	スポーツイベント(大会や教室など)の企画や運営ができる人	年間を通して定期的に指導ができる人	いろいろなニューススポーツ(グラウンドゴルフ、キンボール、ソフトバレーなど)の指導ができる人	指導に関する資格を持っている人	その他	無回答
男性 合計	199	33.2	26.1	4.5	2.5	7.5	0.5	2.5	1.0	2.5	4.0	15.6
30歳未満	22	54.5	9.1	0.0	0.0	22.7	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
30歳代	32	43.8	18.8	0.0	3.1	9.4	0.0	3.1	3.1	0.0	9.4	9.4
40歳代	30	36.7	23.3	6.7	3.3	10.0	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	16.7
50歳代	29	41.4	34.5	0.0	3.4	6.9	0.0	3.4	0.0	0.0	3.4	6.9
60歳代	38	31.6	31.6	2.6	0.0	2.6	0.0	7.9	2.6	5.3	2.6	13.2
70歳以上	48	10.4	31.3	12.5	4.2	2.1	0.0	0.0	0.0	4.2	6.3	29.2
女性 合計	272	36.0	29.8	5.5	0.7	5.1	0.7	2.6	0.4	3.7	1.5	14.0
30歳未満	31	64.5	9.7	3.2	0.0	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9
30歳代	42	40.5	40.5	2.4	4.8	0.0	2.4	4.8	0.0	2.4	2.4	0.0
40歳代	42	52.4	26.2	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	9.5
50歳代	46	30.4	28.3	0.0	0.0	10.9	0.0	4.3	2.2	4.3	0.0	19.6
60歳代	59	23.7	45.8	6.8	0.0	3.4	0.0	1.7	0.0	5.1	1.7	11.9
70歳以上	52	21.2	19.2	17.3	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	3.8	3.8	26.9

II 市民調査結果

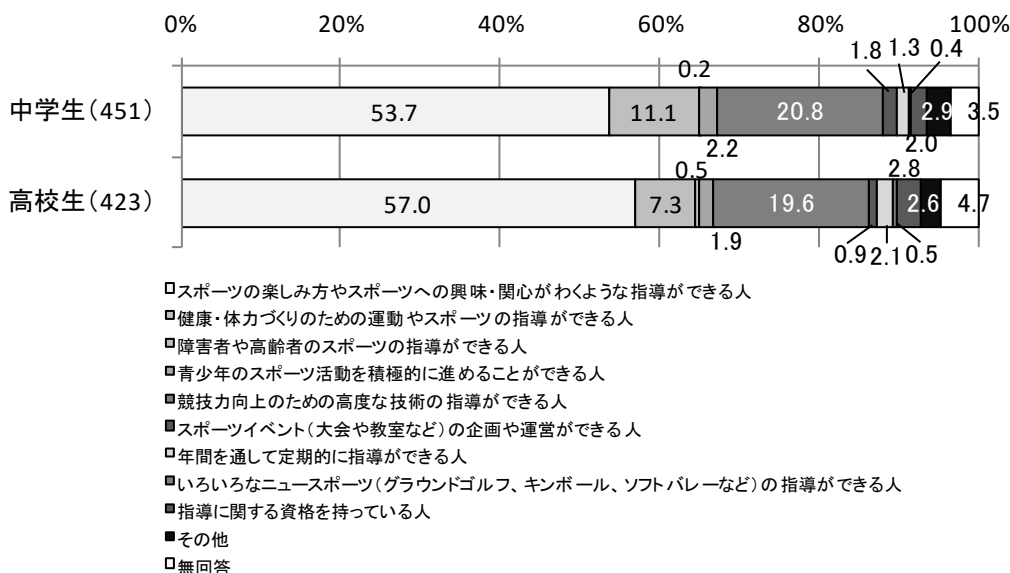
■小学生・中学生・高校生

小学生・中学生は「受けている」との回答が最も多く、7割を超えている。一方で、高校生では「受けている」46.3%、「受けていない」52.7%と、ほぼ半々となっている。



スポーツ指導者に求めることについて、中学生・高校生ともに「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がよくわかるような指導ができる人」との回答が最も多く、全体の約5割を占めている。次いで、「競技力向上のための高度な技術の指導ができる人」が約2割となっている。

図表 スポーツ指導者に求めること（中学生・高校生、問16、SA）



図表 スポーツ指導者に求めること（男女年齢別、SA）

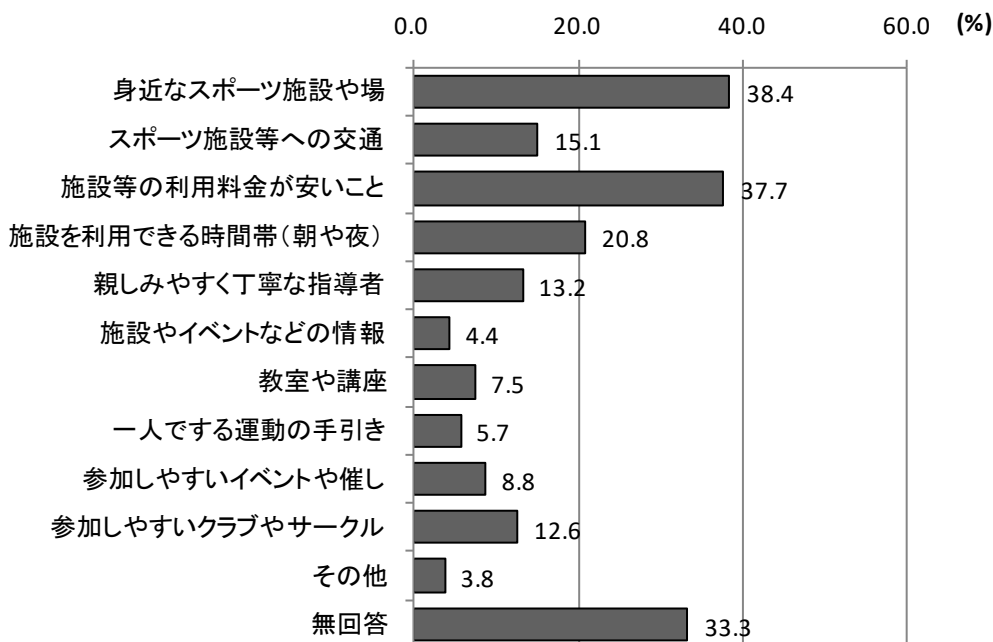
	n	スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がよくわかるような指導ができる人	健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人	障害者や高齢者のスポーツの指導ができる人	青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人	競技力向上のための高度な技術の指導ができる人	スポーツイベント(大会や教室など)の企画や運営ができる人	年間を通して定期的に指導ができる人	いろいろなニュースポーツ(グラウンドゴルフ、キンボール、ソフトバレーなど)の指導ができる人	指導に関する資格を持っている人	その他	無回答
中学生(全体)	451	53.7	11.1	0.2	2.2	20.8	1.8	1.3	0.4	2.0	2.9	3.5
中学生(男子)	239	48.1	11.3	0.4	3.3	26.8	2.1	1.7	0.4	1.3	3.3	1.3
中学生(女子)	212	59.9	10.8	0.0	0.9	14.2	1.4	0.9	0.5	2.8	2.4	6.1
高校生(全体)	423	57.0	7.3	0.5	1.9	19.6	0.9	2.1	0.5	2.8	2.6	4.7
高校生(男子)	253	56.5	6.7	0.8	2.8	19.0	0.8	2.0	0.8	2.8	2.8	5.1
高校生(女子)	169	57.4	8.3	0.0	0.6	20.7	1.2	2.4	0.0	3.0	2.4	4.1

## 6 (スポーツ非実施者) スポーツに取り組むための条件

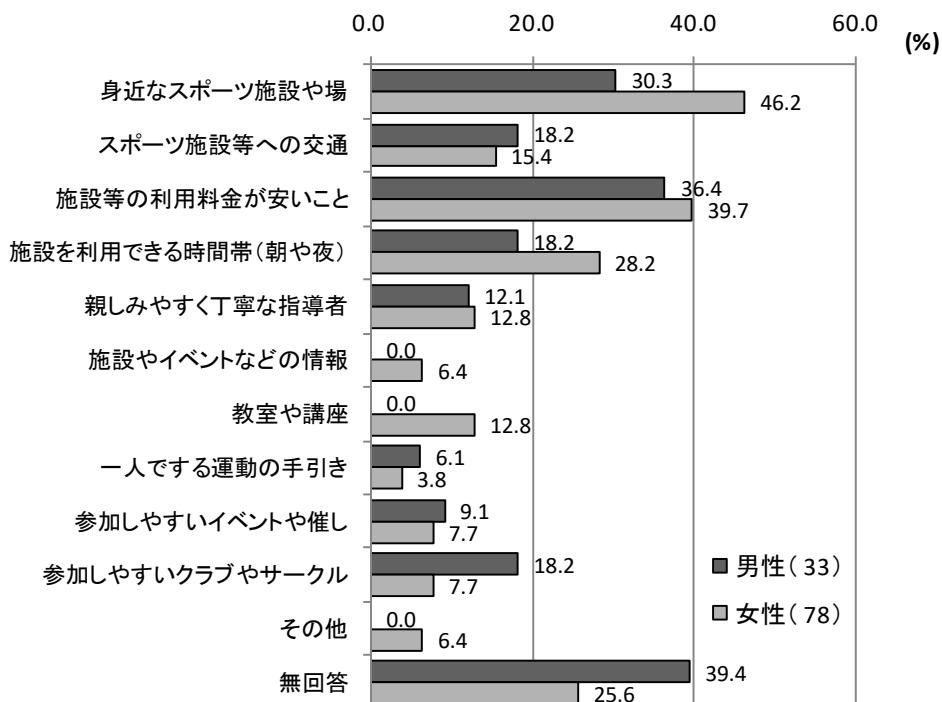
### ■一般市民

スポーツを全く行っていない人に対して、スポーツに取り組む上で大切なことを聞いたところ、「身近なスポーツ施設や場」38.4%、「施設等の利用料金が安いこと」37.7%が最も多い。この傾向は、男女別では、特に女性に強く見られる。

図表 運動やスポーツに取り組む上で大切だと思われる条件（一般市民、問 26、MA、n=159）



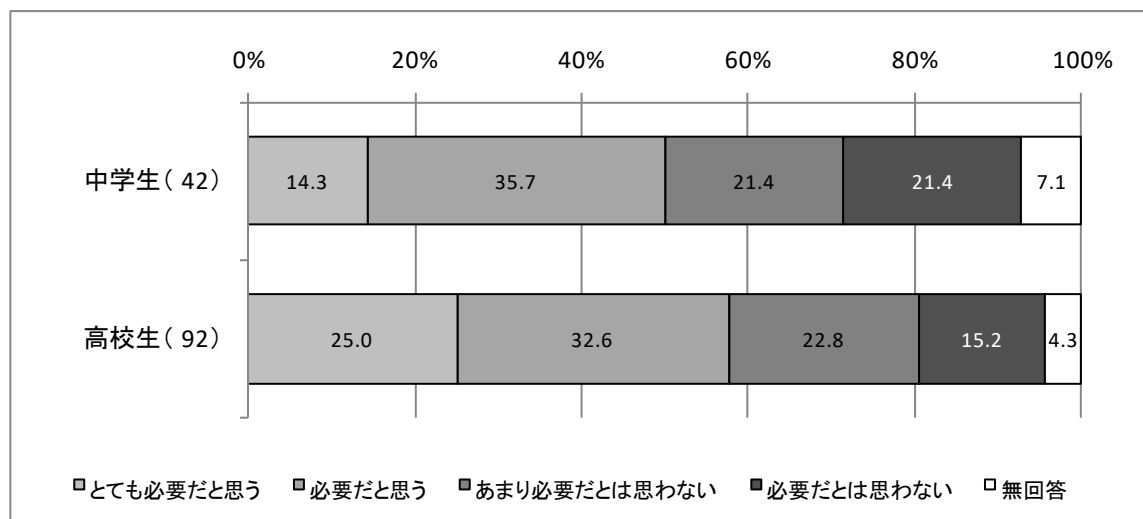
図表 運動やスポーツに取り組む上で大切だと思われる条件（男女別、MA）



■中学生・高校生

学校以外でもっと楽しく気軽に運動ができる機会が必要かについては、「とても必要だと思う」、「必要だと思う」との回答の合計は、中学生で50.0%、高校生で57.6%と、過半数が、授業や部活以外で、もっと楽しく気軽に身体を動かしたり汗をかいたりできる機会の必要性を感じている。

図表 学校以外で、もっと楽しく気楽に運動ができる機会が必要か（中学生・高校生、問19、S A）

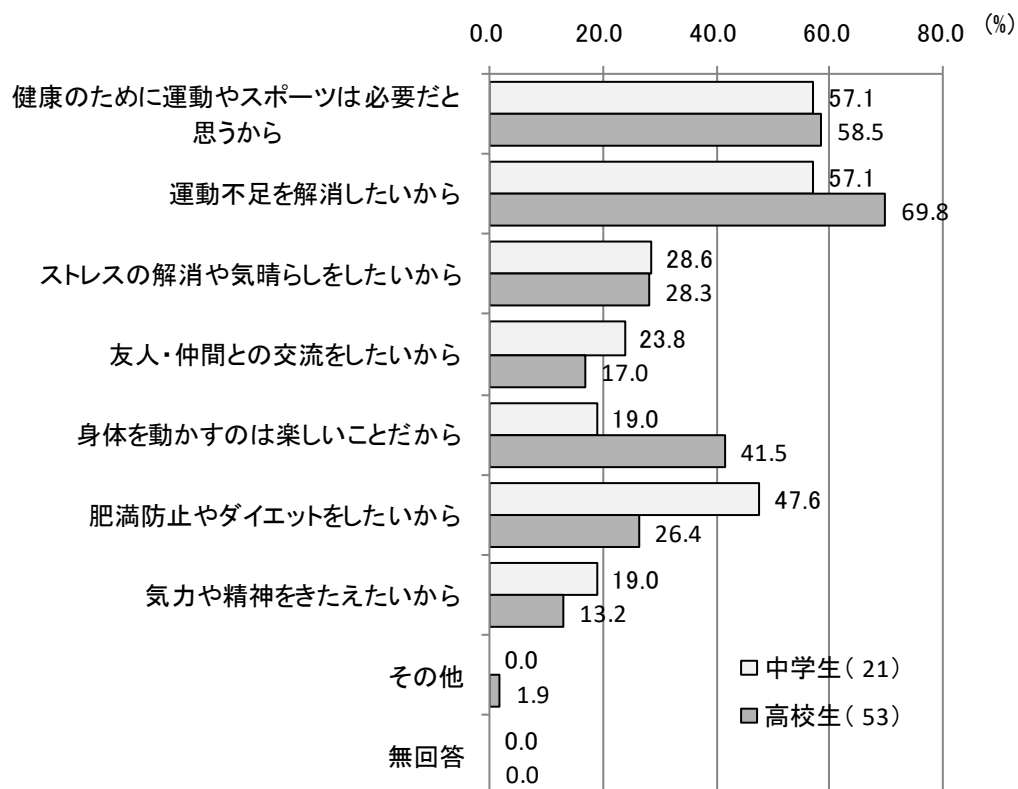


II 市民調査結果

気軽な運動やスポーツの機会が必要だと思うと回答した人に、その理由を聞いてみたところ、「運動不足を解消したいから」「健康のために運動やスポーツは必要だと思うから」との回答が多い傾向が見られた。

また、中学生では、「肥満防止やダイエットをしたいから」、高校生では、「身体を動かすのは楽しいことだから」がそれぞれ4割以上と比較的多い。

図表 気軽な運動やスポーツの機会が必要だと思う理由（中学生・高校生、問20、SA（問19で1・2と回答））



## ■一般市民

非実施者に、今後取組んでみたい運動・スポーツを挙げてもらったところ、以下のような運動・スポーツが多く挙げられた。

(問 24 自由記述)

一般市民では、実施者と同様に、ヨガ、水泳、テニス、卓球などの回答が多かった。その他、ウォーキング、ランニング、ハイキング、フットサルなどの意見も多く見られた。

## ■小学生・中学生・高校生

非実施者に、今後やってみたい運動・スポーツを挙げてもらったところ、以下のような運動・スポーツが多く挙げられた。

(小学生、問 15、中学生・高校生、問 18、自由記述)

小学生では、非実施者がほとんどいなかったため、回答も少なかったが、複数回答があった種目はサッカー、水泳である。

中学生・高校生では、テニス、バスケットボール、サッカー、サイクリング、ダンスが比較的多く見られた。

## 7 総合型地域スポーツクラブについて

### (1) 総合型地域スポーツクラブの認知度

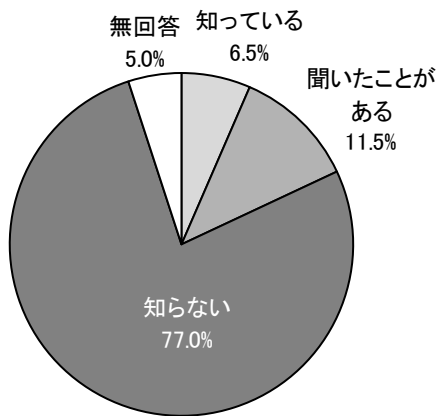
#### ■一般市民

総合型地域スポーツクラブについて、「知らない」と回答した人は77.0%であった。

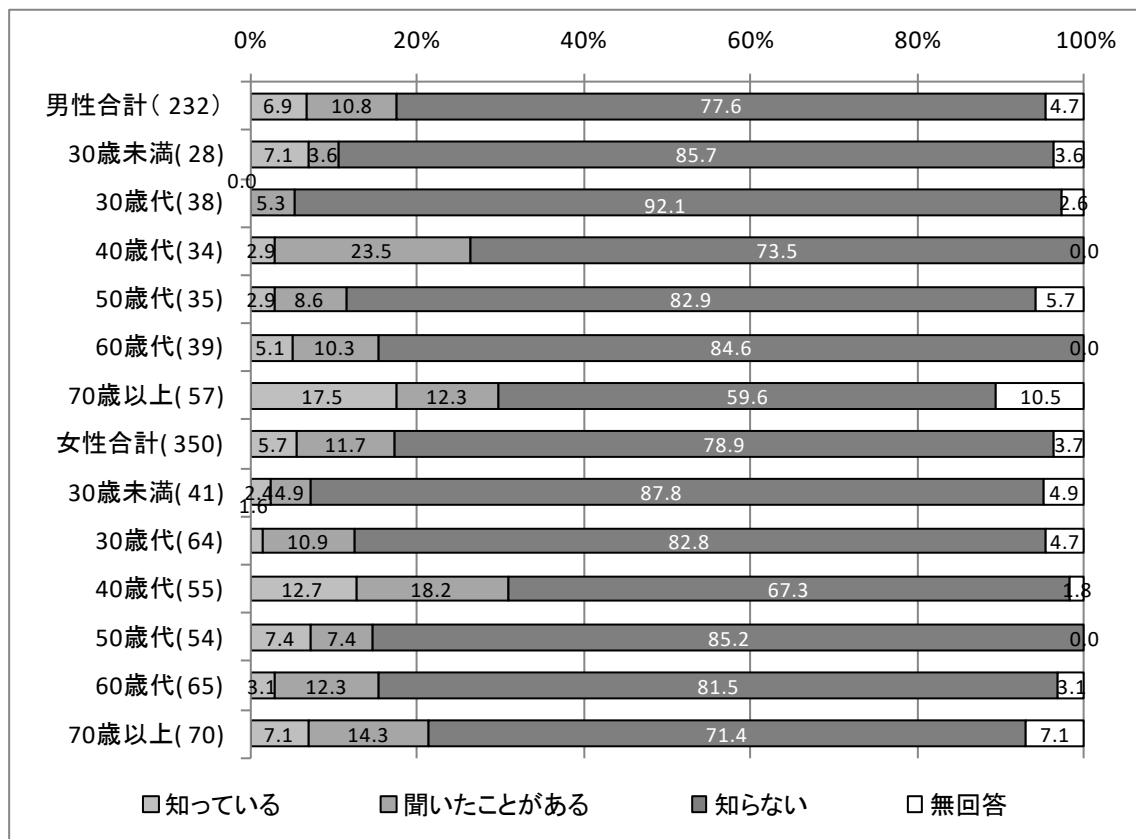
男女年齢別にみると、40歳代や70歳代の男女ともに「知っている」、「聞いたことがある」と答えており、他の年代よりも認知度が高い。

地域別では、市南東部、市西部で、それぞれ認知度が若干高く、市北部で低い傾向が見られる。

図表 「総合型地域スポーツクラブ」について知っているか（一般市民、問27、SA、n=832）

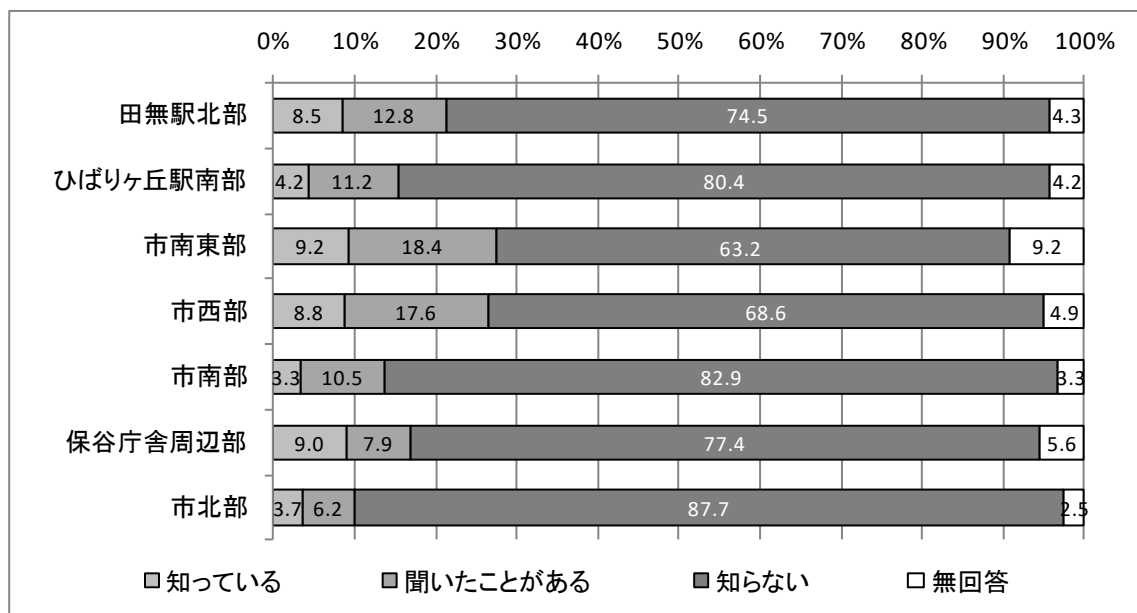


図表 「総合型地域スポーツクラブ」について知っているか（男女年齢別、SA）

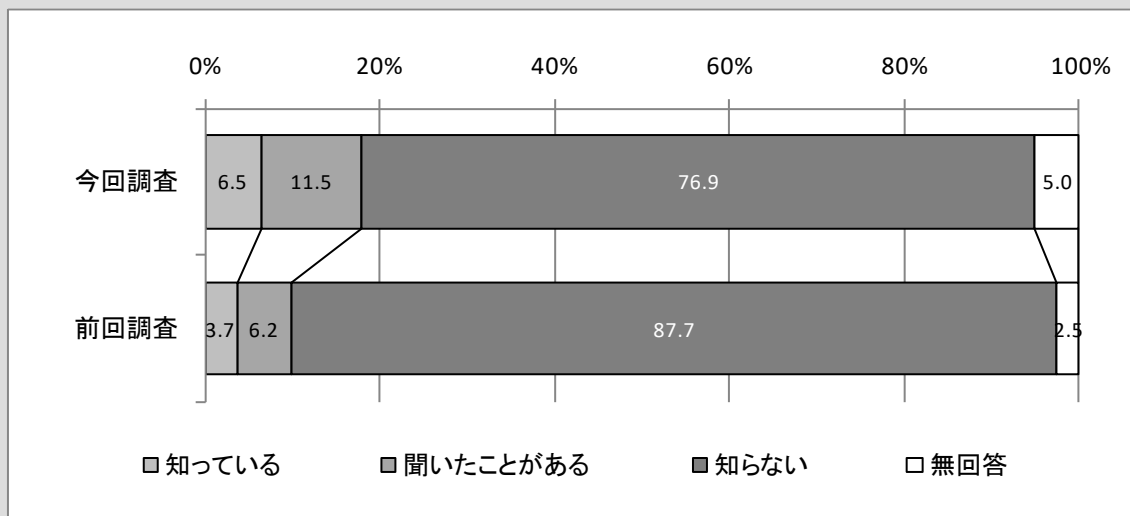




図表 「総合型地域スポーツクラブ」について知っているか（地域別、S A）



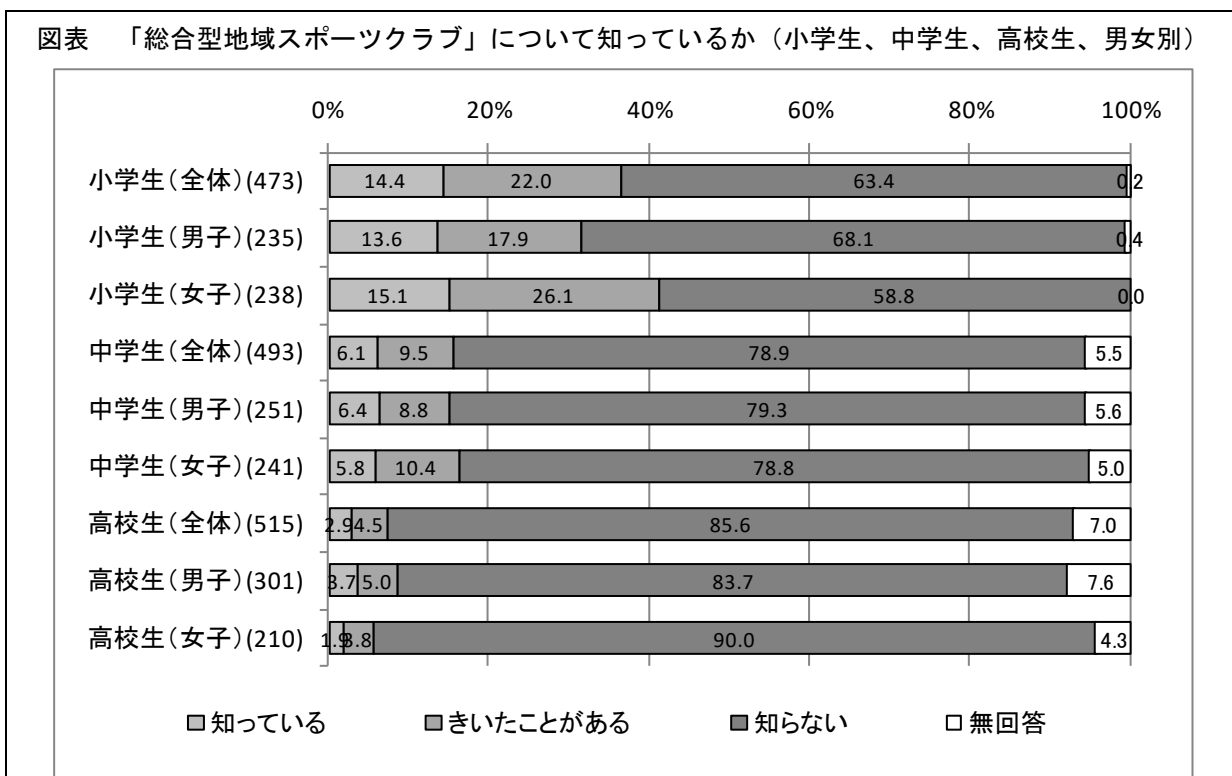
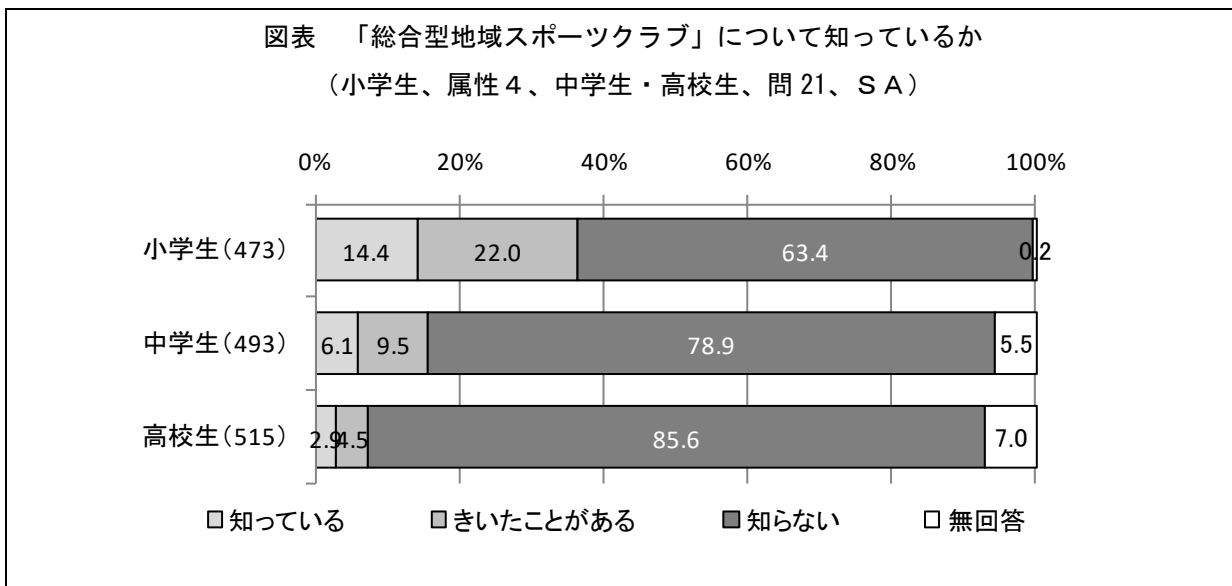
【比較 総合型地域スポーツクラブの認知度】



II 市民調査結果

■小学生・中学生・高校生

総合型地域スポーツクラブについては、一般市民の回答と同様に「知らない」との回答が最も多く、特に高校生で85.6%、中学生で78.9%と高い割合を示している。「聞いたことがある」、「知っている」と答えた子どもは小学生で最も多く、合計で36.4%になっている。

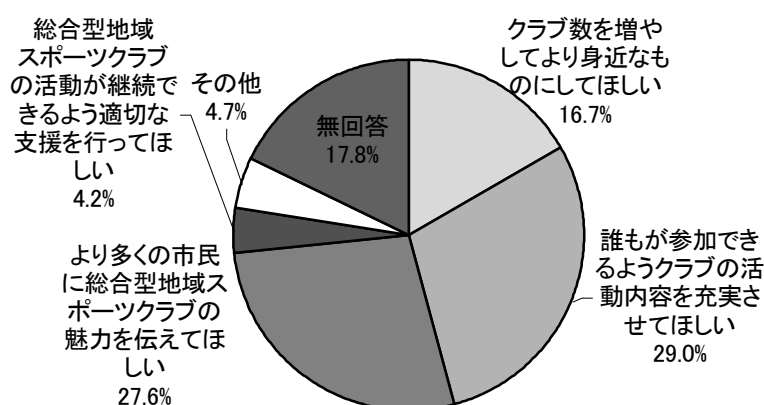


## (2) 総合型地域スポーツクラブの方向性

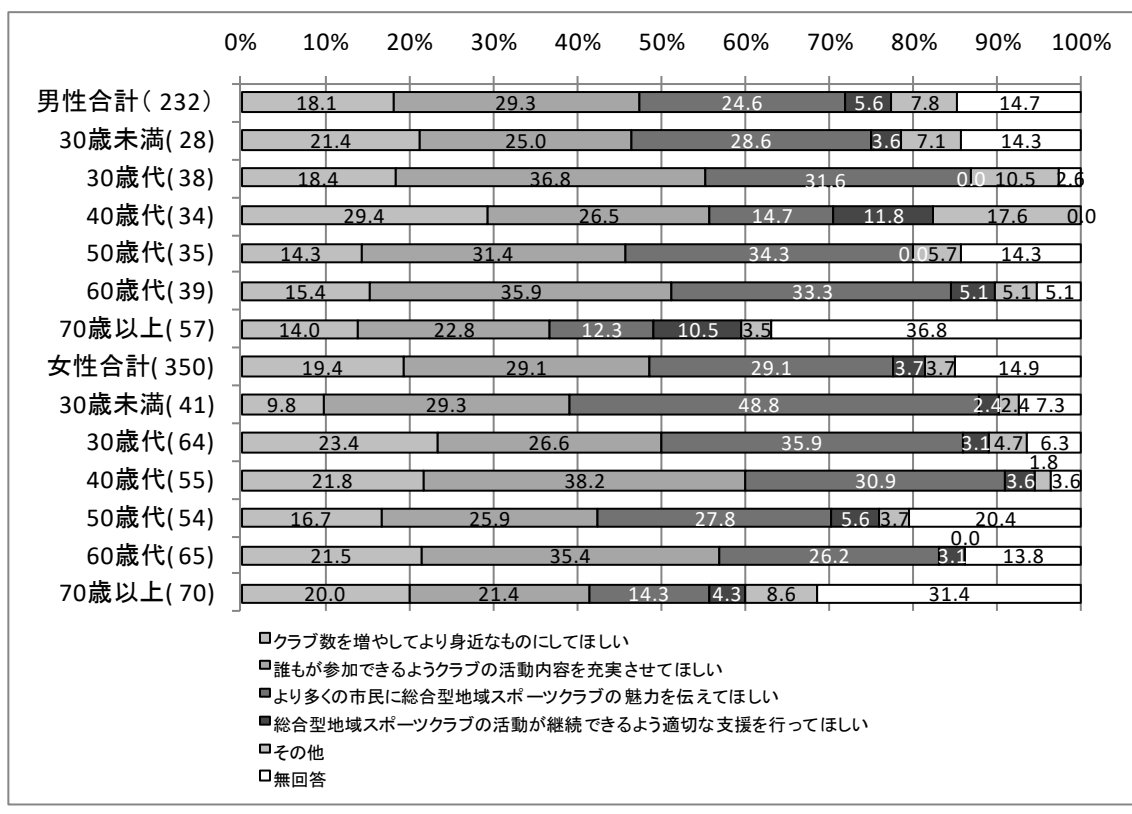
### ■一般市民

総合型地域スポーツクラブの方向性について聞いたところ、「誰もが参加できるようなクラブの活動内容を充実させてほしい」29.0%が最も多く、次いで、「より多くの市民に総合型地域スポーツクラブの魅力を伝えてほしい」27.6%、「クラブ数を増やしてより身近なものにしてほしい」16.7%と続く。

図表 「総合型地域スポーツクラブ」の育成について（一般市民、問28、SA、n=832）



図表 「総合型地域スポーツクラブ」の育成について（男女年齢別、SA）



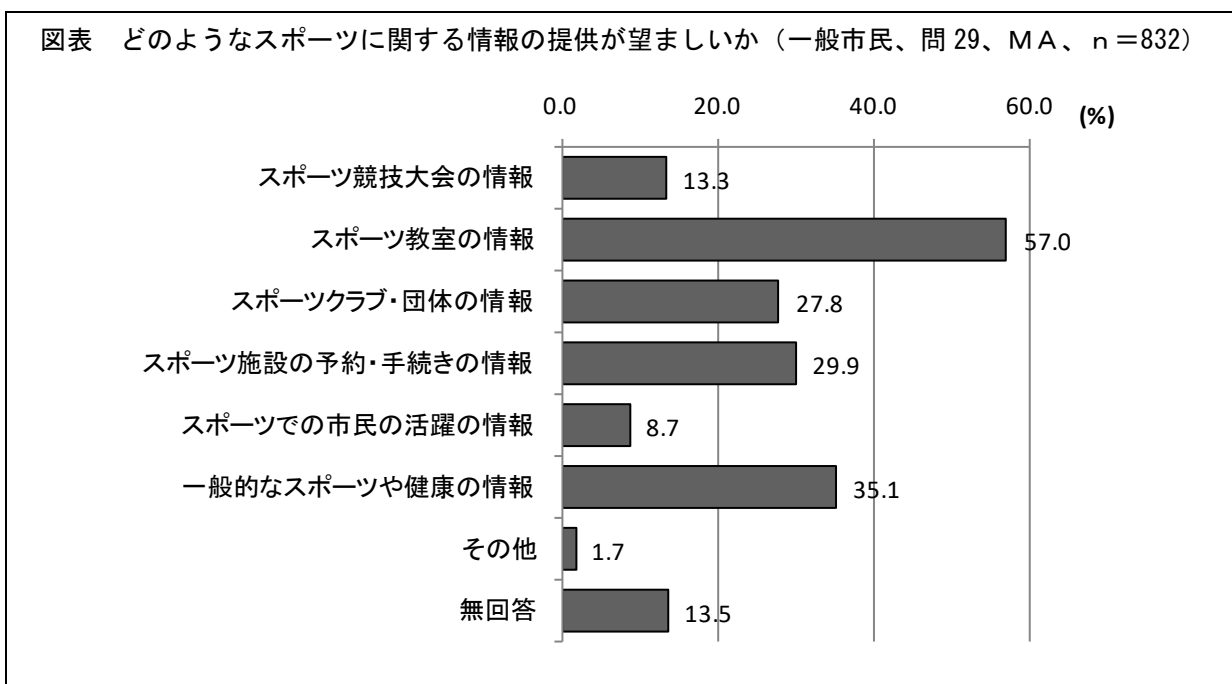
## 8 市の取組みについて

### (1) 望ましい情報提供

#### ■一般市民

情報提供のニーズについて、「スポーツ教室の情報」と回答した人は、57.0%と最も多くなっている。次いで、「一般的なスポーツや健康の情報」が35.1%、「スポーツ施設の予約・手続きの情報」が29.9%と続く。

男女別にみると、男性は「スポーツ競技大会の情報」と答えた割合が多く、女性では「スポーツ教室の情報」を求めている割合が高い。



図表 どのようなスポーツに関する情報の提供が望ましいか（男女年齢別、MA）

	n	スポーツ競技大会の情報	スポーツ教室の情報	スポーツクラブ・団体の情報	スポーツ施設の予約・手続きの情報	スポーツでの市民の活躍の情報	一般的なスポーツや健康の情報	その他	無回答
男性 合計	232	22.8	53.4	33.6	37.1	13.4	31.0	2.2	11.6
30歳未満	28	39.3	50.0	28.6	46.4	14.3	14.3	3.6	10.7
30歳代	38	34.2	63.2	42.1	36.8	7.9	23.7	2.6	2.6
40歳代	34	20.6	70.6	44.1	47.1	11.8	35.3	2.9	0.0
50歳代	35	25.7	57.1	37.1	34.3	20.0	25.7	5.7	11.4
60歳代	39	25.6	61.5	41.0	46.2	12.8	33.3	0.0	7.7
70歳以上	57	5.3	31.6	17.5	22.8	12.3	43.9	0.0	28.1
女性 合計	350	8.3	62.0	26.0	27.7	6.0	36.0	1.4	11.7
30歳未満	41	14.6	58.5	39.0	46.3	9.8	26.8	0.0	2.4
30歳代	64	7.8	73.4	29.7	37.5	4.7	35.9	0.0	3.1
40歳代	55	7.3	76.4	30.9	30.9	1.8	32.7	1.8	5.5
50歳代	54	11.1	68.5	29.6	24.1	3.7	35.2	1.9	7.4
60歳代	65	7.7	67.7	23.1	15.4	10.8	46.2	1.5	13.8
70歳以上	70	4.3	32.9	11.4	20.0	5.7	35.7	2.9	30.0

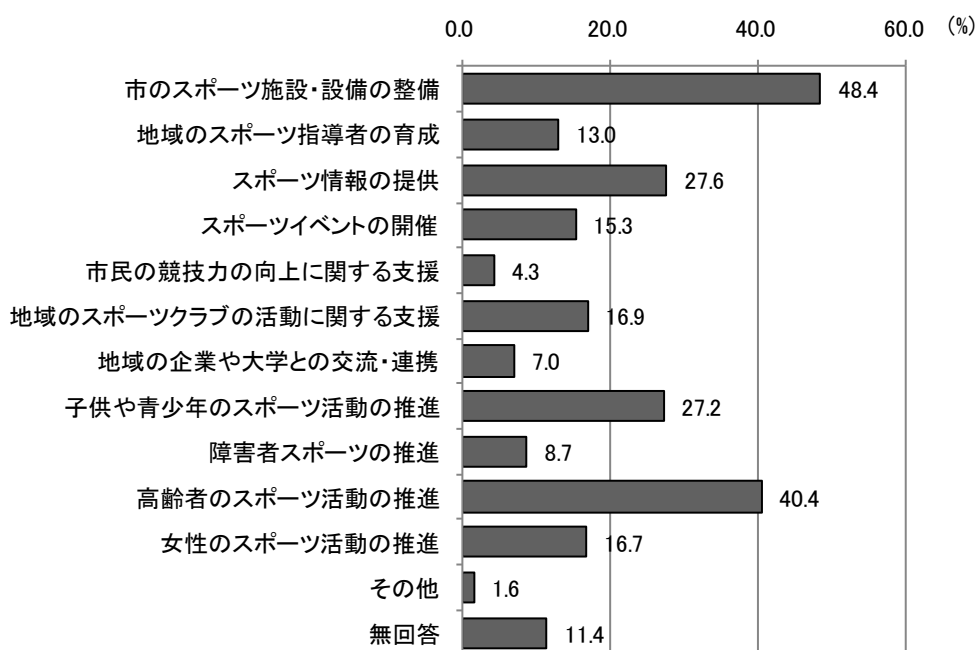
## (2) 重点的な取組み

### ■一般市民

重点的な取組みについては、「市のスポーツ施設・設備の整備」と回答した人が最も多く 48.4%、次いで、「高齢者のスポーツ活動の推進」が 40.4%となっている。

男女別にみると、「市のスポーツ施設・設備の整備」との回答は男性で比較的高い傾向が見られる。

図表 今後どのような重点的な取組みを進めていくべきか（一般市民、問 30、MA、n=832）



図表 今後どのような重点的な取組みを進めていくべきか（男女年齢別、MA）

	n	市のスポーツ施設・設備の整備	地域のスポーツ指導者の育成	スポーツ情報の提供	スポーツイベントの開催	市民の競技力の向上に関する支援	地域のスポーツクラブの活動に関する支援	地域の企業や大学との交流・連携	子供や青少年のスポーツ活動の推進	障害者スポーツの推進	高齢者のスポーツ活動の推進	女性のスポーツ活動の推進	その他	無回答
男性 合計	232	56.9	15.1	28.4	22.4	6.0	16.4	8.6	33.2	10.8	37.9	1.7	2.2	9.1
30歳未満	28	60.7	10.7	21.4	35.7	7.1	10.7	21.4	39.3	3.6	25.0	0.0	0.0	10.7
30歳代	38	68.4	7.9	39.5	34.2	5.3	21.1	13.2	47.4	21.1	23.7	0.0	2.6	0.0
40歳代	34	61.8	20.6	35.3	20.6	11.8	26.5	11.8	44.1	14.7	14.7	0.0	0.0	0.0
50歳代	35	60.0	20.0	22.9	25.7	5.7	5.7	2.9	31.4	14.3	31.4	5.7	8.6	8.6
60歳代	39	59.0	17.9	38.5	23.1	0.0	17.9	5.1	38.5	7.7	59.0	2.6	0.0	2.6
70歳以上	57	42.1	12.3	17.5	7.0	5.3	14.0	3.5	12.3	5.3	57.9	1.8	1.8	24.6
女性 合計	350	45.7	12.9	30.3	12.9	4.9	17.1	6.3	26.3	7.7	42.0	29.7	0.9	9.7
30歳未満	41	43.9	12.2	36.6	24.4	4.9	24.4	12.2	31.7	12.2	34.1	34.1	2.4	2.4
30歳代	64	60.9	9.4	50.0	14.1	4.7	17.2	1.6	42.2	6.3	18.8	39.1	1.6	3.1
40歳代	55	61.8	18.2	20.0	25.5	7.3	20.0	9.1	41.8	5.5	27.3	23.6	0.0	3.6
50歳代	54	46.3	18.5	20.4	13.0	5.6	16.7	7.4	13.0	11.1	42.6	35.2	0.0	11.1
60歳代	65	38.5	10.8	38.5	6.2	6.2	16.9	7.7	24.6	7.7	55.4	23.1	0.0	12.3
70歳以上	70	27.1	10.0	17.1	1.4	1.4	11.4	2.9	8.6	5.7	65.7	25.7	1.4	21.4

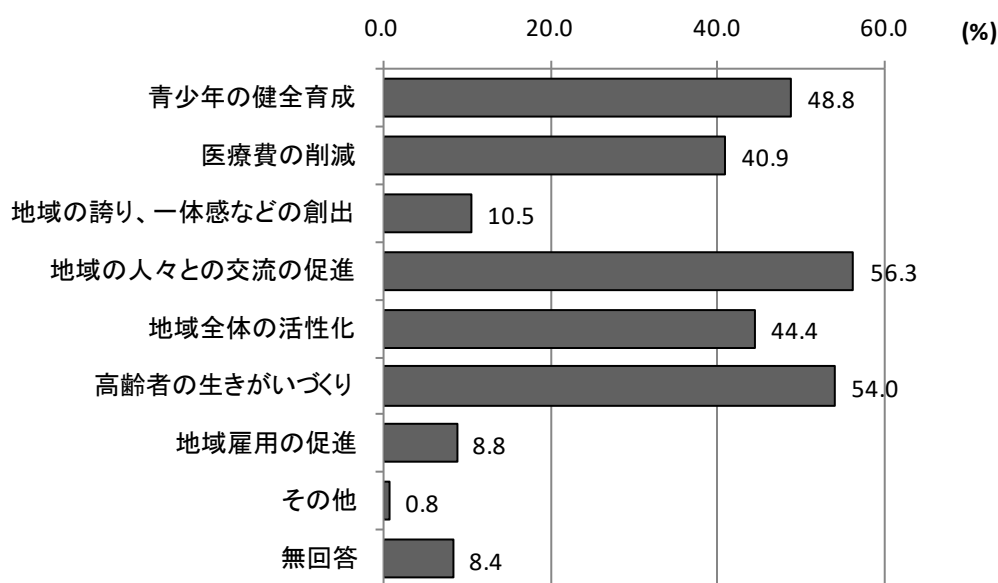
(3) 地域でのスポーツ振興

■一般市民

地域でのスポーツ振興の地域貢献について、「地域の人々との交流の促進」と回答した人が最も多く 56.3%となっている。次いで、「高齢者の生きがいがづくり」が 54.0%、「青少年の健全育成」が 48.8%となっている。

年齢別で見ると、若年層で、「地域の人々との交流の促進」や「地域全体の活性化」、「青少年の健全育成」が比較的高い割合となっているのに対し、高齢層では、「高齢者のいきがづくり」や「医療費の削減」が高くなる傾向がみられる。

図表 地域でのスポーツ活動の振興はどのように地域に貢献するか（一般市民、問 31、MA、n=832）



図表 地域でのスポーツ活動の振興はどのように地域に貢献するか（男女年齢別、MA）

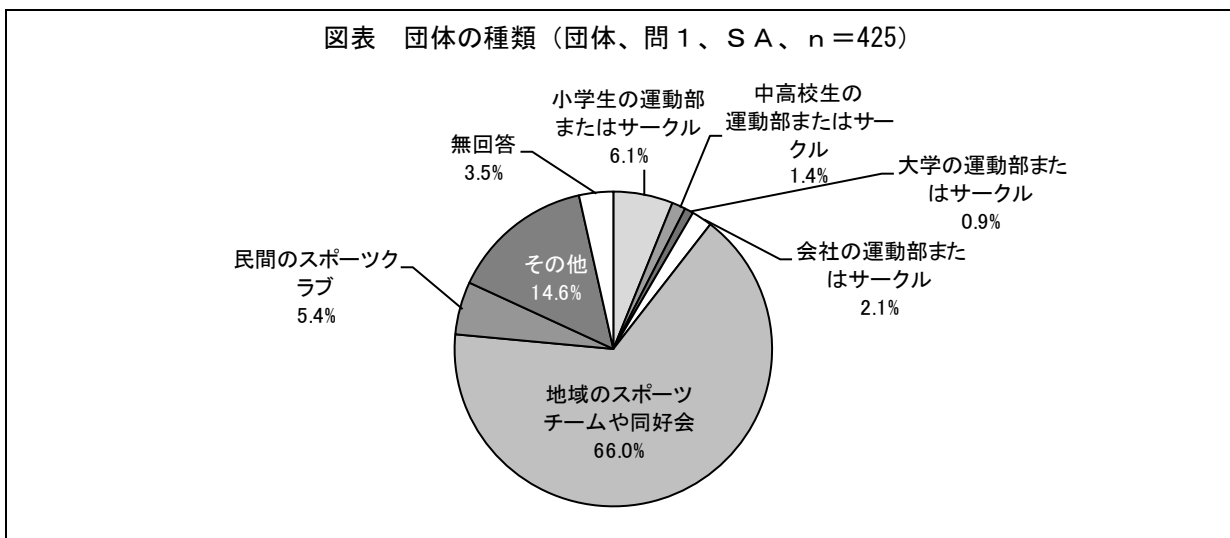
	n	青少年の健全育成	医療費の削減	地域の誇り、一体感などの創出	地域の人々との交流の促進	地域全体の活性化	高齢者の生きがいがづくり	地域雇用の促進	その他	無回答
男性 合計	232	54.3	38.8	14.2	55.2	47.8	48.7	12.1	1.7	7.8
30歳未満	28	53.6	21.4	21.4	50.0	42.9	32.1	17.9	3.6	10.7
30歳代	38	55.3	42.1	18.4	65.8	55.3	44.7	21.1	5.3	0.0
40歳代	34	67.6	14.7	11.8	52.9	58.8	38.2	5.9	0.0	0.0
50歳代	35	60.0	37.1	14.3	65.7	57.1	42.9	14.3	0.0	5.7
60歳代	39	56.4	59.0	15.4	64.1	61.5	64.1	12.8	0.0	2.6
70歳以上	57	40.4	47.4	7.0	38.6	22.8	57.9	5.3	1.8	21.1
女性 合計	350	48.3	44.0	8.6	62.3	45.1	57.1	8.3	0.3	6.3
30歳未満	41	48.8	22.0	19.5	75.6	53.7	61.0	7.3	0.0	4.9
30歳代	64	54.7	31.3	3.1	60.9	53.1	50.0	9.4	0.0	1.6
40歳代	55	52.7	43.6	7.3	69.1	47.3	41.8	10.9	0.0	1.8
50歳代	54	50.0	53.7	11.1	68.5	42.6	57.4	11.1	1.9	7.4
60歳代	65	49.2	52.3	7.7	63.1	44.6	56.9	9.2	0.0	6.2
70歳以上	70	37.1	54.3	7.1	45.7	34.3	74.3	2.9	0.0	12.9

### Ⅲ 団体調査結果

#### (1) 団体の属性

##### ■団体の種類

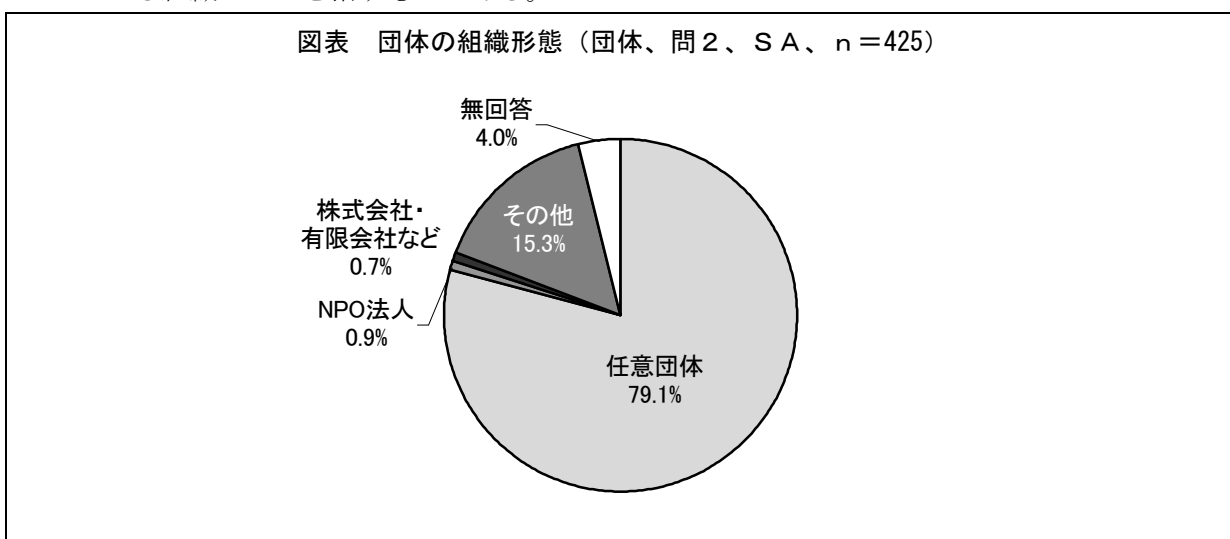
団体の種類としては、「地域のスポーツチームや同好会」が最も多く 66.0%、その他の回答はすべて 1 割未満となっている。



##### ■団体の組織形態

「任意団体」との回答が 79.1%と大半を占める。NPO法人は 0.9%と少ない。

※ここでの「組織」とは、団体が所属する親組織の形態ではなく、あくまでスポーツ施設に登録している組織のことを指すものである。

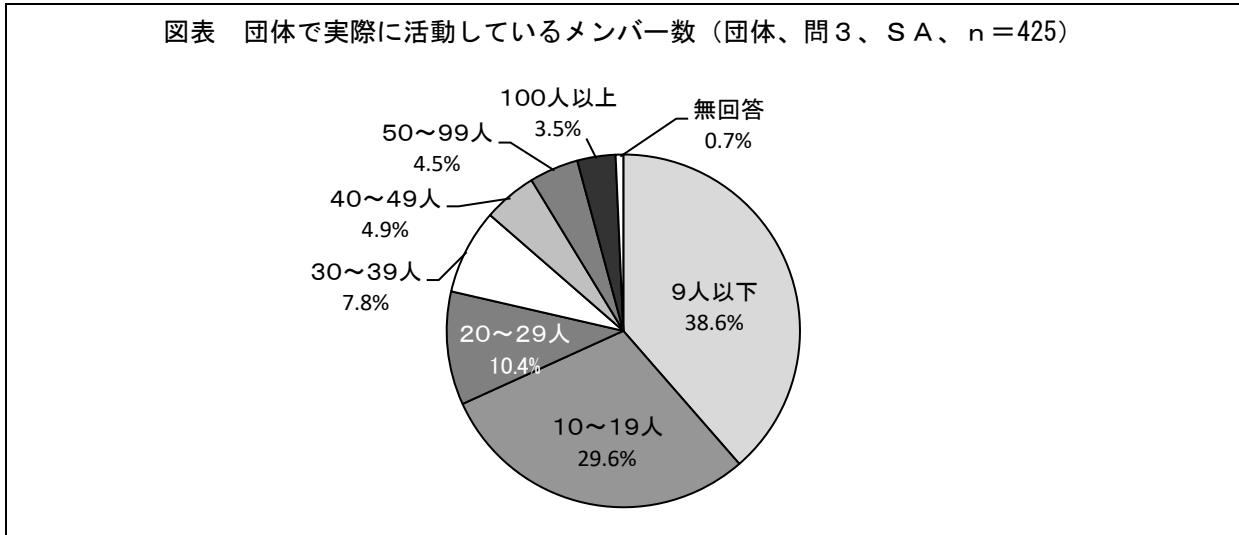


### Ⅲ 団体調査結果

#### (2) 団体の活動状況

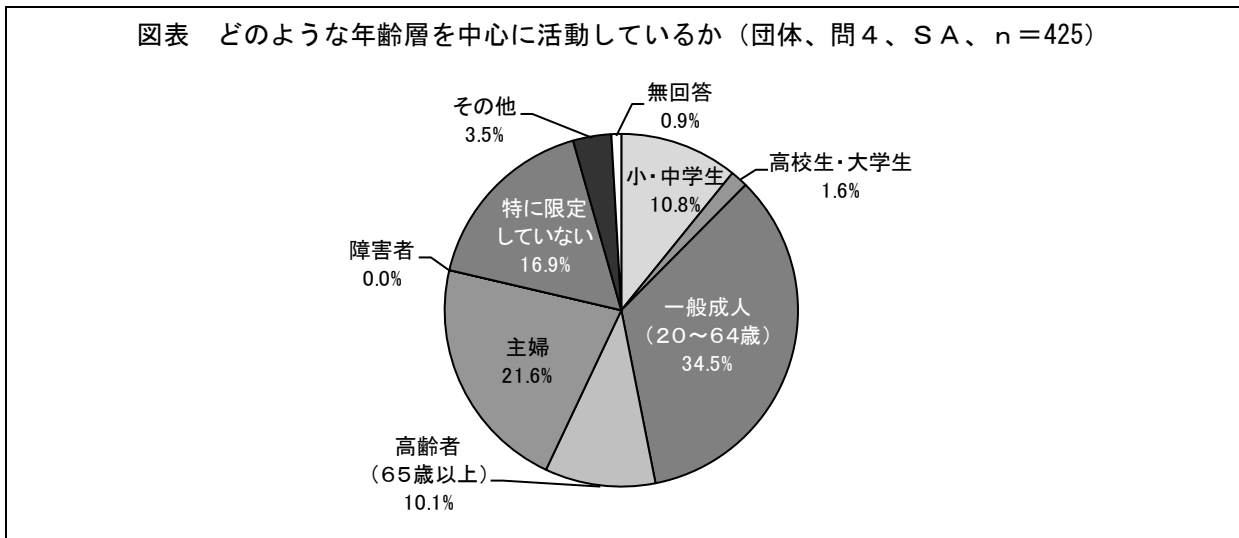
##### ■活動人数（メンバー数）

団体で実際に活動しているメンバーの数について、「9人以下」との回答が最も多く 38.6%となっている。次いで、「10～19人」が29.6%、「20～29人」が10.4%と、大規模な人数になるほど割合が少なくなっている。



##### ■中心となる活動年齢層

「一般市民」との回答が最も多く 34.5%、次いで、「主婦」が21.6%、「特に限定していない」が16.9%となっている。小・中学生、高齢者はそれぞれ約1割となっている。





**■団体として活動を始めた経緯**

（団体、問5、自由記述）

主に、ある特定の運動やスポーツが好きな人が集まり、趣味、健康維持や運動不足解消として活動し始めたという経緯が多く挙げられた。友人同士や主婦仲間、部活のOBやマンションの住民同士など、身近な人と集まって活動し始めた団体が多い。

特に、幼稚園や学校など、子どもを通じたつながり、定年退職後などにできた地域のつながり、市などが運営する教室・講座などでのつながりを通じて、団体として活動を始める経緯が目立った。

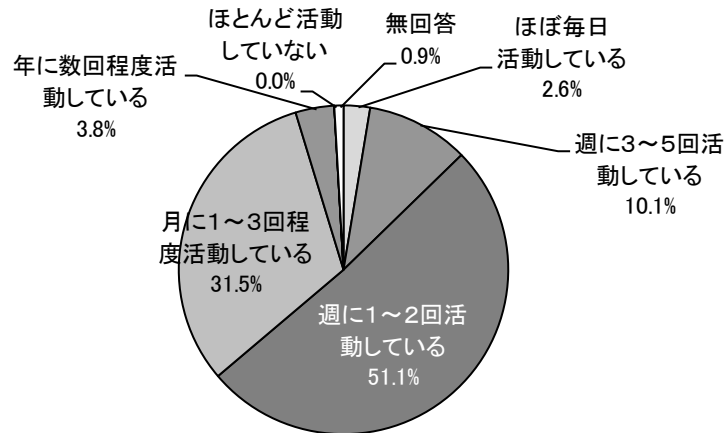
### Ⅲ 団体調査結果

#### ■活動頻度

活動頻度については、「週に1～2回活動している」が最も多く約5割を占めている。次いで、「月に1～3回程度活動している」との回答は31.5%となっている。

週に1回以上活動している団体は全体の63.8%となっている。

図表 実際の活動頻度（団体、問6、SA、n=425）

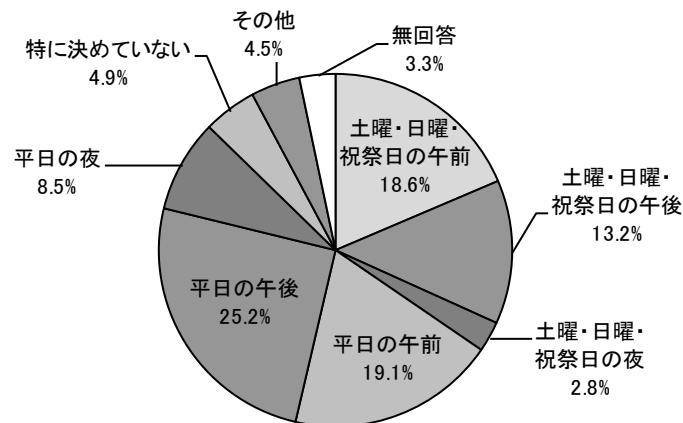


#### ■活動時間帯

主な活動時間に関して、最も多いのは、「平日の午後」25.2%、次いで「平日の午前」19.1%、「土曜・日曜・祝祭日の午前」が18.6%となっている。

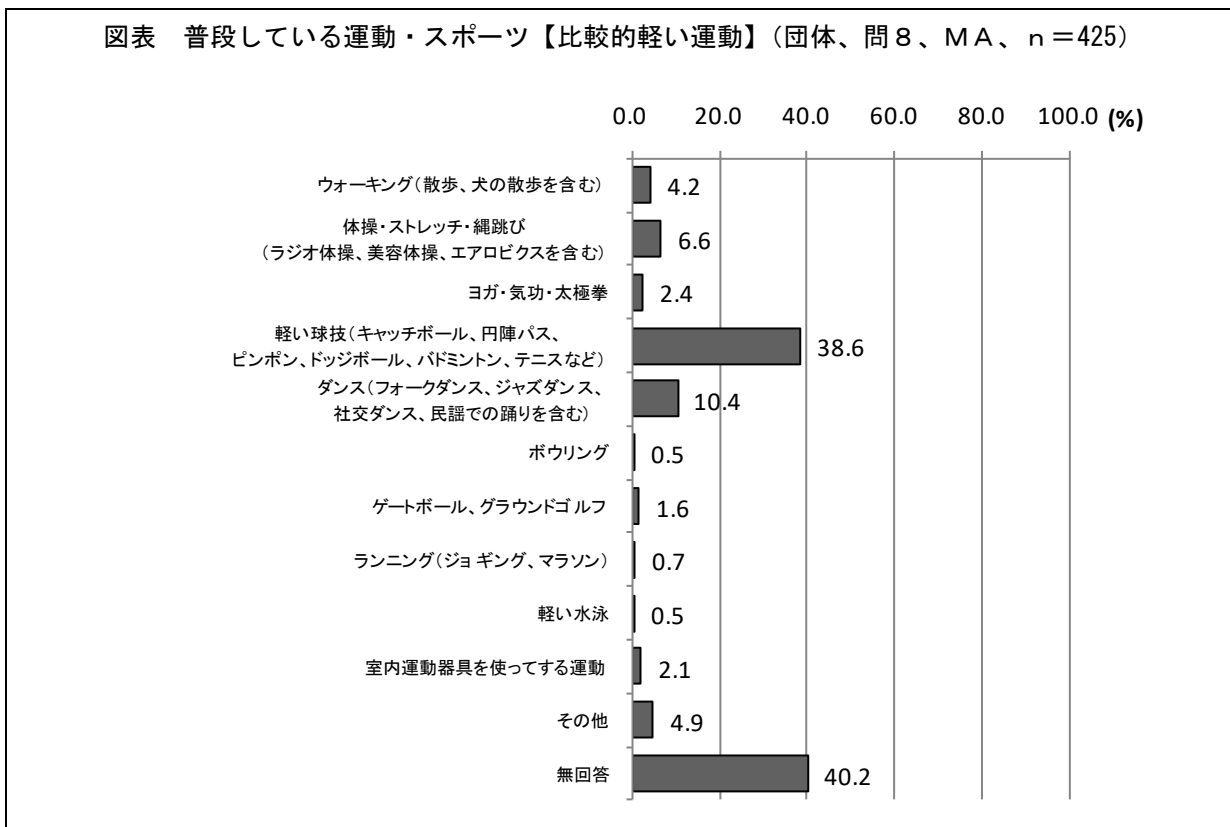
平日に活動している団体は全体の52.8%、また、休日に活動している団体は全体の34.6%という結果になっている。

図表 主な活動時間帯（団体、問7、SA、n=425）



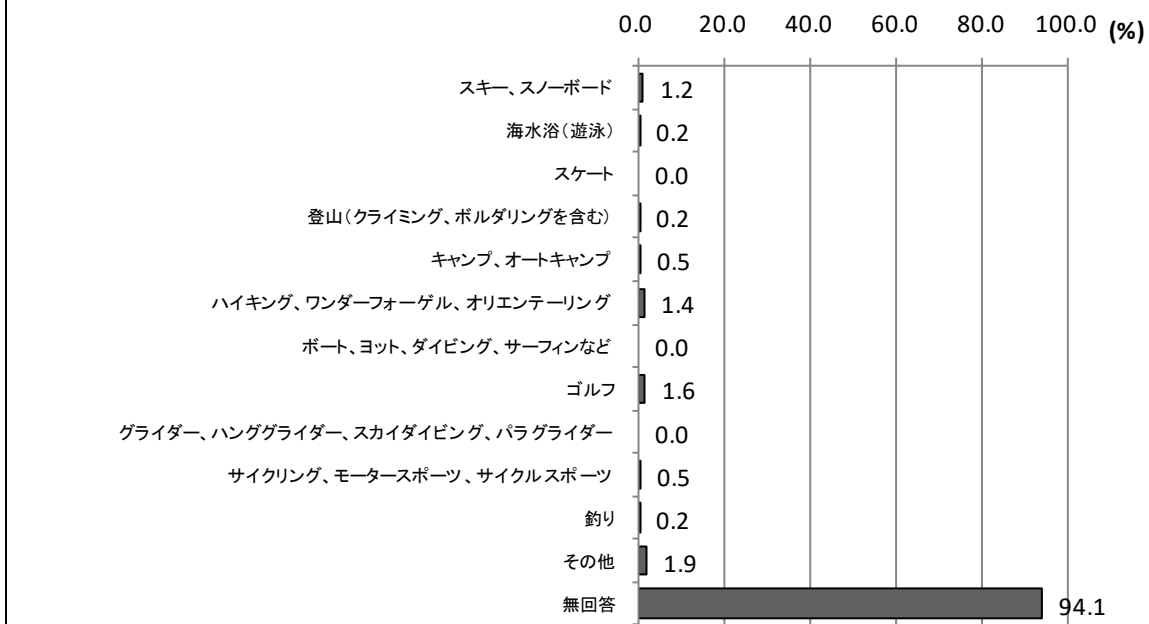
### ■主な運動・スポーツ活動

団体が普段している運動・スポーツについては、「軽い球技」と答えた団体が最も多く 38.6% となっている。次いで、「テニス・ソフトテニス」が 33.4%、「ダンス」が 10.4%と続く。比較的軽い運動や、競技的スポーツへの回答が多い。

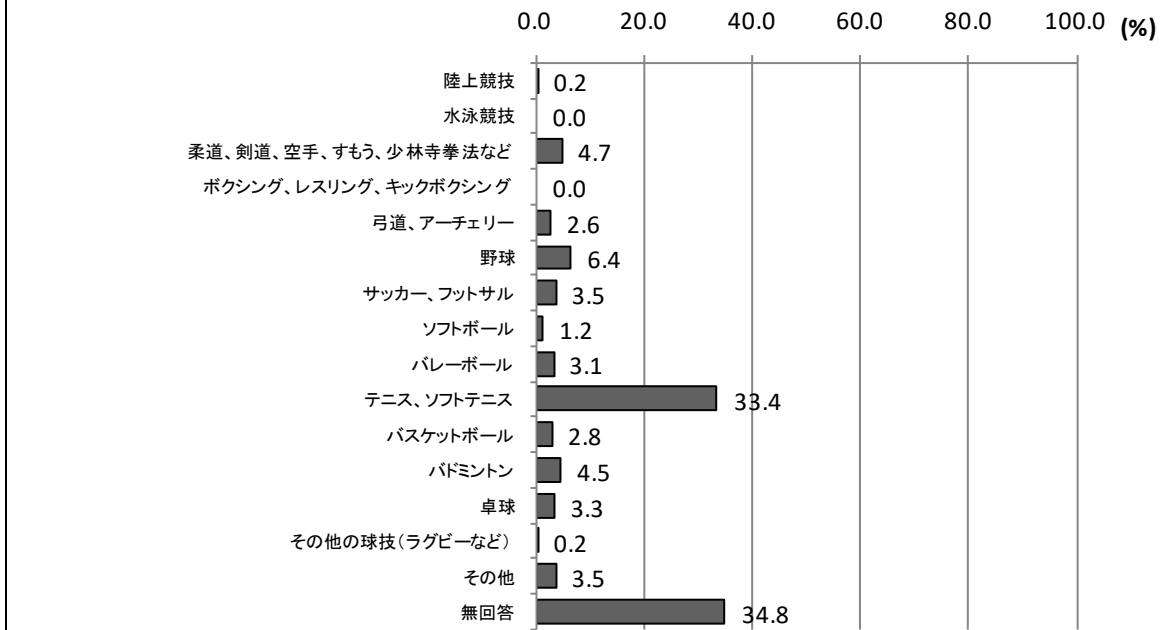


Ⅲ 団体調査結果

図表 普段している運動・スポーツ【比較的広域にわたるスポーツ】(団体、問8、MA、n=425)

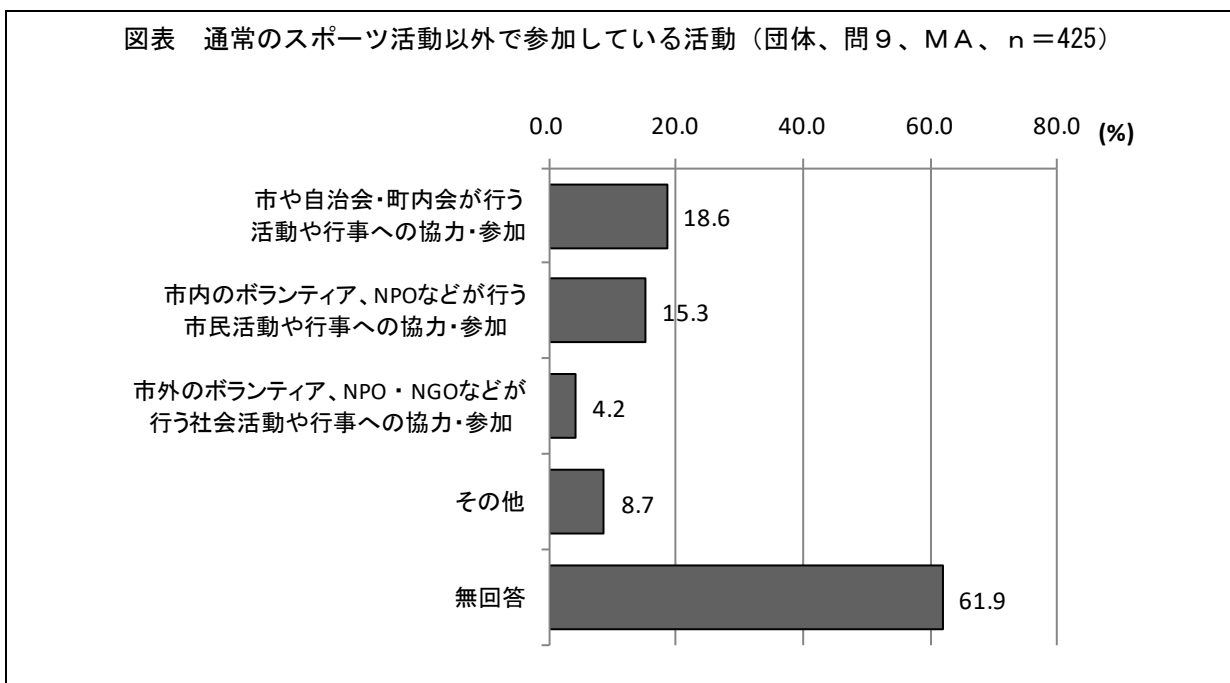


図表 普段している運動・スポーツ【競技的スポーツ】(団体、問8、MA、n=425)



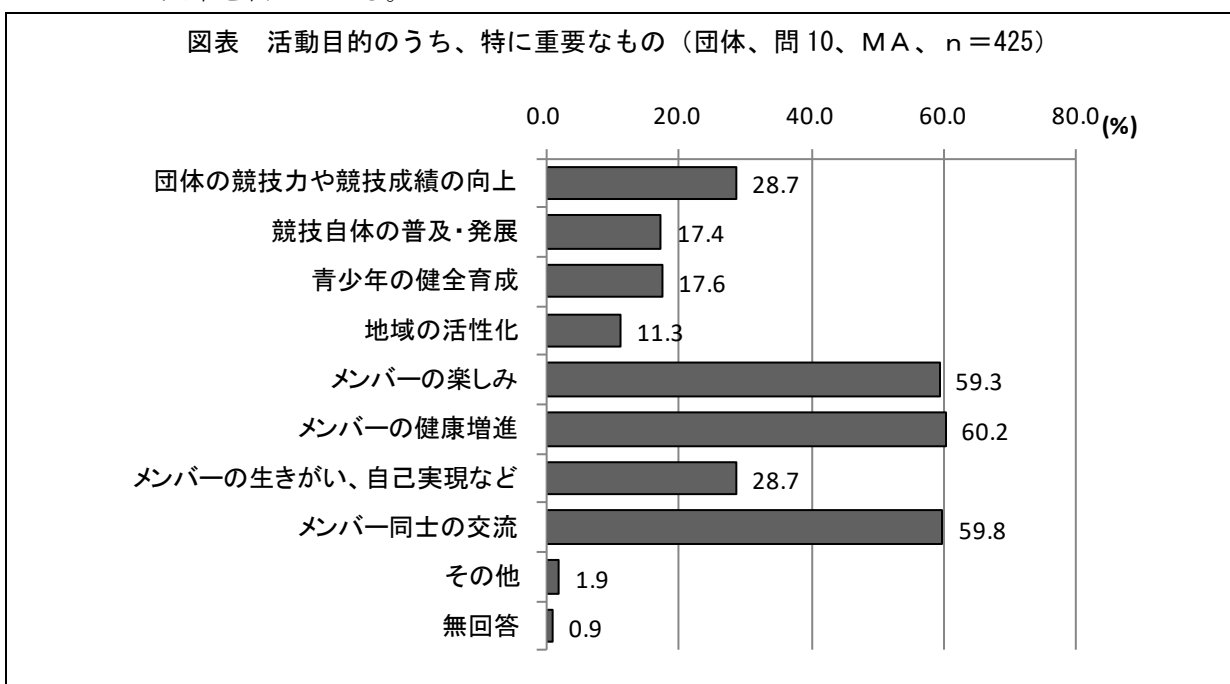
### ■スポーツ以外の活動

通常のスポーツ活動以外での参加は、「無回答」(参加していない)が約6割と最も多い結果となっている。次いで、「市や自治会・町内会が行う活動や行事への協力・参加」18.6%、「市内のボランティア、NPOなどが行う市民活動や行事への協力・参加」15.3%と続いている。



### ■重視している活動目的

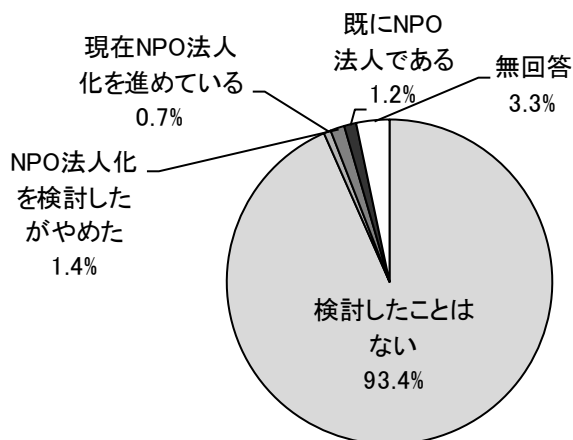
重視している活動目的としては、「メンバーの健康増進」が最も多く60.2%、また、「メンバー同士の交流」59.8%、「メンバーの楽しみ」59.3%という結果になっている。いずれも約6割と、この3つが大半を占めている。



### ■ NPO法人化の検討

NPO法人化の検討については、「検討したことはない」との回答が大半で、9割を超えている。

図表 NPO法人化を検討しているか（団体、問 11、S A、n=425）

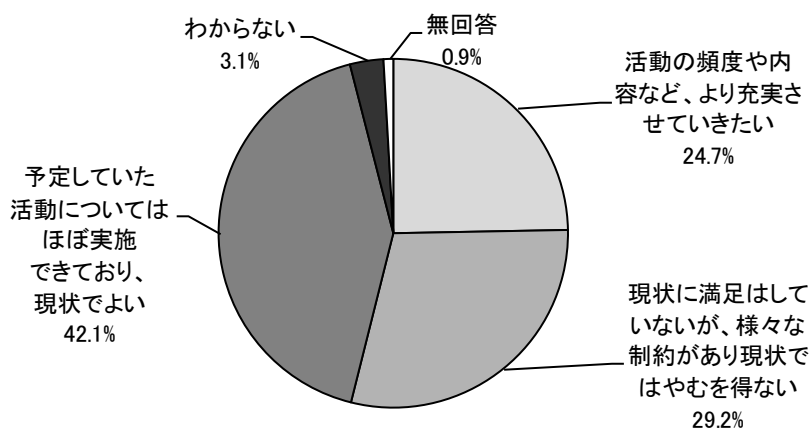


### ■ 活動状況

現在の活動状況については、「予定していた活動についてはほぼ実施できており、現状でよい」と回答した団体は 42.1%と最も多い。

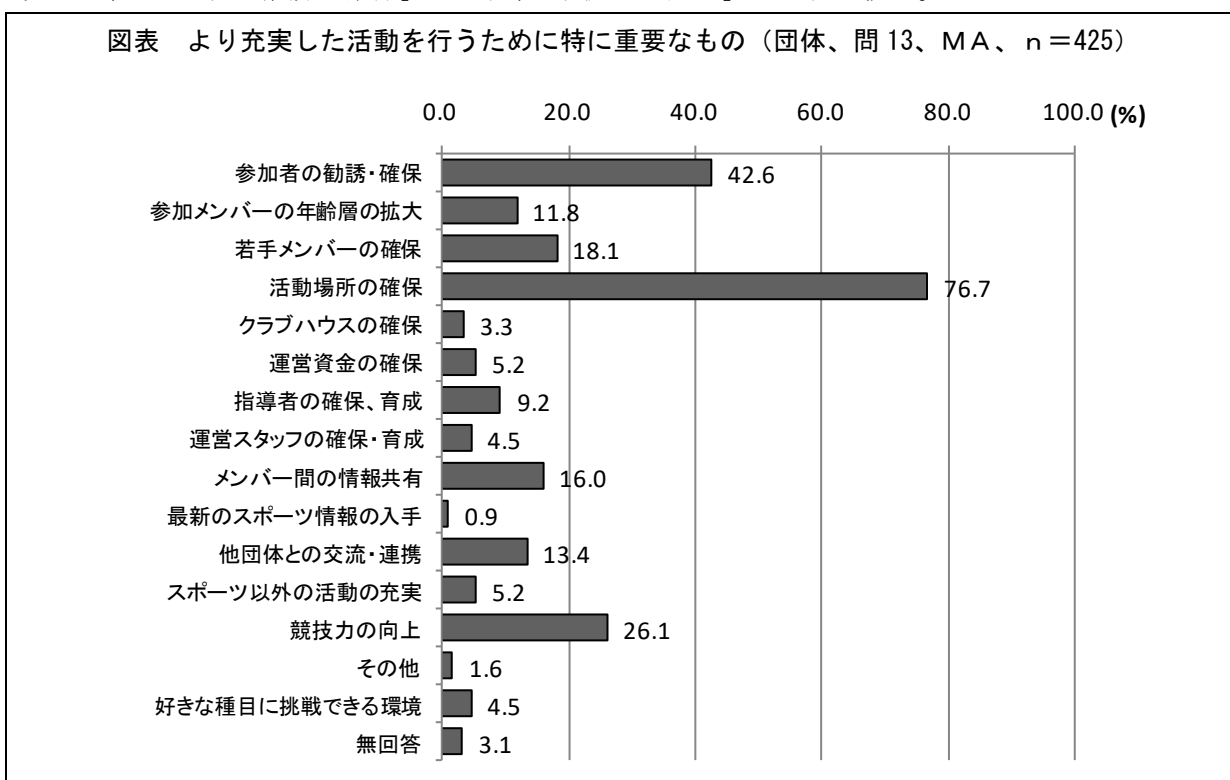
「現状に満足していないが、様々な制約があり現状ではやむを得ない」との回答が 29.2%、次いで、「活動の頻度や内容など、より充実させていきたい」との回答が 24.7%と、現状では満足していない団体は、全体の約 5割を占めていることがわかる。

図表 活動状況（団体、問 12、S A、n=425）



### ■より充実した活動の実現へ向けて

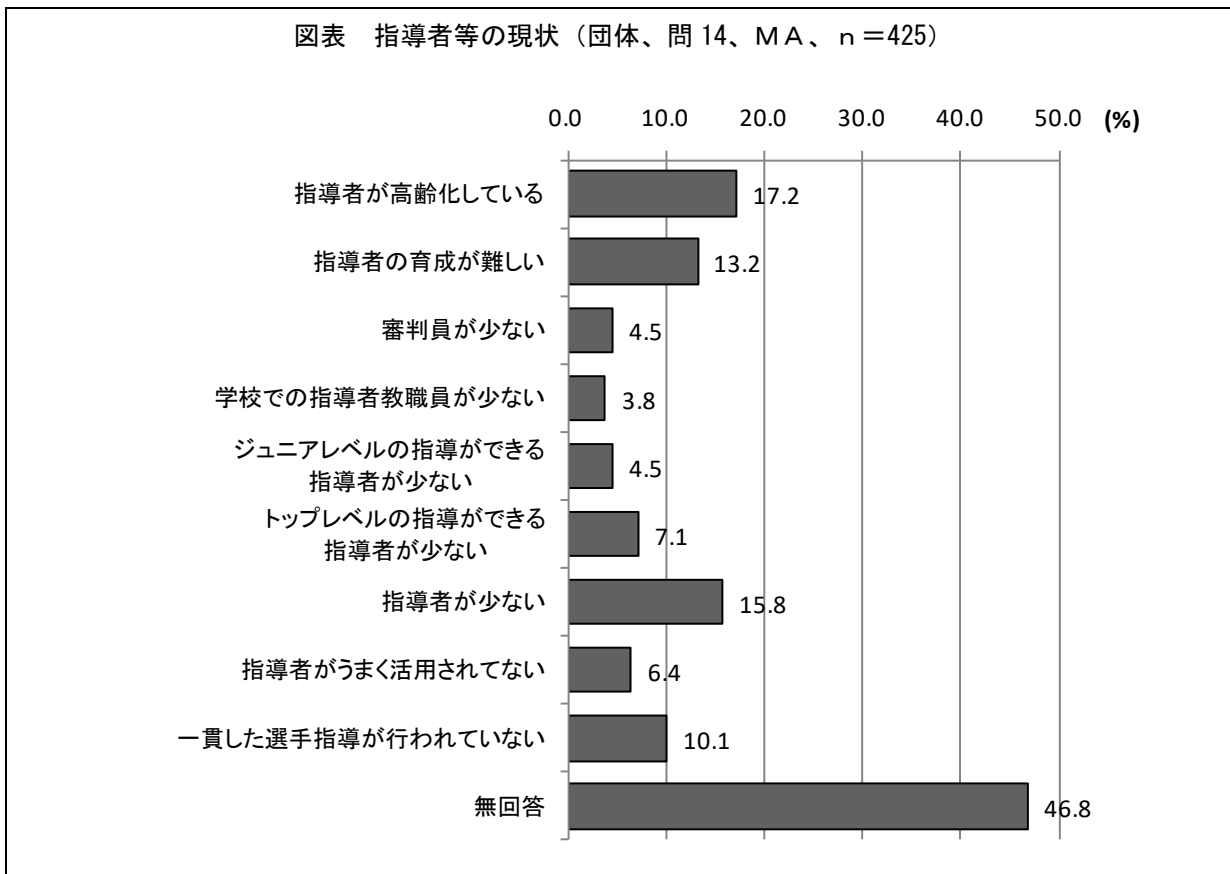
より充実した活動の実現に向けては、「活動場所」との回答が最も多く、76.7%となっている。次いで、「参加者の勧誘・確保」42.6%、「競技力の向上」26.1%と続く。



Ⅲ 団体調査結果

■指導者等の現状

指導者等に関する現状では、「指導者が高齢化している」と答えた団体が最も多く 17.2%となっている。また、「指導者が少ない」との回答が 15.8%、「指導者の育成が難しい」が 13.2%と続いている。





### (3) スポーツ施設の利用状況

#### ■市立施設の利用頻度

市立施設の利用頻度については、いずれの施設も「無回答」が多い。

利用状況としては、施設を「ほとんど利用しない」団体が多く、25～40%前後という結果になっている。利用頻度が最も多い施設は「ひばりが丘総合運動場」で、年に数回以上利用している団体の合計は約3割となっている。

図表 市立施設の利用頻度（団体、問15、MA、n=425）

	n	ほぼ毎日	週に3～5回	週に1～2回	月に1～3回	年に数回	ほとんど利用しない	無回答
スポーツセンター	425	0.2	0.9	5.6	8.7	6.8	28.7	48.9
南町スポーツ・文化交流センターきらっと	425	0.2	0.2	6.1	9.2	8.9	27.8	47.5
総合体育館	425	0.2	0.7	3.1	2.8	6.4	34.6	52.2
武道場	425	0.7	2.6	4.5	2.6	2.1	39.3	48.2
東町テニスコート	425	0.0	0.9	4.9	9.9	6.1	32.2	45.9
芝久保第二運動場	425	0.0	0.9	9.4	8.0	4.7	32.0	44.9
芝久保運動場	425	0.0	0.0	0.5	4.5	2.6	39.3	53.2
健康広場	425	0.0	0.0	1.6	1.4	1.9	40.5	54.6
ひばりが丘総合運動場	425	0.0	0.7	8.0	13.9	12.9	24.7	39.8
北原運動場	425	0.0	0.2	0.9	1.4	1.2	40.5	55.8
市民公園グラウンド	425	0.0	0.0	0.7	3.1	2.8	38.6	54.8
向台運動場	425	0.0	0.0	0.7	2.6	5.2	37.6	53.9

### ■今後市内に整備されたら利用してみたいスポーツ施設

(団体、問 16、自由記述)

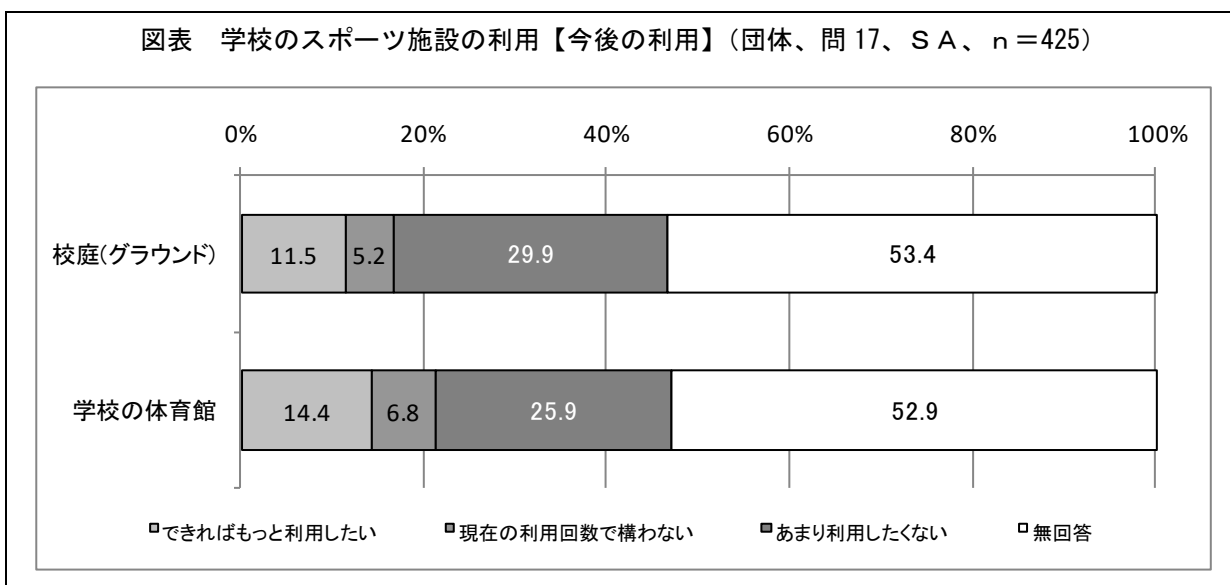
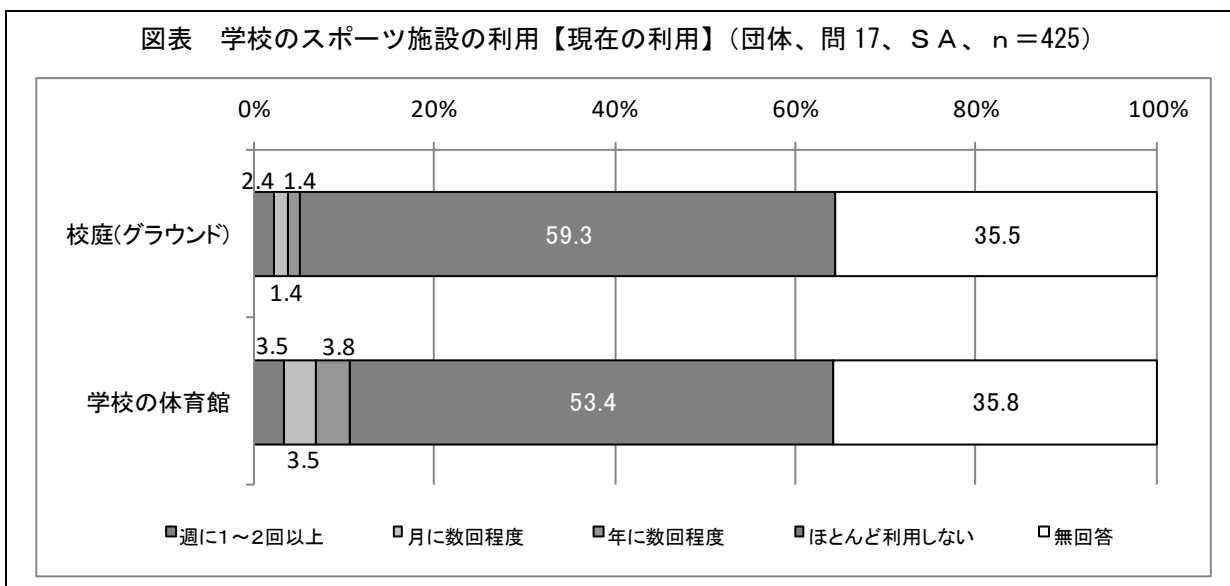
回答団体にテニスサークルが多いことから、テニスコートと回答した団体が多い。中でも、夜にも活動できるような屋内テニスコートや、ナイター照明装置がついたテニスコートなどの要望が多かった。

また、鏡のあるスタジオや、フットサルが利用可能な体育館などへの要望、施設の予約のしやすさ、駐車料金の安さなどについての要望も目立った。

## ■学校施設の利用

学校施設に関して、現在の利用状況については、「ほとんど利用しない」と回答した団体が最も多い。

一方で、今後の利用に関して「あまり利用したくない」が全体の2割以上と、消極的な意見が多いが、「できればもっと利用したい」との回答が全体の1割以上と、積極的に利用したいと思っている団体も多いことがわかる。



### Ⅲ 団体調査結果

#### ■市立施設の評価

市の市立施設について、利用開始時間、利用終了時間、利用時間、休館日、予約手続きの視点から、○（よい）、△（普通）、×（よくない）など、利用した際の印象を記入してもらったところ、以下のような結果となった。

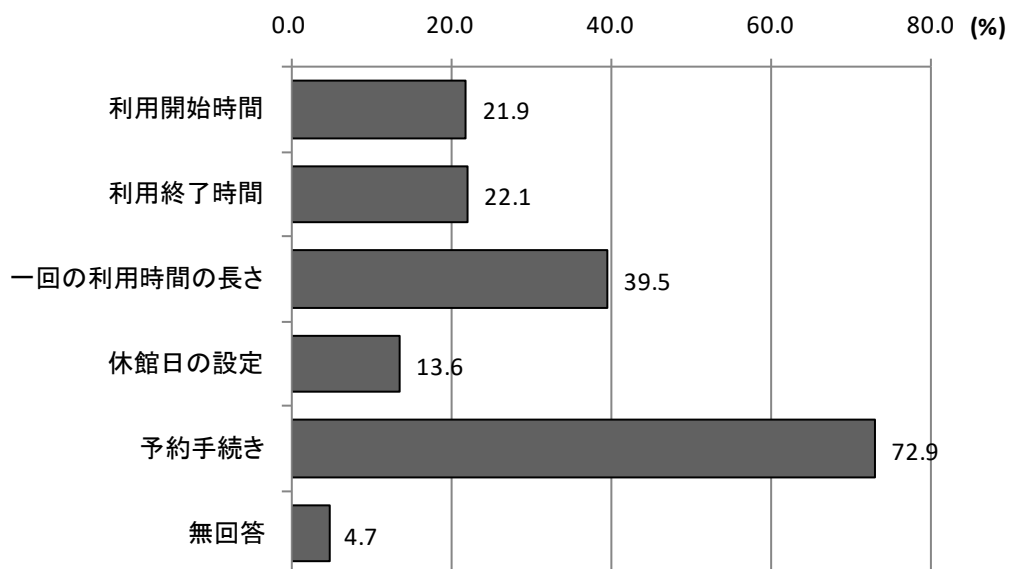
（団体、問 18）

○全体的には、スポーツセンター、南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」、東町テニスコート、ひばりが丘総合運動場を利用する団体が多いためか、記入が多い傾向が見られた。また、全体的によいとの回答が5割以上を占めている。よくないとの回答が比較的多い項目は、利用終了時間と予約手続きであった。

■公共スポーツ施設の利用における重要な要因

公共スポーツ施設の利用の上で重要なこととしては、「予約手続き」と回答した団体が最も多く72.9%となっている。次いで、「一回の利用時間の長さ」が39.5%と続く。

図表 公共スポーツ施設を利用する上で重要だと考える要因（団体、問19、MA、n=425）



### ■学校施設を利用する際に気づいたこと

(団体、問 20、自由記述)

特に多かった意見は、学校施設を利用していないから分からない、または施設の利用方法を知らないというものであった。

また、学校施設の備品が揃っていない、清掃道具が不足している、施設やトイレなどが汚いなどが挙げられた。要望としては、テニスコートや校庭などの開放、予約手続きの簡易化などが目立った。

## ■学校施設を除く市立施設を利用する際に気づいたこと

(団体、問 21、自由記述)

施設の駐車場が少ない、あるいは駐車料金が低いという意見が最も多かった。

また、予約が出来ない、抽選がなかなか当たらないなど、そもそも利用したくてもできないという意見も目立った。その他、予約システムの改善・統一化、テニスコートの増設・芝生化、利用時間の改善などの要望なども多かった。

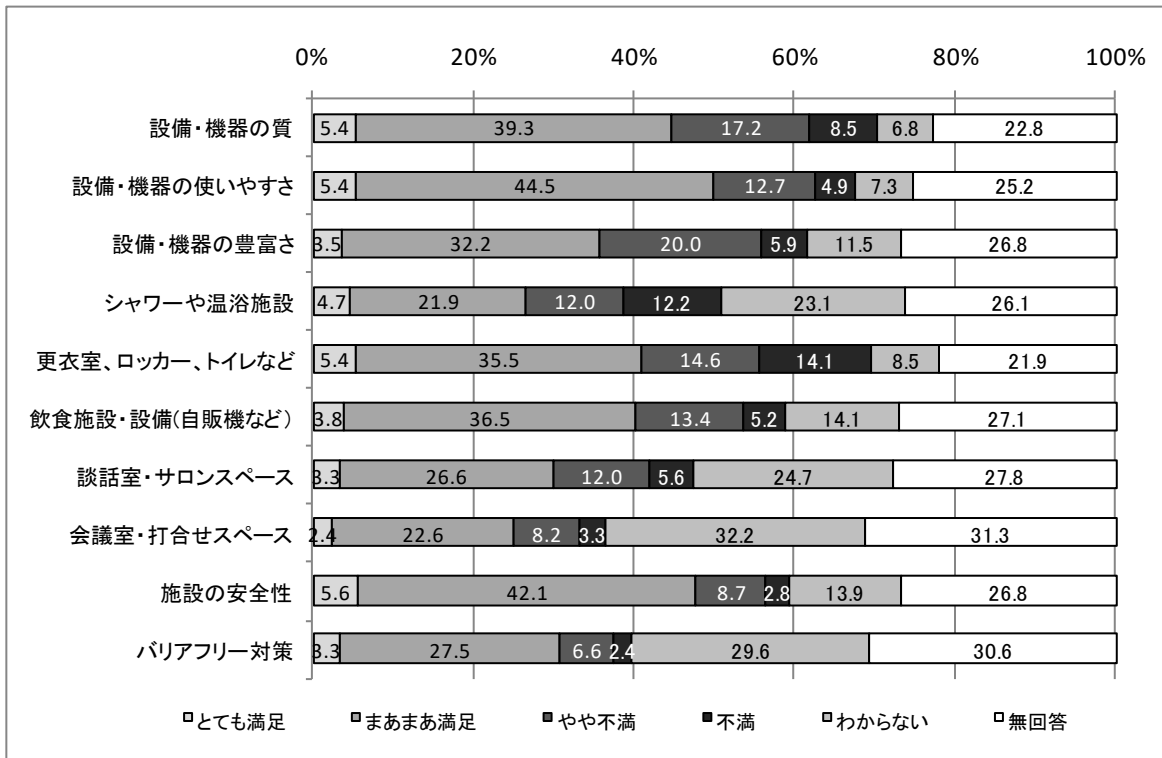
## ■市立施設の付帯施設・設備などの評価

施設施設の付帯施設・設備等の評価について、重要度(「とても重要」「まあまあ重要」の合計)が高く、かつ満足度(「とても満足」「まあまあ満足」の合計)が高いものは、「設備・機器の使いやすさ」「施設の安全性」となっている。

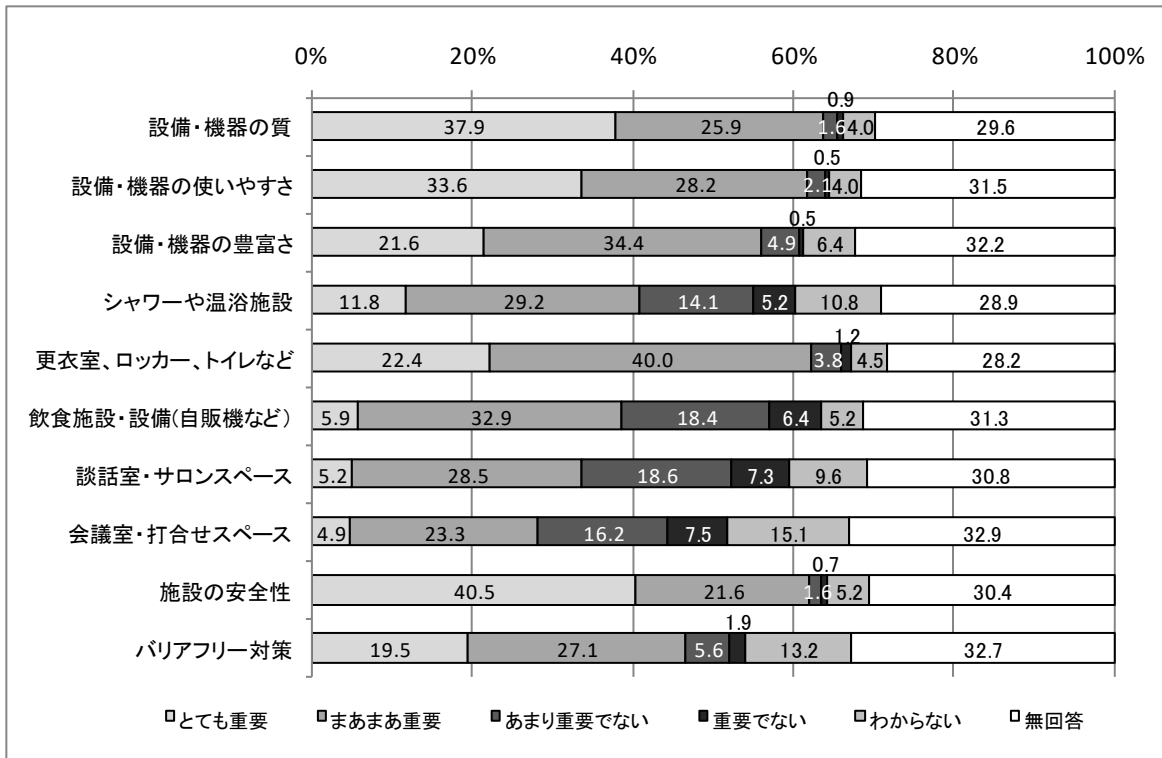
一方、重要度が高く、かつ不満度(「やや不満」「不満」の合計)が比較的高いものは、「設備・機器の質」、「更衣室、ロッカー、トイレ等」である。

Ⅲ 団体調査結果

図表 市立施設の付帯施設・設備の評価（団体、問 22、S A、n=425）



図表 市立施設の付帯施設・設備の重要性（団体、問 22、S A、n=425）



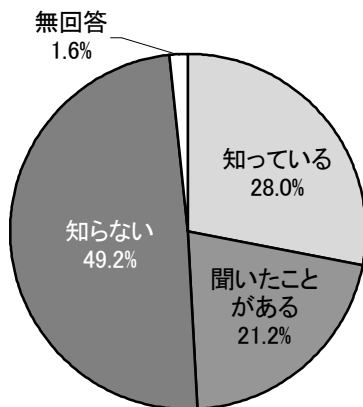


#### (4) 総合型地域スポーツクラブについて

##### ■総合型地域スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブの認知度は、一般市民の回答と同様に、「知らない」との回答が最も多く約5割となっている。

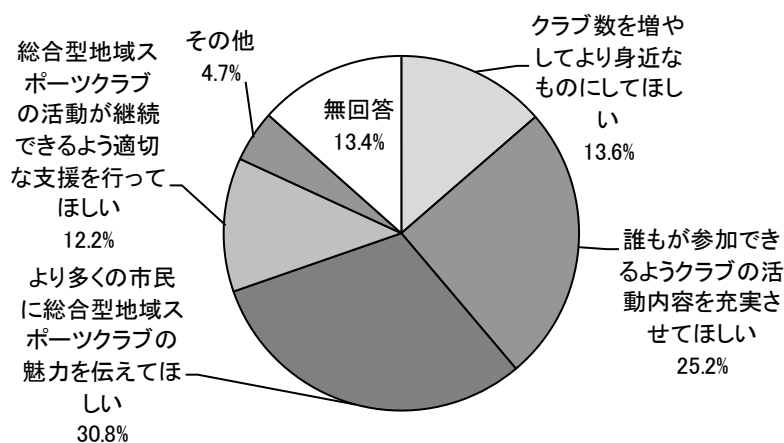
図表 総合型地域スポーツクラブの認知度（団体、問 23、S A、n=425）



##### ■総合型地域スポーツクラブの育成について

総合型地域スポーツクラブの育成については、「より多くの市民に総合型地域スポーツクラブの魅力を伝えてほしい」との回答が最も多く 30.8%、次いで「誰もが参加できるようにクラブの活動内容を充実させてほしい」が 25.2%と、一般市民の回答と同様の結果となっている。

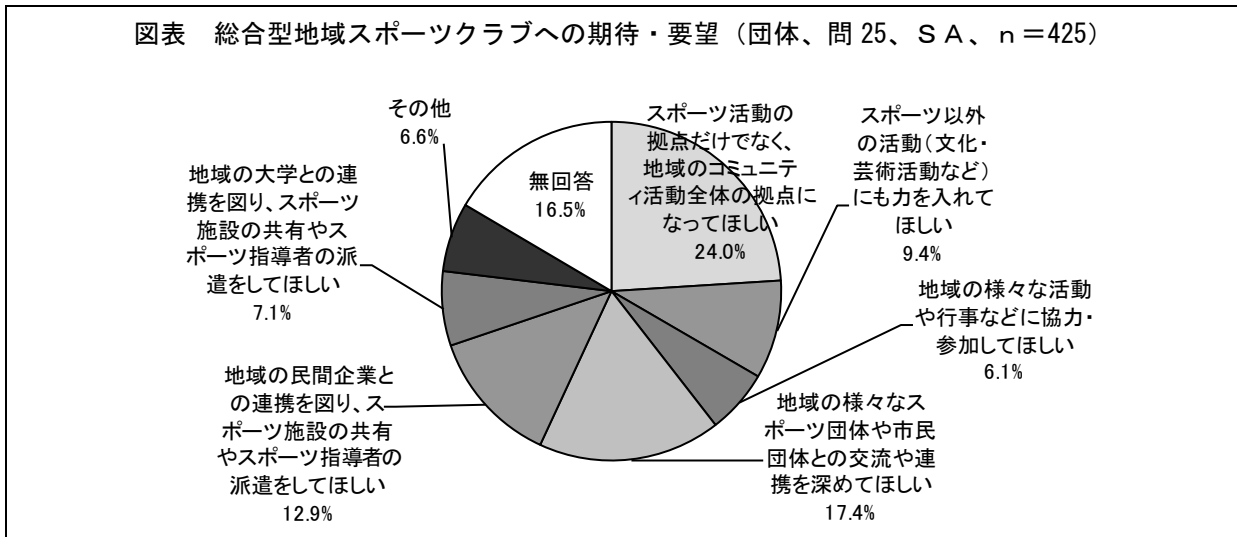
図表 総合型地域スポーツクラブ育成についての意見（団体、問 24、S A、n=425）



### Ⅲ 団体調査結果

#### ■総合型地域スポーツクラブへの期待・要望

総合型地域スポーツクラブについて、「スポーツ活動の拠点だけでなく、地域のコミュニティ活動全体の拠点になってほしい」との回答が 24.0%、「地域の様々なスポーツ団体や市民団体との交流や連携を深めてほしい」については 17.4%などが多く、地域団体や市民とのつながりの場になってほしいとの期待を抱いていることがわかる。

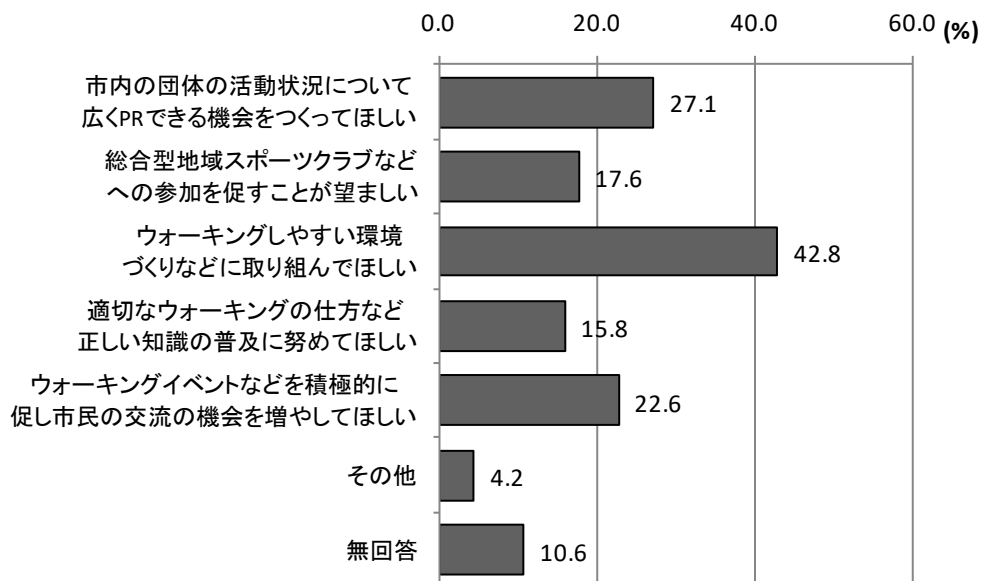


(5) 団体間の連携などについて

■健康への関心が高まる市民に向けて

健康への関心が高くなり、ウォーキングをしている市民が増えている中、運動やスポーツに取り組みたいと考えている市民への支援について、「ウォーキングしやすい環境づくりなどに取り組んでほしい」との意見が最も多く 42.8%となっている。次いで、「市内の団体の活動状況について広くPRできる機会をつくってほしい」が 27.1%、「ウォーキングイベントなどを積極的に促し市民の交流の機会を増やしてほしい」が 22.6%となっている。

図表 ウォーキング等の運動・スポーツに取り組みたい市民への支援（団体、問 26、MA、n=425）

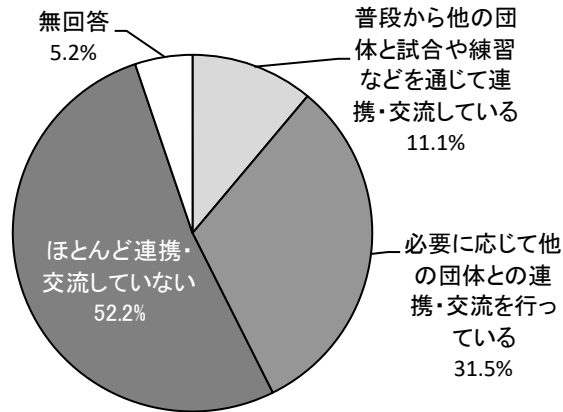


### Ⅲ 団体調査結果

#### ■他団体との連携や交流

他団体との連携や交流について、現状としては「ほとんど連携・交流していない」団体が 52.2%と、最も多い結果となっている。次いで、「必要に応じて他の団体との連携・交流を行っている」団体が 31.5%となっており、積極的に連携・交流をしている団体は少ないことがわかる。

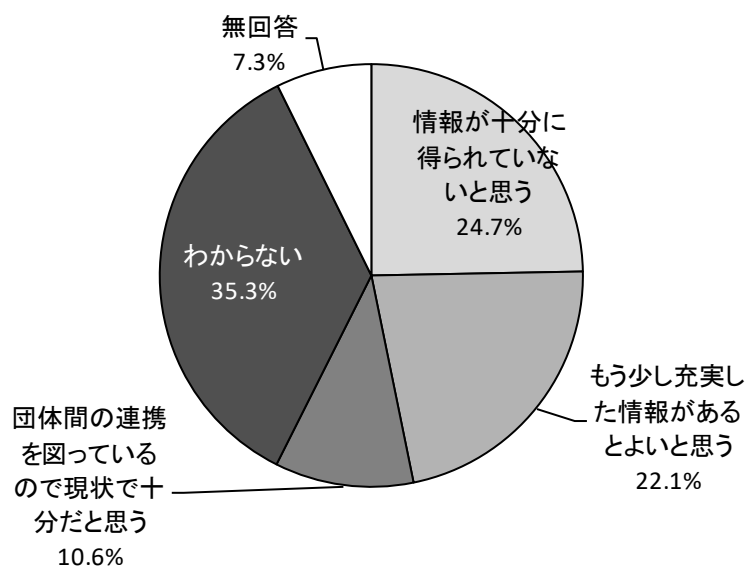
図表 市内で活動している他の団体などと連携や交流（団体、問 27、S A、n=425）



#### ■他の団体などの情報について

他の団体等の情報について、「わからない」が最も多く 35.3%、次いで「情報が十分に得られていないと思う」が 24.7%、「もう少し充実した情報があるとよいと思う」が 22.1%となっている。

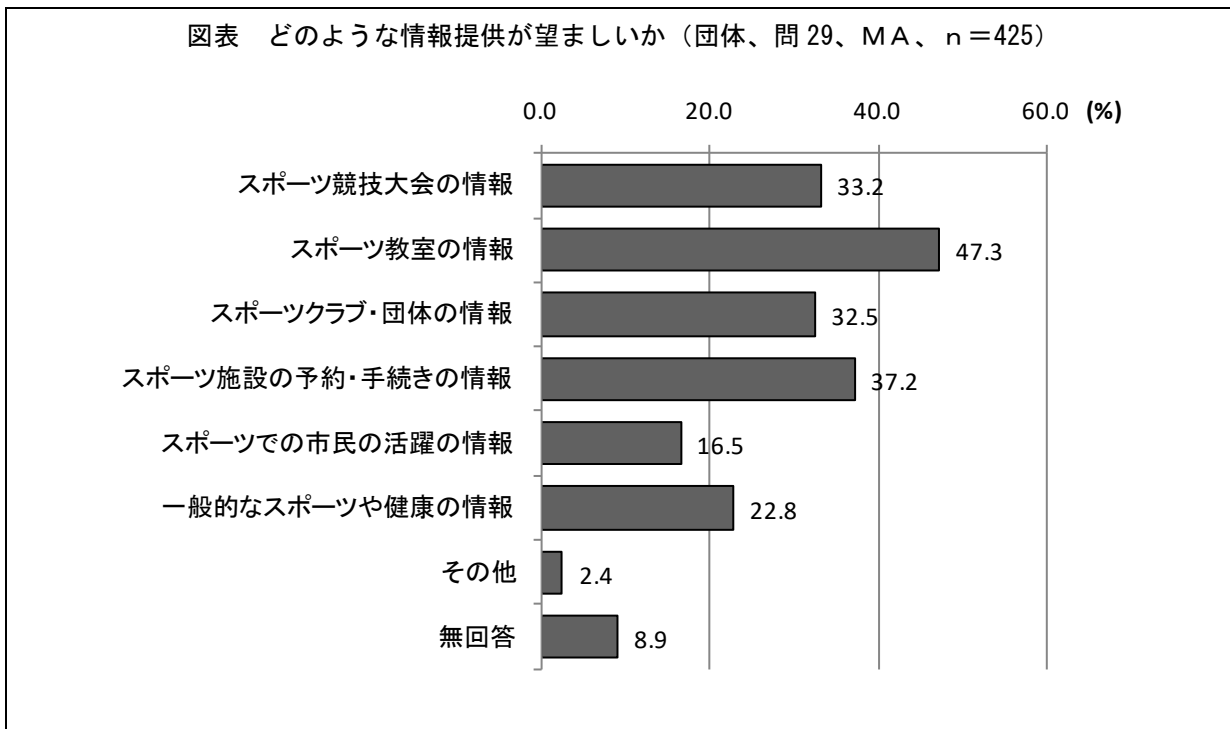
図表 市内で活動している他の団体などの情報について（団体、問 28、S A、n=425）



(6) 市の取組みについて

■スポーツに関する情報提供

スポーツに関する情報提供については、「スポーツ教室の情報」への要望が最も多く、47.3%となっており、次いで、「スポーツ施設の予約・手続きの情報」が37.2%、「スポーツ競技大会の情報」が33.2%、「スポーツクラブ・団体の情報」が32.5%と続く。

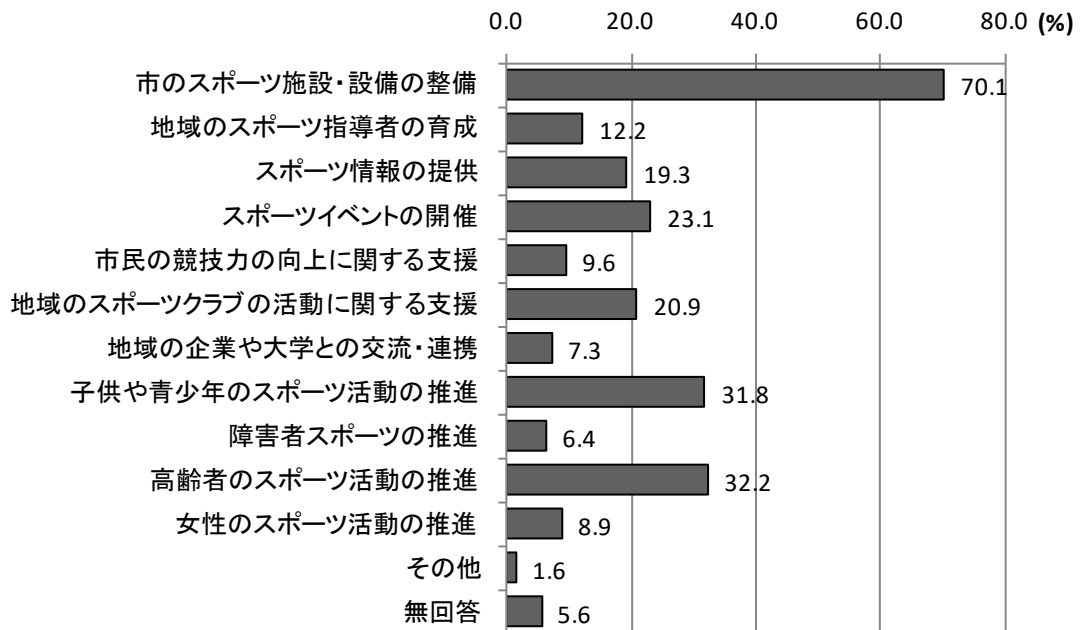


### Ⅲ 団体調査結果

#### ■スポーツ分野に関する取組みのこれから

今後どのようなスポーツの分野について重点的な取組みを進めていくべきか、という質問に対して、「市のスポーツ施設・設備の整備」と答えた団体が最も多く70.1%となっている。次いで、「高齢者のスポーツ活動の推進」が32.2%、「子どもや青少年のスポーツ活動の推進」が31.8%となっている。

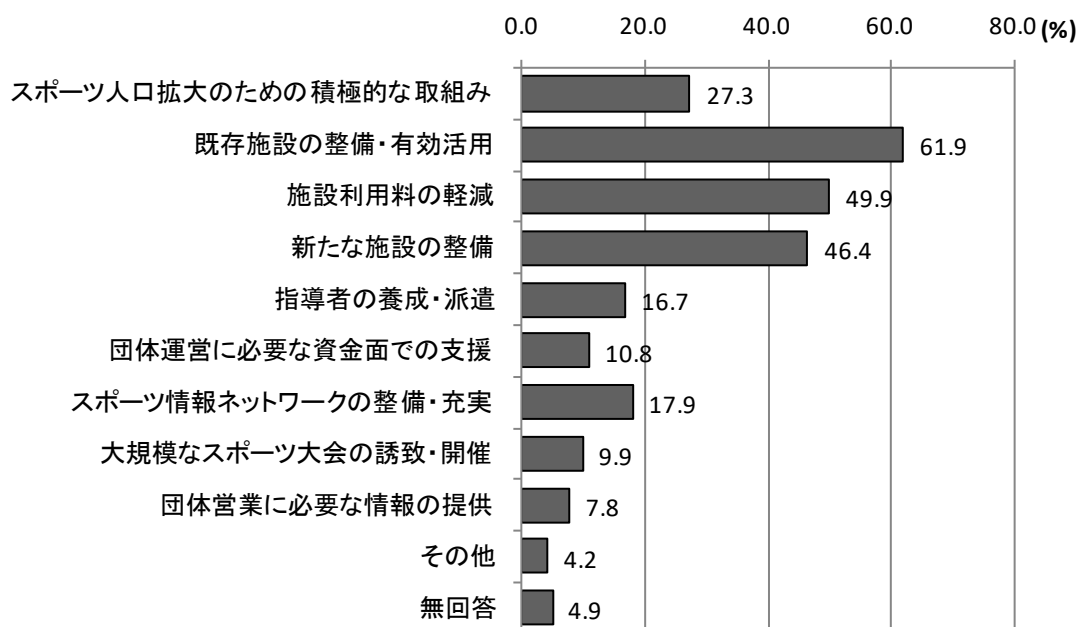
図表 今後のスポーツ分野に関する重点的な取組みについて（団体、問30、MA、n=425）



### ■市が早急に取り組むべきこと

市が早急に取り組むべきこととしては、「既存施設の整備・有効活用」との回答が 61.9%と最も多く、次いで「施設利用料の軽減」49.9%、「新たな施設の整備」46.4%となっている。

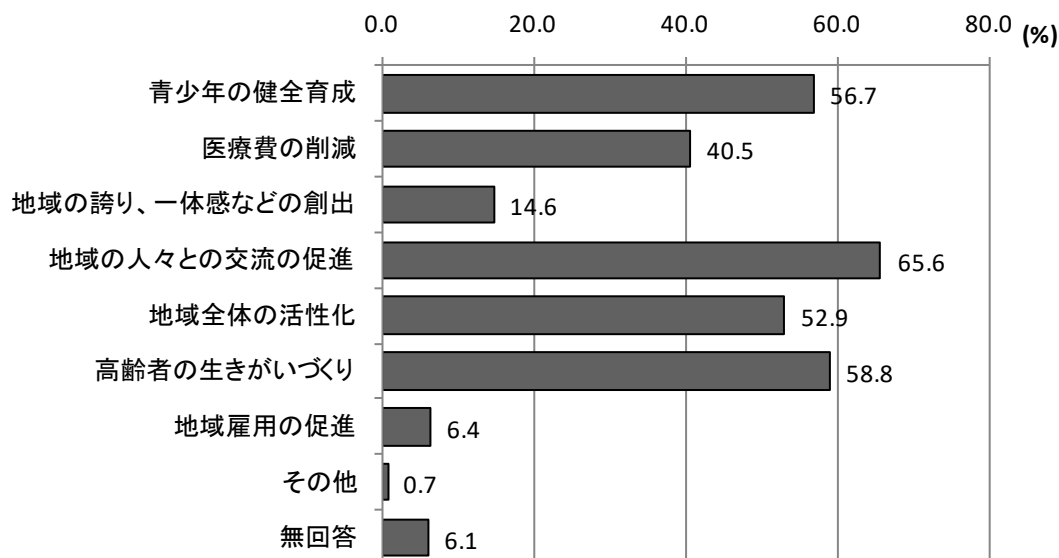
図表 今後のスポーツ振興のため、早急に取り組むべきこと（団体、問 31、MA、n=425）



### ■スポーツの振興と地域貢献

スポーツの振興が与える地域への貢献については、「地域の人々との交流の促進」との回答が最も多く 65.6%、次いで、「高齢者の生きがいづくり」58.8%、「青少年の健全育成」56.7%などとなっている。

図表 地域でのスポーツ振興はどのように地域に貢献するか（団体、問 32、MA、n=425）



### Ⅲ 団体調査結果



## IV 調査結果のまとめ

### 1 市民のスポーツ実施状況

市民のスポーツ実施状況については、前回調査と比較して、全般的に軽度な身体活動を中心にスポーツの普及が進んでいることが把握された。その一方で、ライフステージ別で、スポーツの実施状況やニーズの違いが見られ、今後より一層、生涯スポーツを推進していくためには、それぞれのライフステージに応じたスポーツ機会の提供を行っていくことが重要と考えられる。

そのため、以下では、子ども、一般市民、高齢者、それぞれの実施状況やニーズ、課題などを整理した。

#### (1) 子どものスポーツ活動

##### ◎子どものスポーツ活動の実施頻度は横ばい、女子でスポーツをしない傾向が顕著

前回調査（平成16年度）と比較すると、子どものスポーツ実施頻度は概ね横ばいか若干の増加傾向が見られる。

一方、子どもの運動の好き嫌いや実施状況を男女別で見ると、男子より女子でスポーツをしない傾向が顕著に見られる。

⇒ 参照 II-2-(1)、3-(2)、3-(3)

##### ◎子どもの頃から運動に親しむことの重要性

一般市民の意識調査においても、現在のスポーツ実施頻度別に、中学生や高校生の頃の運動経験の有無をみると、現在全く運動を行っていない人に、運動経験が無い人が多い傾向が見られる。

このような、子どもの頃運動やスポーツに親しんでいた人は、大人になってからもスポーツをする傾向が高いことは、「持ち越し効果」などと言われ、他でも確認されている。

今後の市民のスポーツ活動の促進に向けて、スポーツ好きの子どもを増やし、子どもの頃から運動・スポーツを継続的に行える環境を整えることが重要と考えられる。

⇒ 参照 II-2-(2)

#### (2) 一般市民のスポーツ活動

##### ◎スポーツ意識の高まり、実施率の大幅な上昇

市民の週1回スポーツ実施率は策定時より大幅に上昇し、前回計画の目標値50%を達成した。また、運動やスポーツの必要性を感じる人も9割と多く、近年のスポーツ意識の高まりが反映された結果となった。

⇒ 参照 II-1-(3)、3-(3)

### ◎働き盛り世代の運動不足

市民の週1回以上のスポーツ実施率は、30歳代、40歳代の働き盛り世代で低い傾向が見られる。これらの世代は、現在の運動・スポーツ実施状況への不満度が高い傾向も同時に見られ、働き盛り世代で、仕事や子育てなどで、運動したくても出来ない状況があることが想定される。

⇒ 参照 II-2-(6)、3-(3)

### ◎ライフステージ等に応じたニーズを捉えたプログラム提供の重要性

市などが開催するイベント、教室・講座などへの参加意向については、全体として、気軽に参加できるイベントの人気の高い傾向が見られる。

また、プログラムのニーズは、ライフステージに応じて異なる傾向が見られる。男性では、団体やスポーツチームでの活動、あるいは個人での施設利用などでの活動意向が比較的高いのに対して、女性は、教室や講座への参加などの意向が高い傾向がうかがえる。特に、ストレッチや体操などエクササイズ関連のプログラムへの女性のニーズは5割近くと高くなっている。

⇒ 参照 II-2-(5)、5-(1)、8-(1)

## (3) 高齢者のスポーツ活動

### ◎健康づくりへの意識の向上

スポーツの目的として、健康維持・体力向上のためを挙げる人は、全体でも約3割と高くなっており、健康・体力づくりに対する意識の向上から、スポーツを行う人が増えていることが想定される。特に、その傾向は高齢者で強く見られ、今後高齢化が進む中で、健康・体力づくりを目的としたスポーツ活動の推進の重要性が増すことが想定される。

### ◎高いスポーツ実施率、高齢者に合わせたスポーツプログラムのニーズ

高齢者ではスポーツ実施率が非常に高くなっており、特に、男性の50歳以上、女性の60歳代では、週1回以上のスポーツ実施率が6割を超えている。

一方、女性の70歳以上では、スポーツを全くしない人の割合が3割を超えるなど、スポーツをする人とならない人の格差も見られる。

市の今後の重点的な取組みとしても、高齢者のスポーツ活動の推進は上位となっており、今後、高齢者の健康づくりや介護予防等の観点も含めて、高齢者の運動機会の拡大を図っていくことが重要と考えられる。

⇒ 参照 II-3-(3)、8-(2)

## 2 市のスポーツ環境

市のスポーツ推進のためには、市民が運動やスポーツをそれぞれのニーズに応じて行う上で必要なスポーツ環境を整えていくことが必要である。そのため、指導者、活動の場、情報などの市のスポーツ環境について、その現状や課題を整理した。

### (1) スポーツ団体・クラブ

#### ◎スポーツ団体・クラブ等に参加して活動している市民は2割

ウォーキング等、身近で手軽にできるスポーツを行っている市民が多いため、スポーツ団体・クラブに参加してスポーツを行っている人は、それほど多くない。

また、団体調査結果からも、10人未満の比較的小さな規模で活動している団体が多く、スポーツ団体・クラブの育成に向けて支援していくことは今後の課題の一つと考えられる。

⇒ 参照 II-5-(1)、III-(2)

#### ◎他団体・クラブ等との連携・交流

他団体との連携・交流を行わずに活動している団体が多く、また、全体の約6割の団体が、スポーツ活動以外の活動を行っていないと回答している。

#### ◎総合型地域スポーツクラブの普及・啓発

総合型地域スポーツクラブの認知度は、前回調査時の9.9%よりは上昇しているものの、18.0%と依然として低い。ただし、総合型地域スポーツクラブ（現在市内2か所）のある地域では、認知度が比較的高く3割近くとなっている。

また、スポーツ施設登録団体でも「知らない」との回答が約5割となっている。

今後の方向性でも、より多くの市民に総合型地域スポーツクラブの魅力を伝えてほしいなどの回答が上位を占めており、今後も普及啓発を継続していくことが重要と考えられる。

⇒ 参照 II-7-(1)、7-(2)、III-(4)

#### ◎総合型地域スポーツクラブの育成・支援の方向性

総合型地域スポーツクラブの育成については、誰もが参加できるようなクラブの活動内容を充実させてほしいとの意見が最も多い。

また、団体調査からは、スポーツ活動の拠点だけでなく、地域のコミュニティ活動全体の拠点になってほしい、地域の様々なスポーツ団体や市民団体との交流や連携を深めてほしいなど、地域団体や地域住民とのつながりの場になってほしいとの期待があることがうかがえる。

⇒ 参照 II-7-(2)、III-(4)

## (2) スポーツ人材の育成・支援

### ◎スポーツボランティアへの参加意向

スポーツを「ささえる」活動として、大会や競技会を支えるスポーツボランティア活動に約 2 割の市民が関心があると回答している。特に、女性の 30 歳未満では 4 割強、男性の 50 歳代、60 歳代では 3 割強と高い参加意向を示している。

近年、マラソンイベントなどのスポーツイベントに、スタッフとして参加する市民も増えており、そういった活動への意向が高まっていることが想定される。

⇒ 参照 II-2-(4)

### ◎指導者の育成

団体調査によると、指導者の現状として、指導者の高齢化、指導者が少ないことなどが課題として挙げられている。

一方、スポーツ指導者に求めるニーズとして、中学生や高校生で、スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がよくわかるような指導ができる人を挙げる人が 5 割以上と高い。子どもがスポーツに親しむ環境づくりとして、様々なスポーツを楽しめるきっかけとなるような人材の育成が重要であることがうかがえる。

また、30 歳未満の男性では、指導者としての活動意向も比較的強く、若年層の指導者育成・支援が重要と考えられる。

⇒ 参照 II-2-(4)、5-(2)、III-(2)

## (3) スポーツの活動場所の充実

### ◎スポーツ施設・設備の整備・有効活用

一般市民調査、団体調査ともに、市のスポーツ施設・設備の整備への要望が高くなっている。

団体などからは、スポーツ施設の予約がなかなかとれない、少人数で大きなスペースを長時間使っていることなどへの意見もある。

今後、新たに公共スポーツ施設を増設することは、財政的にも難しい状況であるため、既存施設の利便性を高めることが考えられる。

⇒ 参照 II-8-(2)、III-(3)、(6)

### ◎身近な場所で気軽に行えるスポーツの場づくりの重要性

普段している運動・スポーツは、ウォーキングとの回答が大半を占めており、スポーツを行う場所も道路や遊歩道が多くなっている。道路は、多くの市民からスポーツを行う場としてその重要性が高まっていると考えられる。今後も一層、ウォーキングやランニングの人口が予想されることから、歩行者、ランナーなどが気持ちよく利用できる環境づくりが重要である。

また、スポーツ活動場所やスポーツ施設の利用状況などからも、市民はそれぞれ地域の近隣の施設を利用してスポーツに親しんでいる状況がうかがえる。そのため、各地域で身近な場所で気軽にスポーツを行える場づくりが重要と考えられる。

⇒ 参照 II-3(1)、4-(1)、4-(2)

## (4) スポーツに関する情報の提供

### ◎スポーツ教室の情報に対するニーズ

スポーツに関する情報提供に関して、スポーツ教室の情報に対するニーズが5割以上と高くなっている。特に、若年層で高い傾向があり、男性の40歳代、女性の30歳代、40歳代では、7割を超えている。スポーツのきっかけづくりとして、スポーツ教室などへの参加意向は高いことがうかがえる。

また、高齢者では一般的なスポーツや健康の情報に対するニーズが比較的高い。

⇒ 参照 II-8-(1)

## 3 調査により得られたスポーツ推進への手がかかり

調査のねらい	考察
<p>①運動実施者の増加のために求められている支援方策や機会提供の方策への手がかかり</p> <p>(運動を実施していない人に機会を提供する、実施したいのにできない人を支援するためにはどうしたらよいか。)</p>	<p>○週1回以上のスポーツ実施率が低い傾向が見られるのは、30歳代、40歳代の働き盛り世代である。これらの世代は、現在の運動・スポーツ実施状況への不満度が高い傾向も同時に見られ、仕事や子育てなどで、運動したくても出来ない状況があることが想定される。</p> <p>○この年代では、スポーツに関する情報提供に関して、スポーツ教室の情報に対するニーズが高くなっている。スポーツのきっかけづくりとして、スポーツ教室などへの参加意向は高いことがうかがえる。30歳代、40歳代が参加しやすい時間帯、関心の高い教室やイベントの開催などを行うとともに、その情報提供を適切に行うことが重要と考えられる。</p>
<p>②スポーツ実施環境の向上への手がかかり</p> <p>(運動を実施している人がより高い満足を得るためにはどうしたらよいか。)</p>	<p>○普段している運動・スポーツは、ウォーキングとの回答が大半を占めており、スポーツを行う場所も道路や遊歩道が多くなっている。身近な場所で運動やスポーツを行う人が増えたことが、今回の実施率の大幅な向上につながっていると考えられる。</p> <p>○今後も一層、ウォーキングやランニング人口の増加が予想されることから、歩行者、ランナーなどが気持ちよく利用できる環境づくりが重要である。また、スポーツ活動場所やスポーツ施設の利用状況などからも、市民はそれぞれ地域の近隣の施設を利用してスポーツに親しんでいる状況がうかがえる。そのため、各地域で身近な場所で気軽にスポーツを行える場づくりが重要と考えられる。</p> <p>○高齢者ではスポーツ実施率が非常に高くなっている。市の今後の重点的な取り組みとしても、高齢者のスポーツ活動の推進は上位となっており、今後、高齢者の健康づくりや介護予防等の観点も含めて、高齢者の運動機会の拡大を図っていくことが重要と考えられる。</p>
<p>③総合的スポーツ環境の向上への手がかかり</p> <p>(スポーツをする機会、みる機会、ささえる機会を総合的に改善するためにはどうしたらよいか。)</p>	<p>○スポーツを「ささえる」活動として、大会や競技会を支えるスポーツボランティア活動に約2割の市民が関心があると回答している。近年、マラソンイベントなどのスポーツイベントに、スタッフとして参加する市民も増えており、そういった活動への意向が高まっていることが想定される。スポーツイベントなどの際に、「する」「みる」「ささえる」の様々なかかわり方を通じて、より多くの市民が気軽に楽しめるような仕掛けづくりをすることが重要と考えられる。</p> <p>○また、30歳未満の男性で、指導者としての活動意向が比較的強い反面、団体などからは指導者の高齢化が問題視されている。多様化するニーズに対応し、適切にマッチングできるような取り組みが求められる。</p>

## 4 数値目標の達成状況

目標	指標	策定時数値	目標値	現状値
①市民のスポーツ実施率 (週1回以上)の向上	週1回以上スポーツを実施する人の割合	33.1% (平成16年)	50.0%	53.2% ◎
②市民のスポーツ非実施率 の低減	スポーツをほとんどやらない人の割合	37.9% (平成16年)	30.0%	20.3% ◎
③市民のスポーツ活動頻度 に関する満足度の向上	市民のスポーツ活動頻度 に関する満足度の向上	45.3% (平成16年)	60.0%	34.4% ×
④市民のスポーツクラブ・ 団体への加入率	市民のスポーツクラブ・団 体に参加している割合	27.6% (平成16年)	40.0%	20.0% - ※1
⑤市民の健康に関する意識 の向上	自分が健康であると感じ る市民の割合	69.4% (平成14年)	80.0%	82.6% ◎ ※2

※1 今回調査では、「主として誰と一緒に運動やスポーツをしていますか」との質問で、選択肢のうちいずれか一つを回答する設問（前回はあてはまるものすべてに○）となっているため、前回より低い数値となっている可能性がある。

※2 策定時の数値に用いている調査では、選択肢に「どちらともいえない」が入っていたため、今回より若干低い数値となっている可能性がある。（健康づくり推進プラン策定のための市民アンケート調査（平成14年度）より）

## 5 西東京市スポーツ推進計画策定に向けて

### (1) 社会背景の変化と新たな視点

現代社会は、少子高齢化が急速に進む中、人々のライフスタイルや価値観の変化、多様化が進んでいる。また、それに伴い、子どもの体力格差の拡大、生活習慣病の増加、医療費の増加、人間関係の希薄化など様々な課題が生じている。

スポーツには、「する」、「みる」、「ささえる」といった多様な関わり方がある。市民が生涯にわたってスポーツに親しむことは、健康や生きがいがづくり、コミュニティやまちづくりなどに大きな意義を持ち、近年、その役割の重要性が再認識されている。

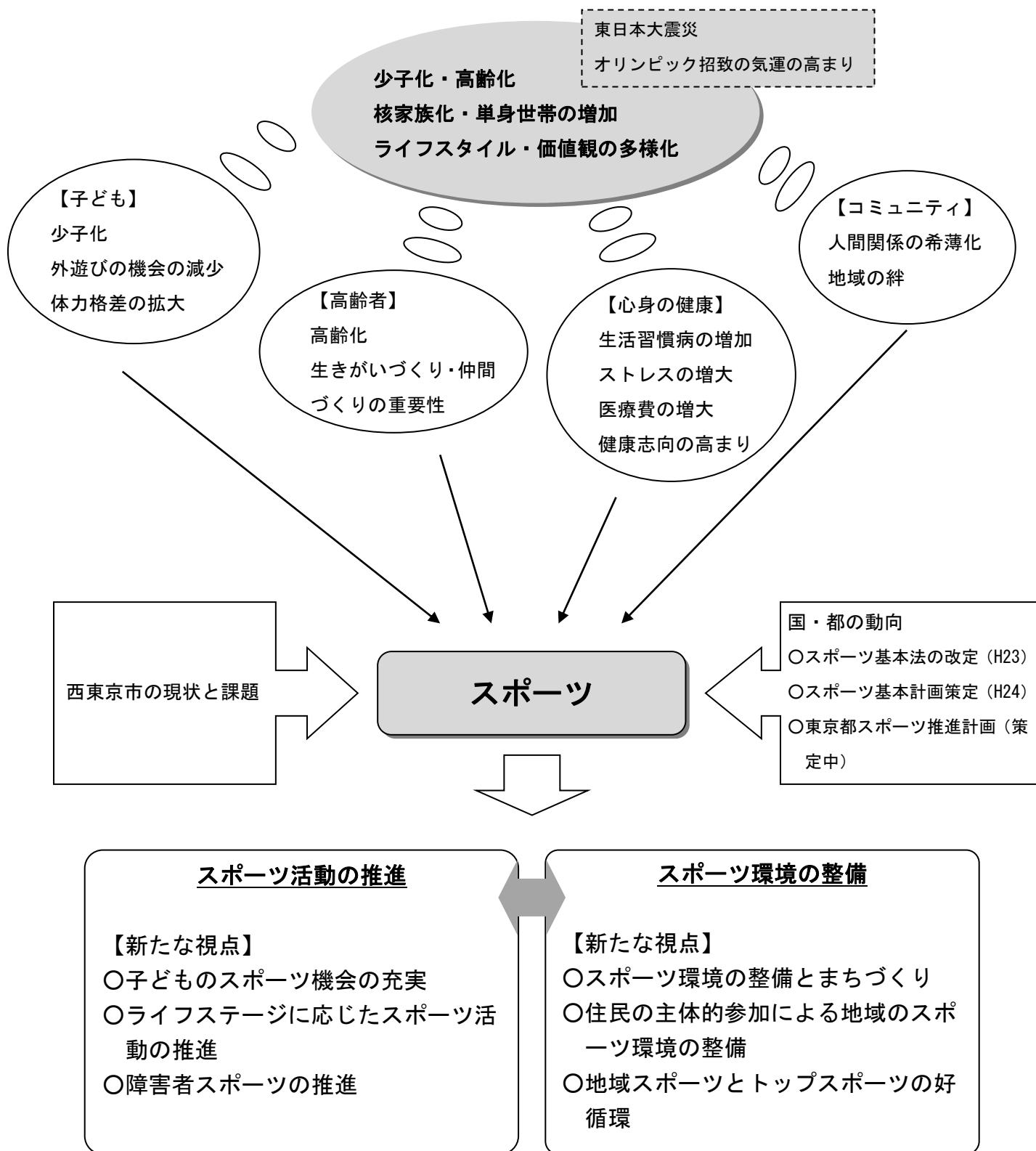
また、それらの社会の変化に伴い、国や都においても、新たなスポーツ推進の方向性が検討されている。国では、平成23年8月に「スポーツ基本法」を50年ぶりに改定し、全ての国民に対してスポーツを楽しむ権利「スポーツ権」を保障した。また、平成24年3月には、「スポーツ基本計画」を策定し、今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策として、子どものスポーツ機会の充実、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、地域のスポーツ環境の整備、国際競技力の向上、トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働などが挙げられた。

これらを踏まえ、「(仮称)西東京市スポーツ推進計画」の策定に向けて、今後検討していくべき新たな視点として、以下のようなものが想定される。

まず、市民が生涯を通じてスポーツに親しめるよう、ライフステージに応じたスポーツ機会の充実が求められる。子どもたちへの多様なスポーツ機会の増加、スポーツ実施頻度の低い働き盛り層への取組み、高齢者の健康増進・体力づくりに向けたスポーツ推進など、それぞれのライフステージやそのニーズに応じた取組みを行っていくことが必要である。また、障害者スポーツの推進についても、近年早急なスポーツ環境整備の必要性などが言われているところである。

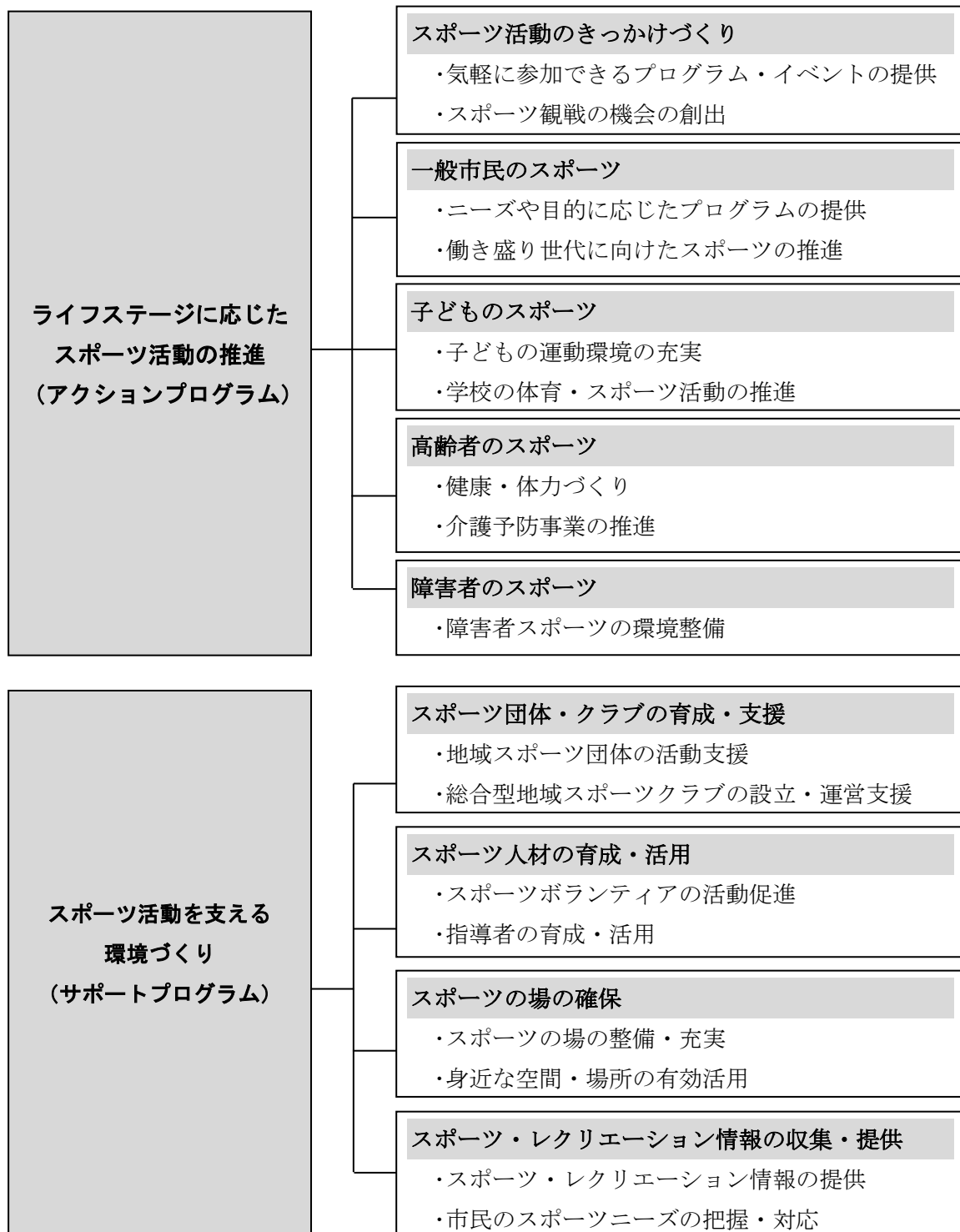
また、それらのスポーツ活動を支えるためのスポーツ環境の整備も重要な柱である。近年は、総合型地域スポーツクラブなど、地域住民が主体的に参加し、その運営までを担うような地域スポーツのあり方が求められている。さらに、健康意識やスポーツへの関心が高まる中、ウォーキングやランニング人口が増加しつつあり、誰もが身近に、そして安全にスポーツを楽しめるような環境づくり、まちづくりがその重要性を増している。





## (2) 計画の構成案

「(仮称) 西東京市スポーツ推進計画」の策定に向けては、上述のように、市民が生涯を通じてスポーツに親しめるよう、スポーツ活動を推進すること、そしてそのスポーツ活動を支えるためのスポーツ環境を整えることの2つの柱で取組みを推進していくことが重要であると考えられる。そのため、本調査結果を踏まえ、計画の構成案を以下のように設定する。



# 西東京市スポーツに関する市民意識調査報告書

平成 25 年 3 月

編集・発行 西東京市 生活文化スポーツ部 スポーツ振興課

〒202-8555 東京都西東京市中町 1-5-1（保谷庁舎）  
042-438-4081（直通）



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用